北海道大学大学院医学研究科　寄附講座　探索病理学講座　業績集

北海道大学大学院医学研究科
寄附講座
探索病理学講座

業績集

北海道大学大学院医学研究科 寄附講座
探索病理学講座 業績集

目　次

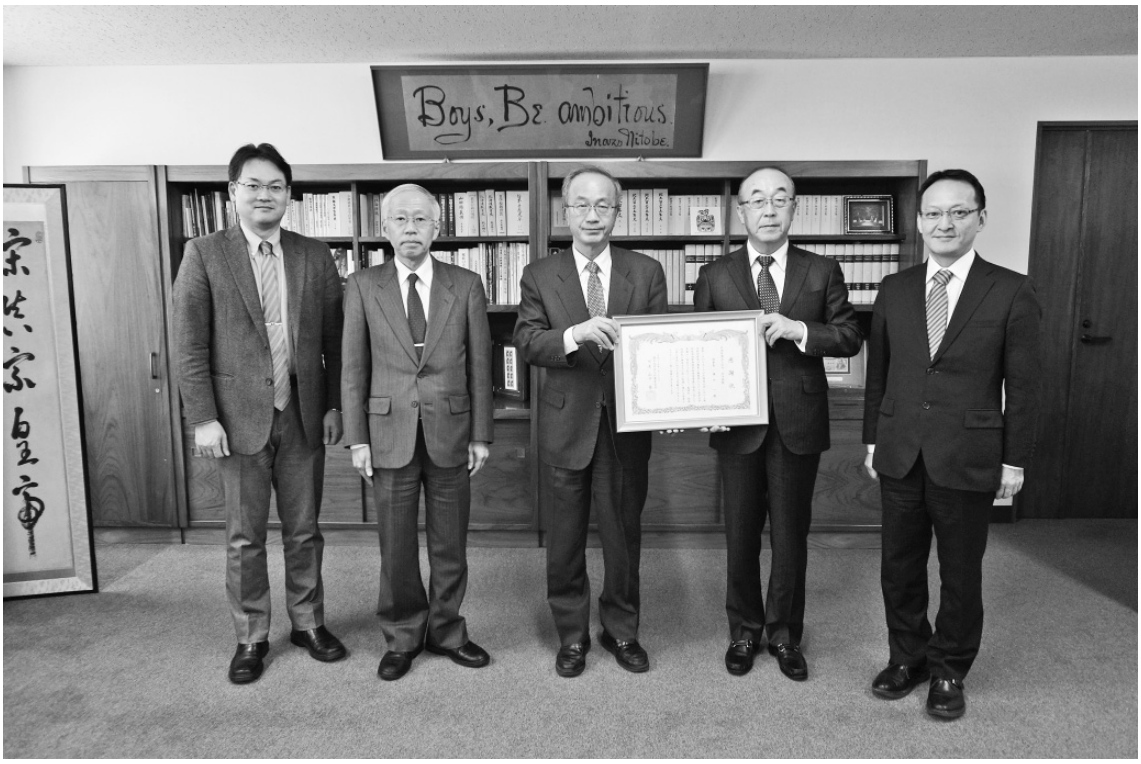
講座概要 …… 1

ご 挨 拶 …… 2

シンポジウム …… 4

論文発表 ……13

学会発表 ……37



北斗病院への感謝状贈呈式（2017 年 2 月 27 日）

（総長室にて。左から西原特任教授、笠原医学研究科長、山口北大総長、鎌田北斗病院理事長、田中教授）

講座概要

理　念

本講座は基礎医学研究、病理学研究の成果をいち早く臨床にフィードバックすることを目的に創設されました。特に、癌の個別化医療を中心に新規治療法の開発、診断法の開発を目指しています。さらに基礎研究と臨床医学の橋渡し研究ができる人材を育成します。
北海道医学部から、最先端の研究成果を発信するとともに、新規治療法開発のための基礎を確立し、医学界をリードする人材育成を目指す。

開講日　平成20年10月 1 日

設置期間

平成20年10月 1 日から平成24年 3 月31日（第1期）
平成24年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日（第2期）

寄附者

第 1 期
社会医療法人北斗　北斗病院　　理事長　鎌田　一
協和発酵キリン株式会社　　代表取締役社長　花井　陳雄
ダコ・ジャパン株式会社　　代表取締役社長　伊佐　正弘
第 2 期
社会医療法人北斗　北斗病院　　理事長　鎌田　一
協和発酵キリン株式会社　　代表取締役社長　花井　陳雄

スタッフ

教授（兼任）　　田中　伸哉
特任教授（専任）　　西原　広史（2014.12.31まで特任准教授）
特任助教（専任）　　王　磊
特任助教（兼任）　　瀧山　晃弘（2014.4.1～11.30）
特任助教（兼任）　　木村　太一（2014.12.1～）

研究内容

脳腫瘍の新規診断法の開発
腫瘍プロファイリングによるオーダーメード癌治療基盤の作成
シグナル伝達DOCKファミリー蛋白を標的として分子標的治療法の開発
次世代シークエンス法を用いた個別化医療の展開
北海道病理ネットワークの構築
アジア・極東ロシア地域との連携研究

探索病理学講座・任務完了のご挨拶

2008年10月に開講した探索病理学講座は2期8年を経て、本年3月末をもちまして無事任務完了となります。設立に関わられた寄付者の皆様、また2期に渡りご支援いただいた寄付者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本講座が開講した2008年当時は純粋な基礎医学研究よりも臨床研究に重きがおかれ、臨床研究こそが我が国には重要であるという風潮がおこった時期でした。病理学教室としても「基礎研究の成果をいち早く臨床にフィードバックする」こと、即ちそれが「トランスレーショナル・パソロジー」であり、探索病理学講座はこの目的を実現する講座として誕生しました。

その後この講座を核として、数多くの学術論文が出版され、学会発表が行われました。また多くの若者が門を叩き国内外で現在活躍しています。特許申請2件にもつながりました。毎年開催してきた北海道探索病理シンポジウムも30名以上の若手大学院生を含む100名以上が参加する会として、若手医師・研究者教育にも大きな成果を挙げることができました。

特に大きな成果は、本講座選任の西原特任教授が、2016年4月から北大病院においてがん遺伝子診断部として、病理医でありながら外来を担当し、北大のインハウスの遺伝子検査に基づいたがんの個別化医療を実現したことです。これはメディアでも大きく報道されていますが、支援者の皆様の熱意により、国民に対して医学的恩恵を与える重要な成果が生まれたということで、関係各所の皆様に深く感謝するとともに大変感慨深く感じております。

本講座はこれで閉じますが、本講座から生まれた多くの成果は益々活用されるでしょうし、本講座で育成された人材は今後益々発展することと思います。私自身もこのような実りある講座での研究・教育活動に関わらせていただいた者の一人として、このような機会を与えて戴いた皆様、ご支援戴いた皆様への感謝とともに任務完了のご挨拶にかえさせていただきたいと思います。

2017年　春

北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座　教授（兼任）　田　中　伸　哉

ご　挨　拶

今日、疾患の分子レベルでの研究・解明が進み、基礎と臨床の二極化が進む中で、その両者を繋ぐ橋渡し部門（translational research）の必要性が謳われております。病理学は、基礎医学としての疾患の発生機序や病態の解明と同時に、臨床診断の確定のための診断病理学という臨床的な側面を持ち、元来から基礎と臨床の両面性を有する学問であることから、その橋渡し研究の中核を担うべき立場にあります。当寄附講座はそのような状況を背景にして、社会医療法人北斗病院、㈱協和発酵キリン、ダコ・ジャパン㈱からの寄附により平成二十年十月一日に開講し、平成二十四年四月からは社会医療法人北斗病院、㈱協和発酵キリンからの寄附によって８年６か月間、継続して参りました。

英語名でTranslational Pathologyと訳されるこの講座の設立目的は、基礎的病理研究から生まれたアイデアを実際の病理診断の現場、ひいては治療の場に応用するための橋渡しをすることにありますが、そのシーズ（種）を探す、という言葉の意味から探索病理、と名付けられました。講座の教員は平成29年3月現在、田中伸哉教授（兼任）と西原広史特任教授（専任）、王磊特任助教（専任）、木村太一特任助教（兼任）の四名が配置され、実際の研究・教育活動は、腫瘍病理学分野と一体で行ってまいりました。

これまでの研究成果は、報告書の内容に記載した通りですが、組織病理学的な研究活動から、がんのシグナル伝達に関する分子生物学的研究、そして世界にも類を見ないクリニカルバイオバンクの設置による積極的な臨床研究支援システムの構築、さらには独自の網羅的がん遺伝子検査システムである、「クラーク検査」の臨床実装による「がん遺伝子診断外来」の開始など、基礎研究、臨床病理、そして臨床医学の現場の橋渡しをする、という当初の目的を十二分に果たしてくることが出来た、と自負しております。

この寄附講座の成果は、今後の日本の医学研究、臨床研究、そして精密医療においてその基盤を形成するものであり、寄附者の法人関係者、並びにこれまでこの講座のスタッフとして活躍してくださった教員、技術員、補佐員の皆さまと共に、その成果を共有できたことを誇りに思っております。これまでの皆さま方のご厚情、ご支援に厚く御礼を申し上げると共に、皆さま方のますますのご健勝を祈念しまして、講座終了のご挨拶に替えさせて頂きます。

2017年　春

北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座　特任教授　西　原　広　史

シンポジウム

●第1回　北海道探索病理学研究シンポジウム

日時：平成 23 年 10 月 1 日（土）

場所：ニューオータニイン札幌

主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野

＜プログラム＞

Opening Remarks　田中　伸哉

Session1 ＜Virus＞ 座長　澤　　洋文

1　Plenary talk: 澤　　洋文（北海道大学）
「人獣共通感染症リサーチセンターにおける活動-感染症に対する細胞生物学的研究および疫学的研究-」

2　奴久妻　聡一（神戸市環境保健研究所）
「JC ウイルスを持続産生する JCI 細胞の樹立とその応用について」

3　長谷川　秀樹（国立感染症研究所）
「経鼻インフルエンザワクチンの開発」

4　鈴木　忠樹（国立感染症研究所）
「JC ウイルス増殖機構における後期調節タンパク質 agnoprotein の役割」

Session2 ＜シグナル伝達＞ 座長　松田　道行

5　Plenary talk: 松田　道行（京都大学）
「生きた病理形態学を目指して」

6　望月　直樹（国立循環器病研究センター）
「MST 先生との研究により明らかにしつつある新規シグナルと MST-K 調節機構解明に向けて」

7　大場　雄介（北海道大学）
「蛍光蛋白質を用いた CML 薬剤感受性判定法の開発」

8　寺井　健太（国立循環器病研究センター）
「生きた個体内においてβカテニンの転写活性を組織特異的に解析する」

Session3 ＜外科病理＞ 座長　伊藤　智雄

9　Plenary talk: 伊藤　智雄（神戸大学）
「神戸の地に病理診断科を興す」

10　太田　　聡（千葉大学）
「メルケル細胞癌や代表的な皮膚腫瘍におけるメルケル細胞ポリオーマウイルスの解析」

11　西原　広史（北海道大学）
「病理学における橋渡し研究；個別化病理診断の基盤作成：癌のテーラーメード治療の

確立」

12　久保田　佳奈子（北海道大学病院）
「中枢神経原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する検討」

Session4 ＜現在の第二病理＞ 座長　田中　伸哉

13　Plenary talk: 田中　伸哉（北海道大学）
「明日の病理学を目指して：北大第 2 病理 2011」

14　谷野　美智枝（北海道大学）
「膠芽腫及び肺癌における EMT の関与」

15　木村　太一（北海道大学）
「Synovial sarcoma initiating cell の同定を目指して」

16　王　　磊（北海道大学）
「脳腫瘍におけるシグナル伝達アダプター分子 Crk の役割の解析と新規シグナル阻害剤スクリーニングシステムの開発」

17　高阪　真路（北海道大学）
「グリオーマ抗がん剤耐性機序の解明と個別化治療への応用」

Closing remarks　西原　広史

●第2回 北海道探索病理学研究シンポジウム

The 2nd Hokkaido Translational Pathology Symposium

～探索医療・基礎と臨床の連携：アジアとのコラボレーションを目指して～

“Clinicopathological advancement of translational medicine: Collaboration between Asian countries”

日時：平成 24 年 10 月 6 日（土）

場所：ニューオータニイン札幌

主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野

協賛：イムノサイエンス株式会社
株式会社ムトウ
株式会社モルフォテクノロジー
北大第二病理同門会

＜プログラム＞

開会の辞 Opening remarks　田中伸哉 Shinya Tanaka (Hokkaido Univ.)

Session 1　English

Theme: 脳腫瘍／イメージング Brain tumor/Imaging

座長 Chair: 田中伸哉 Shinya Tanaka

1 “Molecular and pathological analysis of malignant glioma: from tissues to therapeutic reagents”
田中 伸哉 Shinya Tanaka Hokkaido Univ.（日本）

2 “State-of-the-art Neuroimaging and Intraoperative Monitoring for Maximal Tumor Resection”
鎌田 恭輔 Kyosuke Kamada Asahikawa med. Univ.（日本）

3 “Nodal promotes growth and invasion in human gliomas”
李 進成 Chin-cheng Lee Taipei Medical Univ.（台湾）

Theme: 神経変性疾患 Neurodegenerative disease

座長 Chair: 矢部一郎 Ichiro Yabe

4 “Frontotemporal dementia with limb-girdle muscular dystrophy caused by a DNAJB6 mutation (LGMD1E): a new entity ?”
矢部 一郎 Ichiro Yabe Hokkaido Univ.（日本）

5 “SSRI exerts anxiolytic effect via 5-HT1A receptors in the basolateral nucleus of amygdala”
泉 剛 Takeshi Izumi Hokkaido Univ.（日本）

Session 2 Japanese

Theme: 腫瘍病理 General/Tumor pathology

座長 Chair: 伊藤智雄 Tomoo Itoh

6 「免疫多重染色の診断への応用と未来」
伊藤 智雄 Tomoo Itoh Kobe Univ.（日本）

7 「分子発現プロファイリングによる腫瘍の個別化病理診断」
西原 広史 Hiroshi Nishihara Hokkaido Univ.（日本）

8 「首都医科大学付属北京朝日医院病理の現状」
金 木蘭 Mulan Jin Capital Medical Univ.（中国）

閉会の辞 Closing remarks 西原広史 Hiroshi Nishihara (Hokkaido Univ.)

●第3回 北海道探索病理学研究シンポジウム
～探索医療・基礎と臨床の連携：病理が橋渡しする臨床研究の新展開～

日時：平成 25 年 11 月 9 日(土)

場所：ニューオータニイン札幌

主催：北海道大学大学院医学研究科 探索病理学講座・腫瘍病理学分野

共催：協和発酵キリン株式会社

後援：北大医学部第二病理同門会

＜プログラム＞

開会の辞　　田中 伸哉 先生（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学教授）

セッション１：病理研究とシーズ探索

（座長：大場 雄介　北海道大学大学院医学研究科細胞生理学分野）

1　清川 悦子（金沢医科大学病理学Ｉ講座）
「ライブイメージングと診断をつなぐ～管腔構造の制御機構の観点から～」

2　樋田 京子（北海道大学大学院歯学研究科血管生物学講座）
「腫瘍血管内皮細胞の特性解明から診断・治療への応用」

セッション２：探索病理研究の現状

（座長：田中 伸哉　北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野）

3　津田 真寿美（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野）
「グリオーマ診断における BRAF 遺伝子変異検索の有用性と治療応用への可能性」

4　畑中　豊（北海道大学病院コンパニオン診断学研究部門）
「コンパニオン診断の現状と今後の課題」

5　西原 広史（北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座／
北海道大学病院高度先進医療支援センター生体試料管理室）
「戦略的バイオバンクを利用したがん個別化診断の確立を目指して」

セッション３：病理が橋渡しする臨床研究の新展開

（座長：秋田 弘俊　北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野）

6　木下 一郎（北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野）
「HER2 過剰発現・遺伝子増幅陽性腫瘍、あるいは HER2 遺伝子変異陽性腫瘍を対象とした個別化治療の臨床研究」

7　鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）
「がん幹細胞の免疫病理学：次世代がんワクチンを目指して」

8　北村 信人（北海道大学大学院医学研究科スポーツ医学分野）
「多機能ゲルを用いた関節軟骨再生誘導治療法の開発へ向けた基礎研究」

9　佐藤 典宏（北海道大学病院高度先進医療支援センター）
「北海道大学における橋渡し研究、臨床研究支援の現状と展望」

閉会の辞　　寶金 清博（北海道大学病院院長）

●第4回　北海道探索病理学研究シンポジウム

「探索医療：病理が橋渡しする最先端がん臨床研究」

日時：平成 26 年 10 月 25 日（土）

場所：京王プラザホテル札幌

主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野

後援：北大第二病理同門会、株式会社モルフォテクノロジー、日本病理学会北海道支部

＜プログラム＞

開会の辞　　田中 伸哉　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学）
「探索病理学の現状報告」

セッション１：最先端がん探索研究

（座長：藤田 恭之　北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野）

1　鈴木 健介　　（イルミナ株式会社）
「次世代シークエンサー（NGS）が切り拓く臨床研究」

2　大場 雄介　　（北海道大学大学院医学研究科細胞生理学分野）
「イメージング技術を用いた分子標的治療薬効果判定法の開発と応用」

3　水上 裕輔　　（札幌東徳洲会病院付属臨床研究センター）
「デジタル PCR による低侵襲がん診断～Molecular Biopsy を目指して」

4　西原 広史　　（北海道大学大学院医学研究科探索病理学／北海道大学病院高度先進医療支援センター生体試料管理室／北斗病院　腫瘍医学研究所）
「Genotype oriented clinical trail を目指したゲノム病理診断への挑戦」

セッション２：病理が橋渡しするがん臨床研究の最前線

（座長：佐藤 典宏　北海道大学病院高度先進医療支援センター）

5　山下 啓子　　（北海道大学病院乳腺外科）
「エストロゲン受容体陽性乳癌を対象とした臨床研究」

6　渡利 英道　　（北海道大学大学院医学研究科婦人科）
「北大における婦人科癌臨床研究・臨床試験の取り組み」

7　木下 一郎　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学）
「HER2 過剰発現／遺伝子増幅／遺伝子変異陽性腫瘍を対象とした個別化治療の臨床研究；経過報告」

8　鳥越 俊彦　　（札幌医科大学医学部病理学第一講座）
「がん免疫療法のバイオマーカー探索研究」

特別講演

（座長：秋田 弘俊　北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科）

「肺がんの分子標的薬耐性の克服：アカデミアの挑戦」

矢野 聖二　　（金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科）

閉会の辞　　寶金 清博　　（北海道大学病院長）

●第5回 北海道探索病理学研究シンポジウム

「病理が橋渡しする幹細胞研究」

日時：平成 27 年 10 月 24 日（土）

場所：ニューオータニイン札幌

主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野

後援：北大医学部第二病理同門会、日本病理学会北海道支部、株式会社モルフォテクノロジー

＜プログラム＞

開会の辞　　田中 伸哉　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学　教授）

「探索病理学の現状報告」

セッション１：再生医療と幹細胞

座長：西川 祐司　　（旭川医科大学 病理学講座 腫瘍病理分野 教授）

1　七戸 秀夫　　（北海道大学大学院医学研究科脳神経外科　特任助教）

「自家骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生医療をめざして」

2　仙葉 慎吾　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学　特任助教）

「ハイドロゲルが誘導する軟骨細胞分化における細胞内情報伝達機構の解明」

3　西川 祐司　　（旭川医科大学 病理学講座 腫瘍病理分野 教授）

「肝上皮系細胞の分化転換：慢性肝傷害と肝腫瘍における病態生理学的意義」

セッション２：がん幹細胞を標的とした臨床研究の最前線

座長：秋田 弘俊　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野　教授）

4　丸山 玲緒　　（札幌医科大学医学部分子生物学講座 准教授）

「乳癌融合細胞の統合的分子解析ーbasal-like 乳癌の表現型を規定する因子の同定」

5　廣橋 良彦　　（札幌医科大学医学部病理学第一講座　講師）

「がん幹細胞を標的とした免疫療法」

6　近藤　亨　　（北海道大学遺伝子病制御研究所幹細胞生物学分野　教授）

「グリオーマ幹細胞を標的とした新規治療法の開発」

セッション３：「探索病理研究の展開」

座長：佐藤 典宏　　（北海道大学病院臨床研究開発センター事業統括マネージャー　教授）

7　西原 広史　　（北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座／
北海道大学病院臨床研究開発センター生体試料管理室　特任教授）
「がん個別化治療を推進する病理・遺伝子診断の現状と課題」

特別講演　（共催；協和発酵キリン株式会社）

座長：田中 伸哉　　（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野　教授）
「がん幹細胞研究の現状とその治療戦略の考案」
佐谷 秀行　　（慶応大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門　教授）

閉会の辞　　宝金 清博　　（北海道大学病院長）

●探索病理･腫瘍病理　特別シンポジウム

「がんクリニカルシークエンスの臨床実装にむけて」

日時：平成 28 年 3 月 19 日（土）

場所：北海道大学医学部学友会館フラテ　大ホール

主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野

協賛：日本病理学会北海道支部、株式会社モルフォテクノロジー

＜プログラム＞

開会挨拶　　田中 伸哉（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野　教授）

テーマ：がんクリニカルシークエンスの臨床実装
（座長：北海道大学大学院医学研究科 腫瘍内科学分野 准教授 木下 一郎）

「OncoPrime 検査によるがんクリニカルシークエンス」
京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授　武藤　学

「MSK-IMPACT の日本導入に向けて」
東京大学大学院医学系研究科ゲノム医学寄付講座 特任助教　高阪 真路

「クリニカルバイオバンクと連動した、がん遺伝子検査システム」
北海道大学病院臨床研究開発センター生体試料管理室 特任教授　西原 広史

テーマ：がん遺伝子検査後の治療対応について
（座長：京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授　武藤　学）

「OncoPrime 検査後の治療の実際」

京都大学医学部附属病院がんセンターがん薬物治療科 特定准教授　金井 雅史

「北海道大学病院での治療対応について」
北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野 教授　秋田 弘俊

「治験対応の現状と問題点」
北海道大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 医員　川本 泰之

テーマ：がん遺伝子検査に対する病理学会の取り組み
（座長：北海道大学大学院医学研究科　腫瘍病理学分野　教授　田中 伸哉）

「ゲノム病理診断委員会の活動と方向性」
北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座　特任教授　西原 広史

「病理部門からみたコンパニオン診断とマルチプレックスゲノム診断」
北海道大学病院病理診断科・病理部　特任講師　畑中　豊

■総合討論

閉会挨拶　　西原 広史（北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座　特任教授）

●第6回北海道探索病理学研究シンポジウム

日時：平成 28 年 9 月 17 日（土）
会場：ニューオータニイン札幌
主催：北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座・腫瘍病理学分野
後援：北大第二病理同門会
セミナー協賛：Philips
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・北海道がん医療を担う医療人養成プログラム

＜プログラム＞

開会のご挨拶
田中 伸哉　　（北海道大学大学院医学研究科　腫瘍病理学分野　教授）

セッション１：「デジタル病理の世界展開」
座長：西原 広史　　（北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座　特任教授）
演者：伊藤 智雄　　（神戸大学医学部付属病院　病理診断科　病理部長・教授）
「デジタル病理の世界展開」

スポンサードセッション　（Philips）
「IMS サーバーシステムを用いたデジタル病理診断の実演；亀田総合病院」
デモンストレーター：原田　大　　（亀田総合病院　臨床病理科
デジタルパソロジー特任部長）

ランチョンセミナー　「デジタル病理ネットワークの未来」

座長：原田　　大　　（亀田総合病院　病理部）

演者：福岡 順也　　（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科　病理学　教授）

「ＮＥＤＣＰにおけるビッグラボ構想について」

セッション２：基礎研究からシーズを探索する

座長：津田真寿美　　（北海道大学大学院医学研究科　腫瘍病理学分野　講師）

１．澤　　洋文　　（北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 副センター長・教授）
「チクングニアウイルスを標的とする新規抗ウイルス化合物の探索と解析」

２．大場 雄介　　（北海道大学大学院医学研究科 細胞生理学分野　教授）
「インフルエンザウイルス粒子の取り込みを制御するシグナル伝達機構」

３．山本 雅大　　（旭川医科大学 腫瘍病理分野 講師）
「動物実験肝癌モデルからみた遺伝子異常と肝癌形質の関連」

セッション３：臨床研究への架け橋

座長：秋田 弘俊　　（北海道大学大学院医学研究科 腫瘍内科学分野 教授）

１．木下 一郎　　（北海道大学大学院医学研究科 腫瘍内科学分野 准教授）
「HER2 過剰発現・遺伝子増幅腫瘍あるいは HER2 遺伝子変異陽性腫瘍に対する個別化治療の開発」

２．鳥越 俊彦　　（札幌医科大学医学部 病理学第一講座 教授）
「がん免疫療法バイオマーカーの探索と免疫病理診断」

３．長谷川秀樹　　（国立感染症研究所 感染病理部 部長）
「次世代インフルエンザワクチンと分泌型 IgA 抗体」

セッション４：探索病理学の今後

座長：佐藤 典宏　　（北海道大学病院　臨床研究開発センター長・教授）

演者：西原 広史　　（北海道大学大学院医学研究科　探索病理学講座　特任教授）

「ゲノム医療を切り拓くクリニカルバイオバンク」

特別講演

座長：田中 伸哉　　（北海道大学大学院医学研究科 腫瘍病理学分野 教授）

「新世代の病理学への展望」

演者：竹内 賢吾　　（公益財団法人がん研究会がん研究所 分子標的病理プロジェクトリーダー）

閉会のご挨拶　寶金 清博　　（北海道大学病院長）

論文発表 （原著131編）

●2009年

【Original article】

1. Kimura, T., Sakai, M., Tabu, K., Wang, L., Tsunematsu, R., Tsuda, M., Sawa, H., Nagashima, K., Nishihara, H., Hatakeyama, S., Nakayama, K., Ladanyi, M., Tanaka, S., Nakayama, KI.
   Human synovial sarcoma proto-oncogene Syt is essential for early embryonic development through the regulation of cell migration. **Lab. Invest**, 89, 645-656, 2009.

2. Watanabe, T., Tsuda, M., Makino, Y., Konstantinou, T., Nishihara, H., Majima, T., Minami, A., Feller, SM., Tanaka, S.
   Crk adaptor protein-induced phosphorylation of Gab1 on tyrosine 307 via Src is important for organization of focal adhesions and enhanced cell migration. **Cell Res**, 19, 638-650, 2009.

3. Inuzuka, T., Tsuda, M., Tanaka, S., Kawaguchi, H., Higashi, Y., Ohba, Y.
   Integral role of transcription factor 8 in the negative regulation of tumor angiogenesis. **Cancer Res**, 69, 1678-1684, 2009.

4. Yokota, T., Kinugawa, S., Hirabayashi, K., Matsushima, S., Inoue, N., Ohta, Y., Hamaguchi, S., Sobirin, MA., Ono, T., Suga, T., Kuroda, S., Tanaka, S., Terasaki, F., Okita, K., Tsutsui, H.
   Oxidative stress in skeletal muscle impairs mitochondrial respiration and limits exercise capacity in type 2 diabetic mice. **Am. J. Physiol. Heart. Circ. Physiol**, 297, 1069-1077, 2009.
5. Miura, M., Ohnishi, N., Tanaka, S., Yanagiya, K. & Hatakeyama, M.
   Differential oncogenic potential of geographically distinct Helicobacter pylori CagA isoforms in mice. **Int J Cancer** 125, 2497-504, 2009.

【Case Report】

1. Nishihara, H., Nakasato, M., Sawa, H., Murakami, H., Yamamoto, D., Moriyama, K., Kato, N., Hashimoto, I., Kamada, H., Tanaka, S.
   A case of central nervous system lymphomatoid granulomatosis; characteristics of PET imaging and pathological findings. **J. Neurooncol**, 93, 275-278, 2009.

2. Ono, H., Okabe, M., Kimura, T., Kawakami, M., Nakamura, K., Dnajo, Y., Takasugi, H., Nishihara, H.
   Colonic metastasis from primary carcinoma of the lung: report of a case and review of Japanese literature. **Clin. J. Gastroenterol**, 2, 89-95, 2009.

3. Kawabori, M., Kuroda, S., Nakayama, N., Kenmotsu, Y., Shimizu H., Tanino M., Iwasaki Y.,

Spontaneous Giant Aneurysm of the Superficial Temporal Artery - Case Report- **Neurol. Medico-Chirurg**, 49, 198-201, 2009.

4. 青柳 瑛子, 野田頭 未歩, 笹井 研, 渡辺 麻那美, 藤本 真, 金子 貞夫, 田中 伸哉
術中捺印細胞診標本を用いた脳腫瘍の MGMT 免疫染色法:退形成性乏突起膠腫による検討 **日本臨床細胞学会北海道支部会報**, 18, 2009.

【Review, etc.】

1. Birge, R.B., Kalodimos, C., Inagaki, F., Tanaka, S.
Crk and CrkL adaptor proteins: networks for physiological and pathological signaling. **Cell Commun. Signal**, 7, 13, 2009.

2. 田中 伸哉
シグナル伝達アダプター分子 CRK の生物学的役割 **生化学**, 81, 361-376, 2009.

3. 田中 伸哉
脳腫瘍（グリオーマ）における分子病理診断
分子解析と治療法を示唆する MGMT 発現評価法を中心として- **医学のあゆみ**, 229, 981-986, 2009.

●2010年

【Original article】

1. Tabu, K., Kimura, T., Sasai, K., Wang, L., Bizen, N., Nishihara, H., Taga, T., Tanaka, S. Analysis of an alternative human CD133 promoter reveals the implication of Ras/ERK pathway in tumor stem-like hallmarks. **Mol. Cancer**, 9, 39, 2010.

2. Wang, L., Nishihara, H., Kato, Y., Kimura, T., Tanino, M., Nishio, M., Endo, T., Koike, T., and Tanaka, S. DOCK2 regulates cell proliferation through Rac and ERK activation in B cell lymphoma. **Biochem. Biophys. Res. Commun**, 395, 111-115, 2010.

3. Aoyanagi, E., Sasai, K., Nodagashira, M., Wang, L., Nishihara, H., Ihara, H., Ikeda,Y., Tanaka, S. Cliniocopathological application of lectin histochemistry: bisecting GlcNAc in glioblastoma. **AIMM**, 18, 518-525, 2010

4. Orba, Y., Suzuki, T., Makino, Y., Kubota, K., Tanaka, S., Kimura, T., Sawa, H.
Large T antigen promotes JC virus replication in G2-arrested cells by inducing ATM- and ATR-mediated G2 checkpoint signaling. **J. Biol. Chem**, 285, 1544-1554, 2010.

5. Suzuki, T., Orba, Y., Okada, Y., Sunden, Y., Kimura, T., Tanaka, S., Nagashima, K., Hall, W. W., and Sawa, H. The human polypma JC virus agnoprotein acts as a viroporin. **PLos Pathogen**, 6, 3, 2010.

6. Saito, M., Mori, A., Irie, T., Tanaka, M., Morioka, M., Ozasa, M.,Kobayashi, T., Saga, A., Miwa, K., Tanaka, S.Endoscopic Follow-up of 3 Cases with Gastrointestinal Tract

Involvement of Mantle Cell Lymphoma. **Intern. Med**, 49, 231-235, 2010.

7. Mizutani, T., Kondo, T., Darmanin, S., Tsuda, M., Tanaka, S., Tobiume, M., Asaka, M., Ohba, Y. A novel FRET-based biosensor for the measurement of BCR-ABL activity and its response to drugs in living cells. **Clin. Cancer Res**, 16, 3964-3975, 2010.

8. Yanagi, T., Akiyama, M., Nishihara, H., Ishikawa, J., Sakai, K., Miyamura, Y., Naoe, A., Kitahara, T., Tanaka, S. & Shimizu, H. Self-improvement of keratinocyte differentiation defects during skin maturation in ABCA12-deficient harlequin ichthyosis model mice. **Am J Pathol** 177, 106-18 2010.

9. Hayashi, Y., Nakada, M., Tanaka, S., Uchiyama, N., Hayashi, Y., Kita, D. & Hamada, J. Implication of 5-aminolevulinic acid fluorescence of the ventricular wall for postoperative communicating hydrocephalus associated with cerebrospinal fluid dissemination in patients with glioblastoma multiforme: a report of 7 cases. **J Neurosurg** 112, 1015-9 2010.

【Case Report】

1. Takiyama, A., Wang, L., Tanino, M., Kimura, T., Kawagishi, N., Kunieda, Y., Katano, H., Nakajima, N., Hasegawa, H., Takagi, T., Nishihara, H., Sata, T., Tanaka, S. Sudden death of a patient with pandemic influenza (A/H1N1pdm) virus infection by acute respiratory distress syndrome. **Jpn. J. Infect. Dis**, 63, 72-74, 2010.

2. Konno, S., Oizumi, S., Shinagawa, N., Kikuchi, E., Konishi, J., Ito, K., Hizawa, N., Takiyama, A., Tanaka, S., Nishimura, M. Primary mediastinal liposarcoma, with 6 years of follow-up to autopsy, revealed histopathological features of primary and metastatic lesions. **Intern Med**, 49, 771-5, 2010.

3. Ito, T, Ozaki, Y, Sato, K, Oikawa, M, Tanino, M, Nakamura, H, Tanaka, S. Radiation-induced osteosarcomas after treatment for frontal gliomas: a report of two cases. **Brain Tumor Pathol**, 27, 103-109, 2010.

【Review, etc.】

1. 田中　伸哉　病理と臨床　形態学キーワード　「異型グリア」, **病理と臨床**, 2010

2. 田中伸哉 & 長嶋和郎　『新時代の脳腫瘍学　診断・治療の最前線』, 111-118, **日本臨床,** 2010

3. 中村 仁志夫、佐藤 達資、石津 明洋、 田中 伸哉編　『医療系学生のための病理学』　第 4 版, **講談社**, 2010

●2011年

【Original article】

1. Kohsaka, S., Sasai, K., Takahashi, K., Akagi, T., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H.,

and Tanaka, S. A population of BJ fibroblasts escaped from Ras-induced senescence susceptible to transformation. **Biochem. Biophys. Res. Commun.,** 410, 878-884, 2011.

2. Yanagi, T., Akiyama, M., Nishihara, H., Miyamura, Y., Sakai, K., Tanaka, S., and Shimizu, H. AKT Has an Anti-Apoptotic Role in ABCA12-Deficient Keratinocytes. **J. Invest. Dermatol.,** 131, 1942-5, 2011.

3. Shirai, S., Takahashi, K., Kohsaka, S., Tsukamoto, T., Isogai, H., Kudo, S., Sawa, H., Nagashima, K., and Tanaka, S. High expression of MeCP2 in JC virus-infected cells of progressive multifocal leukoencephalopathy brains. **Neuropathology,** 31, 38-41, 2011.

4. Friedrichs, N., Trautmann, M., Endl, E., Sievers, E., Kindler, D., Wurst, P., Czerwitzki, J., Steiner, S., Renner, M., Penzel, R., Koch, A., Larsson, O., Tanaka, S., Kawai, A., Schirmacher, P., Mechtersheimer, G., Wardelmann, E., Buettner, R., and Hartmann, W.. Phosphatidylinositol-3′ -kinase/AKT signalling is essential in synovial sarcoma. **Int. J. Cancer,** 129, 1564-1575, 2011.

5. Matsui, Y., Ikesue, M., Danzaki, K., Morimoto, J., Sato, M, Tanaka, S., Kojima, T., Tsutsui, H., and Uede, T. Syndecan-4 prevents cardiac rupture and dysfunction after myocardial infarction. **Circ. Res.,** 108, 1328-1339, 2011.

6. Schildhaus, H.U., Riegel, R., Hartmann, W., Steiner, S., Wardelmann, E., Merkelbach-Bruse, S., Tanaka, S., Sonobe, H., Schüle, R., Buettner, R., and Kirfel, J. Lysine-specific demethylase 1 is highly expressed in solitary fibrous tumors, synovial sarcomas, rhabdomyosarcomas, desmoplastic small round cell tumors, and malignant peripheral nerve sheath tumors. **Hum. Pathol.,** 42, 1667-1675, 2011.

7. Sugiyama, T.,Kuroda, S.,Nakayama, N.,Tanaka, S.,Houkin, K.
Bone Marrow-Derived Endothelial Progenitor Cells Participate in the Initiation of Moyamoya Disease
Neurol Med Chir., 51, 767-773, 2011.

8. Fujioka, Y., Tsuda, M.,Hattori, T.,Sasaki, J.,Sasaki, T.,Miyazaki, T.,Ohba, Y.
The Ras-PI3K signaling pathway is involved in clathrin-independent endocytosis and the internalization of influenza viruses.
PLoS One., 6, e16324, 2011.

9. Yamada, T.,Tsuda, M.,Takahashi, T.,Totsuka, Y.,Shindoh, M.,Ohba, Y.
RANKL expression specifically observed in vivo promotes epithelial mesenchymal transition and tumor progression.
Am J Pathol., 178, 2845-2856, 2011.

10. Einama, T., Kamachi, H., Nishihara, H., Homma, S., Kanno, H., Takahashi, K., Sasaki, A., Tahara, M., Okada, K., Muraoka, S., Kamiyama, T., Matsuno, Y., Ozaki, M., and Todo, S. Co-Expression of Mesothelin and CA125 Correlates With Unfavorable Patient Outcome in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.
Pancreas, 1276-1282, 2011.

11. Hassan MK., Watari, H.,Han, Y.,Mitamura, T.,Hosaka, M.,Wang, L.,Tanaka, S., Sakuragi, N. Clusterin is a potential molecular predictor for ovarian cancer patient’s survival: targeting clusterin improves response to paclitaxel.
J Exp Clin Cancer Res. 30, 1132011, 2011.

12. 瀬尾善宣、伊東民雄、中川原譲二、中村博彦、田中伸哉, 小脳橋角部に発生した Meningeal melanocytoma の 1 例
脳神経外科, 39(9), 859-864, 2011.

13. 大場雄介、津田真寿美 蛍光タンパク質を用いた細胞内シグナル伝達の可視化（Visualization of cellular signaling by fluorescent proteins）
くすりとからだ 日本薬理学雑誌, 138, 13-17, 2011.

【Case Report】

1. Yamaguchi, S., Kobayashi, H., Hirata, K., Shiga, T., Tanaka, S., Murata, J., and Terasaka, S. Detection of histological anaplasia in gliomas with oligodendroglial components using positron emission tomography with (18)F-FDG and (11)C-methionine: report of two cases.
J. Neurooncol, 101, 335-341, 2011.

2. Takahashi, K., Nishihara, H., Katoh, M., Yoshinaga, T., Mahabir, R., Kanno, H., Kimura, T., Tanino, M., Ikeda, J., Sawamura, Y., Nagashima, K., and Tanaka, S. A case of atypical teratoid/rhabdoid tumor in an adult, with long survival.
Brain Tumor Pathol., 28, 71-67. 2011.

3. Yamada, T., Nishimura, G., Nishida, K., Sawai, H., Omatsu, T., Kimura, T., Nishihara, H., Shono, R., Shimada, S., Morikawa, M., Mizushima, M., Yamada, T., Cho, K., Tanaka, S., Shirato, H., and Minakami, H.
Prenatal diagnosis of short-rib polydactyly syndrome type 3 (Verma-Naumoff type) by three-dimensional helical computed tomography.
J. Obstet. Gynaecol Res., 37, 151-155, 2011.

4. Kanno, H., Nishihara, H., Hara, K., Ozaki, Y., Itoh, T., Kimura, T., Tanino, M., and Tanaka, S. A case of lymphoplasmacyte-rich meningioma of the jugular foramen.
Brain Tumor Pathol, 28, 341-345, 2011.

5. Terasaka, S., Kawabori, M., Kobayashi, H., Murata, J., Kanno, H., Tanaka, S., and Houkin, K.. Neurohypophyseal germinoma with abundant fibrous tissue.
Brain Tumor Pathol, 58-62, 2012.

6. Koiwa H, Tsujino I, Ikeda D, Ohira H, Tanino M, Nishimura M. An autopsy case of pulmonary veno-occlusive disease refractory to imatinib.
Eur Respir J., 37, 968-970, 2011

7. 瀧山晃広、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉 急激な経過で死亡した新型インフルエンザ肺炎症例の病理学的検討
分子呼吸器病, Vol.15, 132-136, 2011.

8. 中野史人、矢部一郎、秋本幸子、石津明洋、田中伸哉、笠原正典、佐々木秀直 転移性髄膜癌腫症との鑑別が困難であった primary diffuse leptomeningeal gliomatosis の 1 例, **臨床神経**, 51, 197-202, 2011.

9. 御神本雅亮、御神本雅亮、瀬尾善宣、瀬尾善宣、伊東民雄、伊東民雄、中川原譲二、中川原譲二、中村博彦、中村博彦、田中伸哉 小脳橋角部に発生した Meningeal Melanocytoma の 1 例, **脳神経外科** 39, 859-864, 2011.

10. 青柳瑛子, 谷野美智枝, 菅野宏美, 高阪真路, 野田頭未歩, 木村太一, 西原広史, 藤本真, 村田純一 & 田中伸哉. 膠芽腫の術中細胞診標本を用いたリン酸化 STAT3 の検討. **日本臨床細胞学会北海道支部会報** 20, 1-4 2011.

11. 大竹安史, 佐藤憲市, 伊東民雄, 安斉公雄, 尾崎義丸, 及川光照, 福井崇人, 中村博彦, 菅野宏美 & 田中伸哉. 中間型松果体実質腫瘍 (PPTID) の 2 例. **脳神経外科ジャーナル** 20, 456-462 2011.

12. 伊東民雄, 尾崎義丸, 佐藤憲市, 及川光照, 中村博彦, 田中伸哉, 谷野美智枝 & 長嶋和郎. Secondary gliosarcoma の臨床病理学的検討. **脳神経外科ジャーナル** 20, 289-299 2011.

【Review, etc.】

1. Kouichi Tabu, Tetsuya Taga and Shinya Tanaka Chapter 8 “Glioma Stem Cells.” **Molecular Targets of CNS Tumors**, 2011. ISBN:978-953-307-736-9, Available from:

●2012年

【Original article】

1. Kohsaka, S., Wang, L., Yachi, K., Mahabir, R., Narita, T., Itoh, T., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H., and Tanaka, S. STAT3 inhibition overcomes temozolomide resistance in glioblastoma by downregulating MGMT expression. **Mol. Cancer. Ther.,** 11, 1289-1299, 2012.

2. Kimura, T., Wang, L., Tabu, K., Nishihara, H., Mashita, Y., Kikuchi, N., Tanino, M., Hiraga, H., and Tanaka, S. CD133 negatively regulates tumorigenicity via AKT pathway in synovial sarcoma. **Cancer invest.,** 30, 390-397, 2012.

3. Kanno, H., Nishihara, H., Narita, T., Yamaguchi, S., Kobayashi, H., Tanino, M., Kimura, T., Terasaka S., and Tanaka, S. Prognostic implication of histological oligodendroglial tumor component: clinicopathological analysis of 111 cases of malignant gliomas. **PLoS One,** 7, e41669, 2012.

4. Yanagi, H., Wang, L., Nishihara, H., Kimura, T., Tanino, M., Yanagi, T., Fukuda, S., and Tanaka, S. CRKL plays a pivotal role in tumorigenesis of head and neck squamous cell carcinoma through the regulation of cell adhesion. **Biochem. Biophys. Res. Commun.,** 418,

104-109, 2012.

5. Kanno, H., Nishihara, H., Oikawa, M., Ozaki, Y., Murata, J., Sawamura, Y., Kato, M.., Kubota, K., Tanino, M., Kimura, T., Nagashima, K., Itoh, T., and Tanaka, S. Expression of O6-methylguanine DNA methyltransferase (MGMT) and immunohistochemical analysis of 12 pineal parenchymal tumors. **Neuropathol.,** 32, 647-653, 2012.

6. Saito, M., Nishihara, H., Tanino, M., Kimura, T., Matsuno, Y., Nagashima, K., Shimizu, M., and Tanaka, S. Pancreatic carcinoma with prominent mucin production: A clinicopathologic and immunohistochemical study of 9 cases. **Open Journal of Pathol.,** 2, 12-20, 2012.

7. Shime, H., Matsumoto, M., Oshiumi, H., Tanaka, S., Nakane, A., Iwakura, Y., Tahara, H., Inoue, N., and Seya, T. Toll-like receptor 3 signaling converts tumor-supporting myeloid cells to tumoricidal effectors. **Proc. Natl. Acad. Sci. USA,** 109, 2066-2071, 2012.

8. Yaguchi, H., Okumura, F., Takahashi, H., Kano, T., Kameda, H., Uchigashima, M., Tanaka, S., Watanabe, M., Sasaki, H., and Hatakeyama, S. TRIM67 negatively regulates Ras activity through degradation of 80K-H and induces neuritogenesis. **J. Biol. Chem.,** 287, 12050-12059, 2012.

9. Nakajima, N., Sato, Y.,Katano, H., Hasegawa, H., Kumasaka, T., Hata, S., Tanaka, S., Amano, T.,Kasai, T., Chong, J.M., Iiduka, T., Nakazato, I., Hino, Y., Hamamatsu, A., Horiguchi, H., Tanaka, T., Hasagawa, A., Kanaya, Y., Oku, R., Oya, T., and Sata, T. Histopathological and immunohistochemical findings of 20 autopsy cases with 2009 H1N1 virus infection. **Mod. Pathol.,** 25, 1-13, 2012.

10. Tsukiyama, T., Matsuda-Tsukiyama, M., Bohgaki, M., Terai, S., Tanaka, S., and Hatakeyama, S. Ymer acts as a multifunctional regulator in NF-κB and Fas signaling pathways. **Mol. Med.,** 18, 587-597, 2012.

11. Watari, H., Kinoshita, R., Han, Y., Wang, L., Hosaka, M., Taguchi, H. ,Tsuchiya, K., Tanaka, S., Shirato, H., and Sakuragi, N. Prognostic Significance of Clusterin Expression in Advanced-Stage Cervical Cancer Treated With Curative Intended Radiotherapy. **Int. J. Gynecol. Cancer,** 22, 465-470, 2012.

12. Hirata, K., Terasaka, S., Shiga, T., Hattori, N., Magota, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, S., Houkin, K., Tanaka, S., Kuge, Y., and Tamaki, N. 18F-fluoromisonidazole positron emission tomography may differentiate glioblastoma multiforme from less malignant gliomas. **Eur. J. Nucl. Med. Mol. Imaging,** 39,760-770, 2012.

13. Muraki, C., Ohga, N., Hida, Y., Nishihara, H., Kato, Y., Tsuchiya, K., Matsuda, K., Totsuka, Y., Shindoh, M., and Hida, K. Cyclooxygenase-2 inhibition causes antiangiogenic effects on tumor endothelial and vascular progenitor cells. **Int. J. Cancer,** 130, 59-70, 2012.

14. Matsukawa, T., Goto, H., Takahashi, K., Asanuma, S., Yasumoto, A., Takahata, M., Shigematsu, A., Endo, T., Tanaka, J., Hashino, S., Tanaka, S., and Imamura, M. A fatal

case of cytomegalovirus ventriculoencephalitis in a mycosis fungoides patient who received multiple umbilical cord blood cell transplantations. **Int. J. Hematol.,** 95, 217-222, 2012.

15. Narita, T., Aoyama, H., Hirata, K., Onodera, S., Shiga, T., Kobayashi, H., Murata, J., Terasaka, S., Tanaka, S., and Houkin, K. Reoxygenation of Glioblastoma Multiforme Treated with Fractionated Radiotherapy Concomitant with Temozolomide: Changes Defined by 18F-fluoromisonidazole Positron Emission Tomography: Two Case Reports. **Jpn. J. Clin. Oncol.,** 42, 120-123, 2012.

16. Yamaguchi, S., Kobayashi, H., Terasaka, S., Ishii, N., Ikeda, J., Kanno, H., Nishihara, H., Tanaka, S., and Houkin, K. The Impact of Extent of Resection and Histological Subtype on the Outcome of Adult Patients with High-grade Gliomas. **Jpn. J. Clin. Oncol.,** 420, 270-277, 2012.

17. Einama, T., Homma, S., Kamachi, H., Kawamata, F., Takahashi, K., Takahashi, N., Taniguchi, M., Kamiyama, T., Furukawa, H., Matsuno, Y., Tanaka, S., Nishihara, H. ,Taketomi, A., and Todo, S. Luminal membrane expression of mesothelin is a prominent poor prognostic factor for gastric cancer. **Br. J. Cancer,** 107, 137-142, 2012.

18. Arai ,R., Tsuda, M., Watanabe, T., Ose, T., Obuse, C., Maenaka, K., Minami, A., and Ohba, Y. Simultaneous inhibition of Src and Aurora kinases by SU6656 induces therapeutic synergy in human synovial sarcoma growth, invasion and angiogenesis in vivo. **Eur. J. Cancer,** 48, 2417-2430, 2012.

19. Wakayama, K., Fukai, M., Yamashita, K., Kimura, T., Hirokata, G., Shibasaki, S., Fukumori, D., Haga, S., Sugawara, M., Suzuki, T., Taniguchi, M., Shimamura, T., Furukawa, H., Ozaki, M., Kamiyama, T. and ,Todo, S. Successful transplantation of rat hearts subjected to extended cold preservation with a novel preservation solution. **Transpl. Int.,** 25, 696-706, 2012.

20. Hosoya, H., Kadowaki, K., Matsusaki, M., Cabral, H., Nishihara, H., Ijichi, H., Koike, K., Kataoka, K., Miyazono, K., Akashi, M., and Kano, M.R.. Engineering fibrotic tissue in pancreatic cancer: A novel three-dimensional model to investigate nanoparticle delivery. **Biochem. Biophys. Res. Commun.,** 419, 32-37, 2012.

21. Yuzawa S, Kano MR, Einama T, and Nishihara H. PDGFRβ expression in tumor stroma of pancreatic adenocarcinoma as a reliable prognostic marker. **Med. Oncol.,** 29, 2824-2830, 2012.

22. Zhang, L., Nishihara, H., and Kano, M.R.. Pericyte-coverage of human tumor vasculature and nanoparticle permeability. **Biol. Pharm. Bull.,** 35, 761-6, 2012.

23. Kawamata, F., Kamachi, H., Einama, T., Homma, S., Tahara, M., Miyazaki, M., Tanaka, S., Kamiyama, T., *Nishihara, H., Taketomi, A., and Todo, S.. Intracellular localization of mesothelin predicts patient prognosis of extrahepatic bile duct cancer. **Int. J. Oncol.,** 41, 2109-2118, 2012.

24. 鴨嶋雄大、茂木洋晃、寺坂俊介、小林浩之、山口秀、村田純一、田中伸哉、寳金清博　膠芽腫患者長期生存 5 例の検討―特に IDH1 遺伝子変異，MGMT 遺伝子プロモーターメチル化に関して**脳神経外科,** 40, 129-135, 2012.

【Case Report】

1. Tanino, M., Kohsaka, S., Kimura, T., Tabu, K., Nishihara, H., Sawa, H., Kawami, H., Kamada, H., Shimizu, M., and Tanaka, S. A case of clear cell variant of solid-pseudopapillary tumor of the pancreas in an adult male patient. **Ann. Diagn. Pathol.,** 16, 134-140, 2012.

2. Terasaka, S., Kawabori, M., Kobayashi, H., Murata, J., Kanno, H., Tanaka, S., and Houkin, K. Neurohypophyseal germinoma with abundant fibrous tissue.**Brain Tumor Pathol.,** 29, 58-62, 2012.

3. Matsukawa, T.,Goto, H., Takahashi, K., Asanuma, S., Yasumoto, A., Takahata, M., Shigematsu, A., Endo, T.. Tanaka, J., Hashino, S., and Tanaka, S., Imamura, M.A fatal case of cytomegalovirus ventriculoencephalitis in a mycosis fungoides patient who received multiple umbilical cord blood cell transplantations. **Int. J. Hematol.,** 95, 217-222, 2012.

4. Kamoshima, Y., Terasaka, S., Kobayashi, H., Kaneko, S., Kubota, K., Tanaka, S., and Houkin, K. Radiation induced intraparenchymal meningioma occurring 6 years after CNS germinoma: case report. **Clin. Neurol. Neurosurg.,** 114, 1077-1080, 2012.

5. Saito, M., Morioka, M., Kanno, H., and Tanaka, S. Acute phlegmonous gastritis with neutropenia. **Intern. Med.,** 51, 2987-2988, 2012.

6. 姜貞憲、瀧山晃弘、桜井康雄、松居剛志、金俊文、志田勇人、辻邦彦、児玉芳尚、安保義恭、篠原敏也、真口宏介. 肝細胞癌を合併した非線維化 NASH 及び遺伝子型 Ae HBV 起因 B 型慢性肝炎の 1 例 **肝臓,** 53 巻 2 号, 90-100, 2012.

7. 笹木有佑、高野眞寿、谷野美智枝、露口雅子、長佐古友和、川村直之、工藤峰生、土橋誠一郎、飯田潤一. くり返す出血のために腸管切除を必要とした長期血液透析患者の特発性腸間膜静脈硬化症の 1 例. **Gastroenterological Endoscopy,** 54 巻 7 号, 2039-2045, 2012.

【Review, etc.】

1. Shinya Tanaka. “CRK”
   Atlas of Genetics and Cytogenetics in Oncology and Haematology 2012.

2. Masumi Tsuda, Shinya Tanaka. Roles for Crk in cancer metastasis and invasion.
   Genes Cancer., 334-340, 2012.

3. Tsuda, M., Ohba, Y. Functional Biomarkers of Oral Cancer.
   Oral Cancer. Chapter 15, 2012 ISBN 978-953-307-805-2. Ohba, Y., Darmanin, S., Mizutani, T., Tsuda, M., and Kondo, T. Biosensors for BCR-ABL activity and their application to cancer.

Biosensors and Cancer, Chapter14, 268-283, 2012.

4. 大場雄介, 津田真寿美. 細胞内シグナル伝達の可視化技術と分子標的治療薬の耐性判定への応用
生化学 84 巻, 359-365, 2012

5. 高阪真路、菅野宏美、田中伸哉. 分子標的薬耐性化メカニズムの解明 グリオーマにおける MGMT の発現調節と抗がん剤耐性解除を目指した治療への応用.
日本臨床 70 巻, 346-352, 2012.

6. 田中伸哉　毛様体性星細胞腫における BRAF の遺伝子異常
病理と臨床, 30, 380-385, 2012.

7. 田中伸哉 **はじめの一歩のイラスト病理学** 第 1 章、第 9 章　羊土社、2012

●2013年

【Original article】

1. Kanno, H., Nishihara, H., Wang, L., Yuzawa, S., Kobayashi, H., Tsuda, M., Kimura, T., Tanino, M., Terasaka, S., and Tanaka, S. Expression of CD163 prevents apoptosis through the production of granulocyte colony-stimulating factor in meningioma. **Neuro Oncol.,** 15, 853-864, 2013.

2. Mitamura, T., Watari, H., Wang, L., Kanno, H., Hassan, MK., Miyazaki, M., Katoh, Y., Kimura, T., Tanino, M., Nishihara, H., Tanaka, S., and Sakuragi, N. Downregulation of miRNA-31 induces taxane resistance in ovarian cancer cells through increase of receptor tyrosine kinase MET. **Oncogenesis.,** 2:e40., 2013.

3. Kohsaka, S., Takahashi, K., Wang, L., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H., and Tanaka, S. Inhibition of GSH synthesis potentiates temozolomide-induced bystander effect in glioblastoma. **Cancer Lett.,** 331, 68-75, 2013.

4. Kato, Y., Nishihara, H., Yuzawa, S., Mohri, H., Kanno, H., Hatanaka, Y., Kimura, T., Tanino, M., and Tanaka, S. Immunohistochemical molecular expression profile of metastatic brain tumor for potent personalized medicine. **Brain Tumor Pathol.,** 30, 167-174, 2013.

5. Kato, Y., Nishihara, H., Mohri, H., Kanno, H., Kobayashi, H., Kimura, T., Tanino, M., Terasaka, S., and Tanaka, S. Clinicopathological evaluation of cyclooxygenase-2 expression in meningioma: immunohistochemical analysis of 76 cases of low and high-grade meningioma. **Brain Tumor Pathol.,** 31, 23-30, 2014.

6. Ma, Y., Semba, S., Khan, MR., Bochimoto, H., Watanabe, T., Fujiya, M., Kohgo, Y., Liu, Y., and Taniguchi, T. Focal adhesion kinase regulates intestinal epithelial barrier function via redistribution of tight junction. **Biochim Biophys Acta.,** 1832, 151-159, 2013.

7. Nanjo, S., Yamada, T., Nishihara, H., Takeushi, S., Sano, T., Nakagawa, T., Ishikawa, D.,

Zhao, L., Ebi, H., Yasumoto, K., Matsumoto, K., and Yano, S. Ability of the Met kinase inhibitor crizotinib and new generation EGFR inhibitors to overcome resistance to EGFR inhibitors. **PLos One,** 8, e84700, 2013.

8. Guo, H., Huang, R., Semba, S., Kordowska, J., Huh, YH., Khalina-Stackpole, Y., Mabuchi, K., Kitazawa, T., and Wang, C.L. Ablation of smooth muscle caldesmon affects the relaxation kinetics of arterial muscle. **Pflugers Arch - European Journal of Physiology.,** 465, 283-294, 2013.

9. Takahashi, K., Orba, Y., Kimura, T., Wang, L., Kohsaka, S., Tsuda, M., Tanino, M., Nishihara, H., Nagashima, K., Sawa, H., and Tanaka, S. The Relationship between Methyl CpG Binding Protein 2 and JC Viral Proteins. **Jpn J Infect Dis.,** 66, 126-132, 2013.

10. Endo, S., Terasaka, S., Yamaguchi, S., Ikeda, H., Kato, T., Kobayashi, H., Tanaka, S., and Houkin, K. Primary rhabdoid tumor with low grade glioma component of the central nervous system in a young adult. **Neuropathol.,** 33, 185-191, 2013.

11. Hashimoto, M., Suizu, F., Tokuyama, W., Noguchi, H., Hirata, N., Matsuda-Lennikov, M., Edamura, T., Masuzawa, M., Gotoh, N., Tanaka, S., and Noguchi, M. Protooncogene TCL1b functions as an Akt kinase co-activator that exhibits oncogenic potency in vivo. **Oncogenesis.,** 2:e70., 2013.

12. Motegi, H., Kamoshima, Y., Terasaka, S., Kobayashi, H., Yamaguchi, S., Tanino, M., Murata, J., and Houkin, K. IDH1 mutation as a potential novel biomarker for distinguishing pseudoprogression from true progression in patients with glioblastoma treated with temozolomide and radiotherapy. **Brain Tumor Pathol.,** 30, 67-72, 2013.

13. Michels, S., Trautmann, M., Sievers, E., Kindler, D., Huss, S., Renner, M., Friedrichs, N., Kirfel, J., Steiner, S., Endl, E., Wurst, P., Heukamp, L., Penzel, R., Larsson, O., Kawai, A., Tanaka, S., Sonobe, H., Schirmacher, P., Mechtersheimer, G., Wardelmann, E., Büttner, R., and Hartmann, W. SRC signaling is crucial in the growth of synovial sarcoma cells. **Cancer Res.,** 73, 2518-2528, 2013.

14. Kinoshita, R., Nam, J., Ito, YM., Hatanaka, K., Hashimoto, A., Handa, H., Otsuka, Y., Hashimoto, S., Onodera, Y., Hosoda, M., Onodera, S., Shimizu, S., Tanaka, S., Shirato, H., Tanino, M., and Sabe, H. Co-overexpression of GEP100 and AMAP1 proteins predicts rapid local recurrence after breast conservative therapy. **PLoS One.** 8, e76791, 2013.

15. Miura, Y., Takenaka, T., Toh, K.,Wu, S., Nishihara, H., Kano, M., Ino, Y., Nomoto, T., Matsumoto, Y., Koyama, H., Cabral, H., Nishiyama, N., and Kataoka, K. Cyclic RGD-Linked Polymeric Micelles for Targeted Delivery of Platinum Anticancer Drugs to Glioblastoma through the Blood-Brain Tumor Barrier. **ACS Nano., 7, 8583-8592**

16. Kobos, R., Nagai, M., Tsuda, M., Merl, MY., Saito, T., Laé, M., Mo, Q., Olshen, A., Lianoglou, S., Leslie, C., Ostrovnaya, I., Antczak, C., Djaballah, H., and Ladanyi, M. Combining integrated genomics and functional genomics to dissect the biology of a cancer-associated, aberrant transcription factor, the SAPSCR1-TFE3 fusion oncoprotein. **J**

Pathol., 229, 743-754, 2013.

17. Oashi, K., Furukawa, H., Nishihara, H., Ozaki, M., Oyama, A., Funayama, E., Hayashi, T., Kuge, Y., and Yamamoto, Y. Pathophysiological Characteristics of Melanoma In-Transit Metastasis in a Lymphedema Mouse Model. **J Invest Dermatol.,** 133, 537-544, 2013.

18. Saito, M., Morioka, M., Wakasa, K., Izumiyama, K., Mori, A., Irie, T., Tanaka, M., and *Tanaka, S.*. In Japanese patients with type A gastritis with pernicious anemia the condition is very poorly associated with Helicobacter pylori infection. **J Infect Chemother.,** 19, 208-210, 2013

19. Fujioka, Y., Tsuda, M., Nanbo, A., Hattori, T., Sasaki, J., Sasaki, T., Miyazaki, T., and Ohba, Y. A Ca2+-dependent signaling circuit regulates influenza A virus internalization and infection. **Nat Commun.**,4, 2763, 2013.

20. Herrero, R., Tanino, M., Smith, LS., Kajikawa, O., Wong, VA., Mongovin, S., Matute-Bello, G., Martin, TR. The Fas/FasL pathwat impairs the alveolar fluid clearance in mouse lungs. **Am J Physiolo Lung cell Mol Physiol.,** 305, L355-388, 2013.

21. Miyazaki, M., Nishihara, H., Hasegawa, H., Tashiro, M., Wang, L., Kimura, T., Tanino, M., Tsuda, M., Tanaka, S. NS1-binding protein abrogates the elevation of cell viability by the influenza A virus NS1 protein in association with CRKL. **Biochem Biophys Res Commun,** 441, 953-957, 2013.

【Case Report】

1. Kanno, H., Tanino, M., Watanabe, K., Ozaki, Y., Itoh, T., Kimura, T., Nishihara, H., Itoh, T., Narita, T., Nagashima, K., and Tanaka, S. Intracranial mass-forming lesion associated with dural thickening and hypophysitis. **Neuropathol.,** 33, 213-216, 2013.

2. Shirai, S., Yabe, I., Sakushima, K., Kanno, H., Uwatoko, H., Hirotani, M., Kano, T., Kamoshima, Y., Tanaka, S., and Sasaki, H. Isolated granulomatous angiitis with eosinophilia in the central nervous system. **Neurol. and Clin. Neurosci.,** 1, 119-121. 2013.

3. Kobayashi, T., Ozasa, M., Miyashita, K., Saga, A., Miwa, K., Saito, M., Morioka, M., Takeuchi, M., Takenouchi, N., Yabiku, T., Kanno, H., Yuzawa, S., Tanino, M., Tanaka, S., Kawakami, H., Asaka, M., and Sakamoto, N. Large Solid-pseudopapillary Neoplasm of the Pancreas with Aberrant Protein Expression and Mutation of β-Catenin: A Case Report and Literature Review of the Distribution of β-Catenin Mutation. **Intern Med.,** 52, 2051-2056, 2013.

4. Sato, T., Tsujino, I., Tanino, M., Ohira, H., Nishimura, M. Broad and heterogeneous vasculopthy in pulmonary fibrosis and emphysema with pulmonary hypertension. **Respiratory Case report.**, 1,10-13, 2013.

5. 加藤新、真口宏介、小山内学、高橋邦幸、潟沼朗生、矢根圭、階子俊平、金子真紀、原田亮、加藤隆佑、友成暁子、安保義恭、高田実、篠原敏也、瀧山晃弘：十二指腸乳頭部原発腺内分泌

細胞癌の 1 例, **日本消化器病学会雑誌**、110 巻 2 号、282-289、2013.

6. 山崎大、辻邦彦、志田勇人、友成暁子、青木敬則、姜貞憲、桜井康雄、児玉芳尚、真口宏介、瀧山晃弘、篠原敏也、中島収、神代正道: 著明な石灰化を伴った肝原発神経内分泌腫瘍の 1 例、**肝臓**、54 巻 2 号、152-160、2013.

【Review, etc.】

1. Tabu, K., Bizen, N., Taga, T., Tanaka, S. Gene Regulation of Prominin-1 (CD133) in Normal and Cancerous Tissues. **Adv Exp Med Biol.,** 777, 73-85, 2013.

2. Ohba, Y., Fujioka, Y., Nakada, S., Tsuda, M. Fluorescent protein-based biosensors and their clinical applications. **Prog Mol Biol Transl Sci.** 113, 313-348, 2013.

3. Shinji Kohsaka and Shinya Tanaka. Chemotherapeutic Agent for Glioma.
Clinical Management and Evolving Novel Therapeutic Strategies for Patients with Brain Tumors. **INTECH** Chapter 19, 2013 ISBN 980-953-307-721-0.

4. 田中伸哉　中枢神経系腫瘍における家族性腫瘍症候群. **小児腫瘍組織カラーアトラス**　第 6 巻 中枢神経系腫瘍. 金原出版 2013.

5. 田中伸哉　**器官病理学**　第 14 章 神経, 南山堂　2013.

●2014年

【Original article】

1. Mahabir, R., Tanino, M., Elmansuri, A., Wang, L., Kimura, T., Itoh, T., Ohba, Y., Nishihara, H., Shirato, H., Tsuda, M., Tanaka, S. Sustained elevation of Snail promotes glial-mesenchymal transition after irradiation in malignant glioma.
Neuro Oncol. 5, 671-685, 2014. Kohsaka, S., Hinohara, K., Wang, L., Nishimura, T., Urushido, M., Yachi, K., Tsuda, M., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H., Gotoh, N., Tanaka, S. Epiregulin enhances tumorigenicity by activating the ERK/MAPK pathway in glioblastoma.
Neuro Oncol., 16, 960-970, 2014

2. Miyazaki, M., Nishihara, H., Terasaka, S., Kobayashi, H., Yamaguchi, S., Ito, T., Kamoshima, Y., Fujimoto, S., Kaneko, S., Katoh, M., Ishii, N., Mohri, H., Tanino, M., Kimura, T., Tanaka, S. Immunohistochemical evaluation of O(6) -methylguanine DNA methyltransferase (MGMT) expression in 117 cases of glioblastoma.
Neuropathology, 34, 268-276, 2014

3. Kawamata, F., Homma, S., Kamachi, H., Einama, T., shirai, Y., Tsuda, M., Tanaka, S., Maeda, M., Kajino, K., Hino, O., Takhashi, N., Kamiyama, T., Nishihara, H., Taketomi, A, and Todo, S. C-ERC/mesothelin provokes lymphatic invasion of colorectal adenocarcinoma.
J Gastroenterol., 49, 81-92, 2014.

4. Tanino, M., Sasajima, T., Nanjo, H., Akesaka, S., Kagaya, M., Kimura, T., Ishida, Y., Oda, M., Takahashi, M., Sugawara, T., Yoshioka, T., Nishihara, H., Akagami, Y., Goto, A., Minamiya, Y., Tanaka, S., R-IHC Study Group. Rapid immunohistochemistry based on alternating current electric field for intraoperative diagnosis of brain tumors.
Brain Tumor Pathology, 32, 12-9, 2014

5. Minami, Y., Kohsaka, S., Tsuda, M., Yachi, K., Hatori, N., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H., Minami, A., Iwasaki, N., Tanaka, S. SS18-SSX-regulated miR-17 promotes tumor growth of synovial sarcoma by inhibiting p21WAF1/CIP1.
Cancer Sci., 105, 1152-1159, 2014

6. Mitamura, T., Watari, H., Wang, L., Kanno, H., Kitagawa, M., Hassan, MK., Kimura, T., Tanino, M., Nishihara, H., Tanaka, S., Sakuragi, N. microRNA 31 functions as an endometrial cancer oncogene by suppressing Hippo tumor suppressor pathway. **Molecular Cancer**, 13:97. 2014

7. Kanno, Y., Watanabe, M., Kimura, T., Nonomura, K., Tanaka, S., Hatakeyama, S. TRIM29 as a novel prostate basal cell marker for diagnosis of prostate cancer.
Acta Histochem. , 116, 708-712, 2014

8. Trautmann, M., Sievers, E., Aretz, S., Kindler, D., Michels, S., Friedrichs, N., Renner, M., Kirfel, J., Steiner, S., Huss, S., Koch, A., Penzel, R., Larsson, O., Kawai, A., Tanaka, S., Sonobe, H., Waha, A., Schirmacher, P., Mechtersheimer, G., Wardelmann, E., Büttner, R., and Hartmann, W. SS18-SSX fusion protein-induced Wnt/ β -catenin signaling is a therapeutic target in synovial sarcoma.
Oncogene, 33, 5006-5016, 2014

9. Suga, T., Kinugawa, S., Takada, S., Kadoguchi, T., Fukushima, A., Homma, T., Masaki,Y., Furihata, T., Takahashi, M., Sobirin, MA., Ono, T., Hirabayashi, K., Yokota, T., Tanaka, S., Okita, K., Tsutsui, H.. Combination of exercise training and diet restriction normalizes limited exercise capacity and impaired skeletal muscle function in diet-induced diabetic mice.
Endocrinology, 155, 68-80, 2014

10. Shirai, S., Yabe, I., Kano, T., Shimizu, Y., Sasamori, T., Sato, K., Hirotani, M., Nonaka, T., Takahashi, I., Matsushima, M., Minami, N., Nakamichi, K., Saijo, M., Hatanaka, K., Shiga, T., Tanaka, S., Sasaki, H. Usefulness of 11C-methionine-positron emission tomography for the diagnosis of progressive multifocal leukoencephalopathy.
J. Neurology , 261, 2314-2318, 2014

11. Yabe, I., Tanino, M., Yaguchi, H., Takiyama, A., Cai, H., Kanno, H., Takahashi, I., Hayashi, Y., Watanabe, M., Takahashi, H., Hatakeyama, S., Tanaka, S., Sasaki, H. (Yabe I, Tanino M and Yaguchi H are contributed equally to this work) Pathology of frontotemporal dementia with limb girdle muscular dystrophy caused by a DNAJB6 mutation.
Clinical Neurology and Neurosurgery, 127C:10-12., 2014

12. Ito, T., Kanno, H., Sato, K., Oikawa, M., Ozaki, Y., Nakamura, H., Terasaka, S., Kobayashi, H., Houkin, K., Hatanaka, K., Murata, J., Tanaka, S. Clinicopathologic study of pineal parenchymal tumors of intermediate differentiation.
World Neurosurg. 81, 783-789, 2014.

13. Akaishi, R., Yamada, T., Nakabayashi, K., Nishihara, H., Furuta, I., Kojima, T., Morikawa, M., Yamada, T., Fujita, N., Minakami, H. Autophagy in the placenta of women with hypertensive disorders in pregnancy.
Placenta, 2, 974-980, 2014

14. Wu, H., Cabral, H., Toh, K., Mi, P., Chen, YC., Matsumoto, Y., Yamada, N., Liu, X., Kinoh, H., Miura, Y., Kano, MR., Nishihara, H., Nishiyama, N., Kataoka, K. Polymeric micelles loaded with platinum anticancer drugs target preangiogenic micrometastatic niches associated with inflammation.
J Control Release. 189, 1-10, 2014

15. Yamaguchi, S., Terasaka, S., Kobayashi, H., Asaoka, K., Motegi, H., Nishihara, H., Kanno, H., Onimaru, R., Ito, YM., Shirato, H., Houkin, K.. Prognostic factors for survival in patients with high-grade meningioma and recurrence-risk stratification for application of radiotherapy.
PLoS One. 5, e97108, 2014

16. Shimada, S., Fukai, M., Wakayama, K., Ishikawa, T., Kobayashi, N., Kimura, T., Yamashita, K., Kamiyama, T., Shimamura, T., Taketomi, A., Todo, S.. Hydrogen sulfide augments survival signals in warm ischemia and reperfusion of the mouse liver.
Surg. Today. 2014 Nov 2. [Epub ahead of print]

【Case Report】

1. Takahashi, K., Tsuda, M., Kanno, H., Murata, J., Mahabir, R., Ishida, Y., Kimura, T., Tanino, M., Nishihara, H., Nagashima, K., and Tanaka, S. Differential diagnosis of small cell glioblastoma and anaplastic oligodendroglioma: a case report of an elderly man.
Brain Tumor Pathol., 31,118-23. 2014.

2. Yoshida, T., Konno, S., Tsujino, I., Sato, T., Ohira, H, Chen, F., Date, H., Ishizu, A., Haga, H., Tanino, M., Nishimura, M. Severe pulmonary hypertension in adult pulmonary Langerhans cell histiocytosis: Effect of sildenafil as a bridge to lung transplantation
Internal Med., 53,1985-1990, 2014

3. Saito, M., Miyazaki, M., Tanino, M., Tanaka, S., Miyashita, K., Izumiyama, K., Mori, A., Tanaka, M., Morioka, M., Tsukamoto, E. ^{18}F-FDG PET/CT imaging for a gastrointestinal mantle cell lymphoma with multiple lymphomatous polyposis.
World J Gastroenterol. 20, 5141-5146, 2014

4. Minemura, H., Ikeda, K., Tanino, Y., Hashimoto, Y., Nikaido, T., Fukuhara, A., Yokouchi, H., Sato, S.,Tanino, M., Oka, T., Hebisawa, Ak., Suzuki, H., Ogawa,K., Takeishi, Y.,

Munakata, M.” Multicentric Castleman’s Disease with Impaired Lymphocytic Apoptosis”
Allergology International 64, 112-114, 2015

5. Sasamori, T., Hida, K., Anzai, K., Yano, S., Kato, Y., Tanaka, S., Saito, H., Houkin, K. A case of cervical juxtafacet cyst with extensive rim enhancement on Gd-DTPA MRI.
Clin Imaging. 2, 199-201, 2014

6. Abe, T., Suzuki, M., Shimizu, K., Shinagawa, N., Oizumi, S., Matsuno, Y., Miyazaki, M., Tanino, M., Tanaka, S., Nishimura, M. Anaplastic transformation of papillary thyroid carcinoma in multiple lung metastases presenting with a malignant pleural effusion: a case report
Journal of Medical Case Reports 23;8:460, 2014

7. Ono H, Honda S, Danjo Y, Nakamura K, Okabe M, Kimura T, Kawakami M, Nagashima K, Nishihara H. Rectal obstruction due to endometriosis: A case report and review of the Japanese literature
Int J Surg Case Rep. 5, 845-848, 2014.

8. 斉藤 誠, 泉山 康, 盛 暁生, 入江 達朗, 田中 雅則, 森岡 正信, 佐賀 啓良, 武藏 学, 加藤 貴司, 目黒 高志, 谷野 美智枝. チロシンキナーゼ阻害剤投与中に消化管出血をきたした慢性骨髄性白血病
臨床血液、55、130-132, 2014

【Review, etc.】

1. Nishihara, H. Human pathological basis of blood vessels and stromal tissue for nanotechnology.
Adv Drug Deliv Rev. 74, 19-27,2014

2. 田中伸哉. 「病理組織マップ＆ガイド」 17. 脳・脊髄・末梢神経/中枢神経系腫瘍、273-296, **文光堂** 2014.

3. 田中伸哉.「免疫組織化学　診断と治療選択の指針」（第 2 部）腫瘍の鑑別に用いられる抗体（各臓器別）　脳.
病理と臨床 32, 274-288 2014.

4. 田中伸哉, 鈴木博義 & Brock, K. 「神経症候群（第 2 版）-その他の神経疾患を含めて-」 腫瘍性疾患　神経上皮性腫瘍　神経細胞および混合神経細胞・膠細胞系腫瘍　小脳脂肪神経細胞腫.
日本臨床 別冊, 141-144 2014.

5. 伊東民雄, 中村博彦, 田中伸哉 & 長谷川匡. Conventional GBM vs GBMO　この 2 つの病態の entity は同一か否か　Update information.
Neurological Surgery 42, 997-1008 2014.

●2015年

【Original article】

教室オリジナル

1. Kimura, T., Wang, L., Tabu, K., Tsuda, M., Tanino, M., Maekawa, A., Nishihara, H., Hiraga, H., Taga, T., Oda, Y., Tanaka, S. Identification and analysis of CXCR4-positive synovial sarcoma initiating cells.
   Oncogene , 35: 3932-43, 2016 (Epub 2015)

2. Makino, Y., Tsuda, M., Ohba, Y., Nishihara, N., Sawa, H., Nagashima, K., Tanaka, S. Tyr724 phosphorylation of ELMO1 by Src is involved in cell spreading and migration via Rac1 activation.
   Cell Communication and Signaling, 13 : 35, 2015

3. Matsumoto, R., Tsuda, M., Wang, L., Maishi, N., Abe, T., Kimura, T., Tanino, M., Nishihara, H., Hida, K. , Ohba, Y., Shinohara, N., Nonomura, K., Tanaka, S. CRK adaptor protein induces epithelial-mesenchymal transition and metastasis of bladder cancer cells via HGF/c-Met feedback loop.
   Cancer Science,, 106,709-717, 2015

4. Furukawa, J., Tsuda, M., Okada, K., Kimura, T., Piao, J., Tanaka, S., Shinohara, Y. Comprehensive glycomics of a multistep human brain tumor model reveals specific glycosylation patterns related to malignancy.
   PLoS ONE , 10:e0128300, 2015

5. Moriya J, Tanino M, Takenami T, Endoh T, Urushido M, Kato Y, Wang L, Kimura T, Tsuda M, Nishihara H, Tanaka S, R-IHC study Group. Rapid immunocytochemistry based on alternating current electric field using squash smear preparation of central nervous system tumors.
   Brain Tumor pathology, 33, 13-18, 2016 (Epub 2015)

6. Takiyama, A., Nakane, K., Kida, K. An image analyzing method by a homology concept for fracture surfaces
   Advanced Materials Research, 1102, 135-138, 2015

共同研究

1. Yamaguchi, Y., Kitamura, S., Hata, H., Imafuku, K., Yuzawa, S., Tanaka, S., Shimizu, H. Giant annular purpuric eruption as a unique clinical manifestation of skin metastasis in apocrine carcinoma.
   J. Eur. Acad. Dermatol. Venereol., in press 2015

2. Nakane, K., Takiyama, A., Mori, S., Matsuura, N. Homology-based method for detecting regions of interest in colonic digital images.
   Diagn. Pathol., 10:36 2015

3. 3. Kobayashi, K., Hirata, K., Yamaguchi, S., Manabe, O., Terasaka, S., Kobayashi, H., Shiga, T., Hattori, N., Tanaka, S., Tamaki, N. Prognostic value of volume-based measurements on C-11 methionine positron emission tomography for glioma patients.
Eur. J. Nucl. Med. Mol. Imaging, , 42,1071-1080, 2015

4. Nikaido, T., Tanino, Y., Wang, X., Sato, S., Misa, K., Fukuhara, N., Sato, Y., Fukuhara, A., Uematsu, M., Suzuki, Y., Kojima, T., Tanino, M., Endo, Y., Tsuchiya, K., Kawamura, I., Frevert, C., Munakata, M. Serum syndecan-4 as a possible biomarker in patients with acute pneumonia.
The Journal of Infectious Diseases, 212,1500-1508, 2015

5. Nanjo, S., Nakagawa, T., Takeuchi, S., Kita, K., Fukuda, K., Nakada, M., Uehara, H., Nishihara, H., Hara, E., Uramoto, H., Tanaka, F., Yano, S. In vivo imaging models of bone and brain metastases and pleural carcinomatosis with a novel human EML4-ALK lung cancer cell line.
Cancer Sci., 106, 244-52. 2015

6. Einama, T., Kamachi, H., Nishihara, H., Homma, S., Kanno, H., Ishikawa, M., Kawamata, F., Konishi, Y., Sato, M., Tahara, M., Okada, K., Muraoka, S., Kamiyama, T., Taketomi, A., Matsuno, Y., Furukawa, H., Todo, S. Importance of luminal membrane mesothelin expression in intraductal papillary mucinous neoplasms.
Oncol Lett. , 9, 1583-1589. 2015

7. Hokari, M., Nakayama, N., Nishihara, H., Houkin, K. Pathological findings of saccular cerebral aneurysms-impact of subintimal fibrin deposition on aneurysm rupture.
Neurosurg Rev. , 8, 531-540 2015

8. Cabral, H., Makino, J., Matsumoto, Y., Mi, P., Wu, H., Nomoto, T., Toh, K., Yamada, N., Higuchi, Y., Konishi, S., Kano, MR., Nishihara, H., Miura, Y., Nishiyama, N., Kataoka, K. Systemic Targeting of Lymph Node Metastasis through the Blood Vascular System by Using Size-Controlled Nanocarriers
ACS Nano., 9, 4957-4967, 2015

9. Takahashi, Y., Akahane, T., Sawada, T., Ikeda, H., Tempaku, A., Yamauchi, S., Nishihara, H., Tanaka, S., Nitta, K., Ide, W., Hashimoto, I., Kamada, H. Adult classical glioblastoma with a BRAF V600E mutation.
World J Surg Oncol. , 13, 100. 2015

10. Takeuchi, S., Fukuda, K., Arai, S., Nanjo, S., Kita, K., Yamada, T., Hara, E., Nishihara, H., Uehara, H., Yano, S. Organ-specific efficacy of HSP90 inhibitor in multiple-organ metastasis model of chemorefractory small cell lung cancer
Int J Cancer. , in Press, 2015

11. Ohtake, J., Kaneumi, S., Tanino, M., Kishikawa T., Terada, T., Sumida, K., Masuko, K., Ohno, Y., Kita, T., Iwabuchi, S., Shinohara, T., Tanino, Y., Takemura, T., Tanaka, S., Kobayashi, H., and Kitamura, H.. Neuropeptide signaling through neurokinin-1 and 2

receptors augments antigen presentation by human dendritic cells.
J Allergy Clin Immunol, 136, 1690-4, 2015

12. Takano H, Nakamura T, Tsuchikawa T, Kushibiki T, Hontani K, Inoko K, Takahashi M, Sato S, Abe H, Takeuchi S, Sato N, Hiraoka K, Nishihara H, Shichinohe T, Hirano S . Inhibition of Eph receptor A4 by 2,5-dimethylpyrrolyl benzoic acid suppresses human pancreatic cancer growing orthotopically in nude mice.
Oncotarget, 6, 41063-76, 2015, 2015

13. Yokouchi, H., Ishida, T., Yamazaki, S., Kikuchi, H., Oizumi, S., Uramoto, H., Tanaka, F., Harada, M., Akie, K., Sugaya, F., Fujita, Y., Fukuhara, T., Takamura, K., Kojima, T., Harada, T., Higuchi, M., Matsuura, Y., Honjo, O., Minami, Y., Watanabe, N., Nishihara, H., Suzuki, H, Dosaka, H.-Akita, Isobe, H., Nishimura, M., Munakata, M. Prognostic impact of clinical variables on surgically resected small-cell lung cancer: results of a retrospective multicenter analysis (FIGHT002A and HOT1301A).
ung Cancer, , 90, 548-53, 2015

14. Goto, K., Kimura, T., Kitamura, N., Semba, S., Ohmiya, Y., Aburatani, S., Matsukura, S., Tsuda, M., Kurokawa, T., Jian Ping Gong, Tanaka,S., Yasuda,K. Synthetic PAMPS gel activates BMP/Smad signaling pathway in ATDC5 Cells, which plays a significant role in the gel-induced chondrogenic differentiation
Journal of Biomedical Materials Research: Part A, in press, 2015

15. Tabu, K., Muramatsu, N., Mangani, C., Wu, M., Zhang, R., Kimura, T., Terashima, K., Bizen, N., Kimura, R., Wang, W., Murota, Y., Kokubu, Y., Nobuhira, I., Kagawa, T., Kitabayashi, I., Bradley, M., Taga, T. A synthetic polymer scaffold reveals the self-maintenance strategies of rat glioma stem cells by organization of the advantageous niche.
Stem cells, in press, 2015

【Case Report】

1. Ito, Y., Akimoto, T., Cho, K., Yamada, M., Tanino, M., Dobata, T., Kitaichi, M., Kumaki, S., Kinugawa, Y. A late presenter and long-term survivor of alveolar capillary dysplasia with misalignment of the pulmonary veins.
Eur. J. Pediatr., 174, 1123-6 2015

2. Saito, M., Irie, T., Miyashita, K., Tanino, M. Colon involvement in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm
Internal Medicine, 54, 1677, 2015

3. Gekka M., Sugiyama T., Nomura M., Kato Y., Nishihara H., Asaoka K. Histologically Confirmed Case of Cerebral Vasculitis Associated with Crohn's Disease -A Case Report.
BMC Neurology , 15:169 2015

4. 伊東民雄、佐藤憲市、及川光照、杉尾啓徳、浅野目卓、尾崎義丸、中村博彦、田中伸哉、津田

真寿美、長嶋和郎 Pilomyxoid-spectrum astrocytoma 2 例の臨床病理学的検討－BRAF 遺伝子異常の検討も加えて
脳神経外科, 43 巻 9 号、825-833、2015

5. Konishi T., Nishihara H., Ito T., Tanaka Y. Infective endocarditis presenting initially with ileus complicated by dehiscence of annuloplasty ring.
BMC Cardiovasc Disord, 14;15:124. 2015

6. Yuzawa, S., Nishihara, H., Tanino, M., Kimura, T., Moriya, J., Kamoshima, Y., Nagashima, K., and Tanaka, S., A case of cerebral astroblastoma with rhabdoid features: a cytological, histological, and immunohistochemical study.
Brain Tumor Pathology, in press, 2015

7. 漆戸万紗那、谷野美智枝、森谷純、木村太一、西原広史、丸川活司、松野吉宏、田中伸哉　胸水細胞診にて肺腺癌および甲状腺乳頭癌の未分化転化が鑑別に挙がった 1 剖検症例
北海道臨床細胞学会会報, 24, 43-47, 2015

【Review, etc.】

1. Tanaka S., Kanno H., Ito T., Pineal Region Tumors. ADVANCES IN SURGICAL PATHOLOGY.
BRAIN CANCER, 2015

【特許】

1. 発明の名称：ホルマリン固定生体組織内での活性型低分子量 GTP 結合蛋白質検出方法
出願番号：特願 2015-043171
出願日：平成 27 年 3 月 5 日
発明者：田中伸哉、津田真寿美、谷野美智枝

2. 発明の名称：グリオーマの診断マーカー、診断方法、糖鎖マーカーを検出する方法及び糖鎖マーカー
出願番号：PCT/JP2015/072583
出願日：平成 27 年 8 月 7 日
発明者：篠原康郎、田中伸哉、古川潤一、津田真寿美

●2016年

【Original article】

1. Elmansuri, AZ., Tanino, MA., Mahabir, R, Wang, L., Kimura, T., Nishihara, H., Kinoshita, I., Dosaka-Akita, H., Tsuda, M., Tanaka, S. Novel signaling collaboration between TGF-β and adaptor protein Crk facilitates EMT in human lung cancer.
Oncotarget, 7, 27094-27107,2016

2. Yuzawa, S., Nishihara, H., Yamaguchi, S., Mohri, H., Wang, L., Kimura, T., Tsuda, M.,

Tanino, M., Kobayashi, H., Terasaka, S., Houkin, K., Sato, N., Tanaka, S. Clinical impact of targeted amplicon sequencing for meningioma as a practical clinical sequencing system.
Mod. Pathol., 29, 708-716, 2016.

3. Matsumoto, R., Tsuda, M., Yoshida, K., Tanino, M., Kimura, T., Nishihara, H., Abe, T., Shinohara, N., Nonomura, K., Tanaka, S. Aldo-keto reductase 1C1 induced by interleukin-1beta mediates the invasive potential and drug resistance of metastatic bladder cancer cells.
Sci Rep, 6, 34625, 2016

4. Kawano, S, Grassian, AR., Tsuda, M., Knutson, SK., Warholic, NM., Kuznetsov, G., Xu, S., Xiao, Y., Pollock, RM., Smith, JS., Kuntz, KK., Ribich, S., Minoshima, Y., Matsui, J., Copeland, RA., Tanaka, S., Keilhack, H. Preclinical evidence of anti-tumor activity induced by EZH2 inhibition in human models of synovial sarcoma.
PLoS ONE, 11, e0158888, 2016

5. Inamura, N., Kimura, T., Wang, L., Yanagi, H., Tsuda, M., Tanino, M., Nishihara, H., Fukuda, S,, Tanaka, S. Notch1 regulates invasion and metastasis of head and neck squamous cell carcinoma by inducing EMT through c-Myc.
Auris Nasus Larynx, 2016 in press

6. Miyazaki, M., Yashiro, K., Tanino, M., Tanaka, S., Fujioka, Y. Chondroma arising from the spinal dura mater at the thoracic level: a case report with molecular analysis.
Pathol. Res. Pract., 212, 838-841, 2016

7. Inuzuka, T., Fujioka, Y., Tsuda, M., Fujioka, M., Satoh, AO., Horiuchi, K., Nishide, S., Nanbo, A., Tanaka, S., Ohba, Y. Attenuation of ligand-induced activation of angiotensin II type 1 receptor signaling by the type 2 receptor via protein kinase C.
Sci Rep, 6, 21613, 2016

8. Yamada, T., Tsuda, M., Wagatsuma, T., Fujioka, Y., Fujioka, M., Satoh, AO., Horiuchi, K., Nishide, S., Nanbo, A., Totsuka, Y., Haga, H., Tanaka, S., Shindoh, M., Ohba, Y. Receptor activator of NF-κB ligand induces cell adhesion and integrin α2 expression via NF-κB in head and neck cancers.
Sci Rep, 6, 23545, 2016

9. Konishi, T., Funayama, N., Tsukahara, T., Yamamoto, T., Nishihara, H. Multimodality assessment of spontaneous haemostasis of left ventricular free wall rupture after myocardial infarction.
Eur Heart J Cardiovasc Imaging, 17, 467, 2016

10. Konishi, T., Yamamoto, T., Funayama, N., Nishihara, H., Hotta, D. Relationship between left coronary artery bifurcation angle and restenosis after stenting of the proximal left anterior descending artery.
Coron. Artery Dis., 27, 449-459, 2016

11. Konishi, T., Funayama, N., Nishihara, H. Successful and safe retrieval of a thrombus from

the lumen of a guiding catheter during percutaneous coronary intervention.
J Clin Case Rep. 6:719, 2016

12. Konishi, T., Funayama, N., Yamamoto, T., Nishihara, H., Hotta, D., Kikuchi, K., Yokoyama, H., Ohori, K.
Intraprocedural left ventricular free wall rupture diagnosed by left ventriculogram in a patient with infero-posterior myocardial infarction and severe aortic stenosis.
BMC Cardiovasc Disord, 16, 126, 2016

13. Konishi, T., Hotta, D., Funayama, N., Yamamoto, T., Nishihara, H., Tanaka, S. Pathologically dissimilar acute stent thromboses in a metal allergic patient.
Coron. Artery Dis., 2016 in press

14. Konishi, T., Funayama, N., Yamamoto, T., Morita, T., Hotta, D., Nishihara, H., Tanaka, S. Prognostic value of the eosinophil to leukocyte ratio in patients with ST-elevation myocardial infarction undergoing primary percutaneous coronary intervention.
J. Atheroscler. Thromb., 2016 in press

15. Li, S., Freibaum, BD., Zhang, P., Kim, NC., Kolaitis, RM., Molliex, A., Kanagaraj, AP., Yabe, I., Tanino, M., Tanaka, S., Sasaki, H., Ross, ED., Taylor, JP., Kim, HJ. Genetic interaction of hnRNPA2B1 and DNAJB6 in a Drosophila model of multisystem proteinopathy.
Hum. Mol. Genet., 25, 936-950, 2016

16. Toyonaga, T., Hirata, K., Yamaguchi, S., Hatanaka, K., Yuzawa, S., Manabe, O., Kobayashi, K., Watanabe, S., Shiga, T., Terasaka, S., Kobayashi, H., Kuge, Y., Tamaki, N. 18F-fluoromisonidazole positron emission tomography can predict pathological necrosis of brain tumours.
Eur. J. Nucl. Med. Mol. Imaging, 43, 1469-1476, 2016

17. Bandoh, N., Goto, T., Akahane, T., Ohnuki, N., Yamaguchi, T., Kamada, H., Harabuchi, Y., Tanaka, S., Nishihara, H. Diagnostic value of liquid-based cytology with fine needle aspiration specimens for cervical lymphadenopathy.
Diagn. Cytopathol., 44, 169-176, 2016

18. Kato, M., Nishihara, H., Hayashi, H., Kimura, T., Ishida, Y., Wang, L., Tsuda, M., Tanino, MA., Tanaka, S. Clinicopathological evaluation of Sox10 expression in diffuse-type gastric adenocarcinoma
Med. Oncol., in press 2016

19. Wakabayashi K, Mori F, Kakita A, Takahashi H, Tanaka S, Utsumi J, Sasaki H.MicroRNA expression profiles of multiple system atrophy from formalin-fixed paraffin-embedded samples.
Neurosci Lett. 635:117-122, 2016.

20. Toyonaga T, Yamaguchi S, Hirata K, Kobayashi K, Manabe O, Watanabe S, Terasaka S, Kobayashi H, Hattori N, Shiga T, Kuge Y, Tanaka S, Ito YM, Tamaki N. Hypoxic glucose metabolism in glioblastoma as a potential prognostic factor.

Eur J Nucl Med Mol Imaging 2016 in press.

21. 鈴鹿淳、森谷純、竹浪智子、漆戸万紗那、湯澤明夏、木村太一、西原広史、谷野美智枝、田中伸哉　SFT/HPC の術中迅速免疫細胞化学染色 (R-ICC) を用いた STAT6 の有用性についての検討
北海道臨床細胞学会会報, 25, 15-18, 2016

22. 漆戸万紗那、森谷純、竹浪智子、鈴鹿淳、木村太一、西原広史、谷野美智枝、田中伸哉　術中迅速圧挫細胞診による血管評価に基づいた神経膠腫の悪性度の検討
北海道臨床細胞学会会報, 25, 19-23, 2016

23. 角谷昌俊、佐川憲明、富山光広、髙橋香織、土田恵、佐藤綾子、伴由香、木村太一、谷野美智枝、山下啓子　乳癌における造影超音波検査での染影所見と臨床病理学的因子との関係
日本超音波医学会, in press

【Case Report】

1. Yuzawa, S., Tanikawa, S., Kunibe, I., Nishihara, H., Nagashima, K., Tanaka, S. A case of giant cell-rich solitary fibrous tumor in the external auditory canal.
Pathol. Int., 2016 in press

2. Morimoto, D., Isu, T., Kim, K., Isobe, M., Takahashi, T., Ishida, Y., Takei, H., Morita, A. Surgical treatment for posttraumatic hemorrhage inside a filum terminale myxopapillary ependymoma: a case report and literature review.
Eur Spine J, 25 (Suppl 1), S239–S244, 2016

3. Yoshimura, S., Ohta, T., Makita, K., Yamamuro, S., Ochai,Y., Sumi, K., Shijo, K., Yoshino, A., Homma, T., Sugitani, M., Yuzawa S., Nishihara, H., Tanaka, S.
EXO1 homozygous deletion suppresses the hydroxyurea sensitivity in anaplastic meningioma with extracranial metastases.
Int J Clin Exp Med, 2016 in press

4. Konishi, T., Funayama, N., Yamamoto, T., Hotta, D., Kikuchi K., Ohori, K., Nishihara, H., Tanaka, S. Severe mitral regurgitation due to mitral leaflet aneurysm diagnosed by three-dimensional transesophageal echocardiography.
BMC Cardiovasc Disord, 16, 234, 2016.

5. Saito M, Masutani M, Mabe K, Izumiyama K, Mori A, Irie T, Tanaka M, Morioka M, Tanino M.
Regression of gastric de novo diffuse large B-cell lymphoma followingHelicobacter pylori eradication: a case report
Acta Gastroenterol Belg. 2016 Jul-Sep;79(3):367-369.

【Review, etc.】

1. Yuzawa, S., Nishihara, H., Tanaka, S. Genetic landscape of meningioma.
Brain Tumor Pathology, 33, 237-247, 2016

【特許】

1. 発明者：田中伸哉、津田真寿美、谷野美智枝
   発明の名称：ホルマリン固定生体組織内での活性型低分子量 GTP 結合蛋白質検出方法
   PCT / JP2016 /056890（2016 年 3 月 15 日）

学会発表　（一般演題317題）

●2008年

【一般演題】

1. 笹井研、田中伸哉
脳腫瘍における MGMT 発現制御機構
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

2. 木村太一、笹井研、田賀哲也、田中伸哉
ヒト腫瘍細胞における CD133 遺伝子の発現メカニズム
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

3. 津田真寿美、渡部琢哉、大場雄介、田中伸哉
SYT-SSX1 トランスジェニックマウスは p53 ヘテロ環境下で滑膜肉腫様腫瘍を発生する
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

4. Ken Sasai, Shinya Tanaka
Gene regulation of MGMT in glioma: mechanisms independent of p53,NF-kappa B or Epigenetic inactivation
第 67 回日本癌学会学術総会,2008.10.28-30,名古屋

5. 青柳瑛子、野田頭未歩、笹井研、渡辺麻那美、藤元真、吉本哲之、金子貞夫、田中伸哉
退形成性希突起膠細胞腫における MGMT の免疫染色法の検討
第 29 回日本臨床細胞学会　北海道支部総会並びに学術集会, 2008.11.16, 札幌

6. 笹井研、椨康一、斉藤貴志、松葉由紀夫、西道隆臣、田中伸哉
GLI1 but not FOXM1 induces oncogenic transformation of immortalized astrocytes.
第 31 回日本分子生物学会年会, 2008.12.9-12, 神戸

7. 犬塚貴之、津田真寿美、田中伸哉、川口秀明、東雄二郎、大場雄介
TCF8 は血管新生の負の制御因子である
第 31 回日本分子生物学会年会, 2008.12.9-12, 神戸

【シンポジウム・特別講義・講演など】

1. 澤田茂樹、石川千恵、中里哲朗、富田真理子、笹井研、森直樹
HTLV-1 感染 T 細胞株および ATL 細胞におけるカベオリン-1 の発現
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

2. 大西なおみ、田中伸哉、澤洋文、三浦太浩、東秀明、東健、畠山昌則
ヘリコバクター・ピロリ cagA 遺伝子導入マウスにおける消化管腫瘍ならびに血液系腫瘍の発生
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

3. 犬塚貴之、津田真寿美、田中伸哉、大場雄介

血管新生抑制転写因子の機能解析
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008.10.28-30, 名古屋

4. 谷野美智枝
臓器シリーズ Vol.2 “肺をもっと知ろう”
平成 20 年度札幌臨床検査技師会臨床検査講座, 2008. 11. 20, 札幌

●2009年

【一般演題】

1. Sasai K., Tanaka S.
GLI1 induces CD133 expression in xenografts derived from transformed astrocytes but not in cultured cells.
Keystone Symoisia: Extrinsic Control of Tumor Genesis and Progression, 2009.3.15-20, Vancouver, BC, Canada.

2. Kiyonaga Fujii, Ken Sasai, Taichi Kimura, Shinya Tanaka, Fuyuhiko Inagaki
Quantitative Proteome Analysis in Transformed Astrocyte Cells using Spectral Counting and SILAC Methods Pennsylvanvia Convention Center
2009.5.31-6.4, Philadelphia, Pennsylvania, USA.

3. 高阪真路、笹井研、谷野美智枝、野田頭未歩、田中伸哉
Glioma の腫瘍形成能における CHD5 の役割の検討
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

4. ヘールナンデス真子、武田広子、藤田裕美、山田洋介、久保田佳奈子、羽賀博典、田中伸哉、山城勝重、松野吉宏
Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm の 2 例
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

5. 王磊、西原広史、田中伸哉
DOCK180 は Hodgkin 細胞に発現し、細胞の形態制御に重要な役割を果たしている
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

6. 野田頭未歩、笹井研、木村太一、青柳瑛子、田中伸哉
グリオーマにおける Olig2 発現制御機構と機能解析
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

7. 青柳瑛子、笹井研、Lei Wnag、野田頭未歩、西原広史、田中伸哉
N 型糖鎖の bisectin GlcNAc 構造は膠芽腫において MIB1 インデックスが低い領域に高発現する
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

8. 吉永智彰、西原広史、福島祐介、佐和弘基、村上普美、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
hCG 産生大腸癌の分子病理学的検討
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

9. 石川麻倫、柴田頌太、谷野美智枝、木村太一、西原広史、篠原敏也、田中伸哉
Clostridium 属によるガス壊疽により死亡した 2 剖検例
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

10. 川田淑子、藤枝迪子、瀧山晃弘、金藤きみと、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
転落事故後腹腔内出血にて死亡した一剖検例; Autopsy Imaging の有用性と限界
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

11. 谷野美智枝、高阪真路、木村太一、西原広史、進藤正信、田中伸哉
間質性肺炎の経過中、急性に呼吸不全が悪化し死亡された 11 剖検例の検討
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

12. 犬塚貴之、津田真寿美、田中伸哉、川口秀明、東雄二郎、大場雄介
TCF8 は血管新生の負の制御因子である
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

13. 木村太一、王磊、平賀博明、西原広史、田中伸哉
滑膜肉腫細胞株における CD133 の機能解析
第 98 回日本病理学会総会, 2009.5.1-3, 京都

14. 田中伸哉、大森優子、椨康一、野田頭未歩、青柳瑛子、伊藤民雄、中村博彦、西原広史、笹井研
Glioblastoma における CD133 の発現の免疫組織学的解析
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

15. 佐藤憲市、伊東民雄、尾崎義丸、及川光照、田中伸哉、中村博彦
悪性グリオーマに対するガンマナイフ治療後の病理像学的検討
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

16. 西原広史、狩野光伸、田中伸哉
脳腫瘍血管壁の組織病理学的解析：Glomeruloid vessel は肥厚した幼若な Pericyte で構成されている
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

17. 吉永智彰、木村憲一、村上普美、佐和弘基、鎌田一、西原広史、田中伸哉、長嶋和郎
北斗病院 16 年間の脳腫瘍 548 例の新 WHO 分類（2007）に基づいた再検討
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

18. 及川光照、伊東民雄、佐々木雄彦、尾崎義丸、原敬二、佐藤憲市、田中伸哉、中里洋一、中村博彦
第 3 脳室内に発生し腫瘍出血を伴った pilocytic astrocytoma の一例
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

19. 尾崎義丸、及川光照、佐藤憲市、安斉公雄、伊東民雄、中村博彦、田中伸哉、中里洋一
出血を伴った脊髄悪性腫瘍の 1 例
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

20. 西原広史、村上普美、木村憲一、佐和弘基、鎌田一、田中伸哉

髄膜腫における DOCK180 の発現の検討
第 50 回日本神経病理学会, 2009.6.4.-6, 高松

【シンポジウム・特別講義・講演など】

1. 田中伸哉、大森優子、椨康一、野田頭未歩、青柳瑛子、伊東民雄、中村博彦、西原広史、笹井研
Glioblastoma における CD133 の発現の免疫組織学的解析
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

2. 田中伸哉
臨床病理検討会 3
第 27 回日本脳腫瘍病理学会, 2009.5.8-9, 福岡

3. 田中伸哉
トランスレーショナル・パソロジー（橋渡し病理学・探索病理学）を目指して
病理夏の学校 2009, 2009.8.23-24, 石狩

4. 田中伸哉
写真で振り返る医学部 90 年の歴史
北大医学部フラテ祭, 2009.9.20, 札幌

5. 田中伸哉
写真で振り返る医学部 90 年の歴史
北大医学部フラテ祭, 2009.10.12, 札幌

6. 田中伸哉
脳腫瘍幹細胞の分子病理学的解析
第 10 回脳腫瘍治療研究会, 2009.11.21, 札幌

●2010年

【一般演題】

1. Teruki Yanagi1, Masashi Akiyama1, Hiroshi Nishihara2, Junko Ishikawa3, Kaori Sakai1, Yuki Miyamura1, Ayano Naoe3, Takashi Kitahara3, Shinya Tanaka4 and Hiroshi Shimizu1
Lipid transporter ABCA12 regulates keratinocyte differentiation during fetal skin development
The 16th Meeting on Protein Phosphorylation and Cell Signaling, 2010.8.18-22, USA.

2. Wang L, Nishihara H, kimura T, Tanino M, Nishio M, Obara M, Endo T, KoikeT, Tanaka S.
DOCK2 regulates cell proliferation through Rac and ERKactivation in B cell lymphoma.
第 69 回日本癌学会学術総会, 2010.9.22-24, 大阪

3. Hiroko Nakamura, Hiroshi Nishihara, Taichi Kimura, Kei Wang, Satoshi Fukuda, Shinya Tanaka.

CrkL plays a pivotal role in tumoregenesis of the oral squamous cell carcinoma.
第 69 回日本癌学会学術総会, 2010.9.22-24, 大阪

4. Taichi Kimura, Lei Wang, Miho Nodagashira, Hiroko Nakamura, Mishie Tanino, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka.
Analysis of stem-like cell features of human synovial sarcoma
Cold Spring Harbor Laboratori Meeting;Mechanisms and Models of Cancer
2010.8.17-21, Cold Spring Harbor, USA.

5. Shinji Kohsaka, ken Sasai, Kenta Takahashi, Tsuyoshi Akagi, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka.
Analysis of escape from oncogene-induced senescence in tumorigenesis
Cold Spring Harbor Laboratori Meeting; Mechanisms and Models of Cancer
2010.8.17-21, Cold Spring Harbor, USA.

6. 西原広史、谷野美智枝、長嶋和郎、田中伸哉
中枢神経発症 Lymphomatoid granulomatosis (LYG) の分子病理学的解析
第 51 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2010.4.23-25, 東京

7. 中野史人、秋本幸子、石津明洋、西村洋昭、澤村豊、新野正明、矢部一郎、笠原正典、田中伸哉、佐々木秀直
Primary diffuse leptomeningeal gliomatosis (PDLG) の 1 剖検例
第 51 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2010.4.23-25,東京

8. 新井秀雄、金城佐和子、合田史、田中伸哉、中里洋一
後天性免疫不全症候群に進行性多巣性白質脳症を合併した 1 剖検例
第 51 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2010.4.23-25, 東京

9. 石川麻倫、大場彩音、西原広史、菅野宏美、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
シグナル伝達分子の Immunoprofiling; 胃癌 20 例における臨床病理学的検討
第 99 回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

10. 瀧山晃弘、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、川岸直樹、國枝保幸、片野晴隆、長谷川秀樹、高木知敬、佐多徹太郎、田中伸哉
新型インフルエンザ（A/H1N1pdm）肺炎によるびまん性肺胞傷害により急死した 1 剖検例
第 99 回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

11. 湯澤明夏、柴田ひな、菅野宏美、谷野美智枝、矢野俊介、木村太一、西原広史、田中伸哉
脊髄腫瘍として発見され、ユーイング肉腫との鑑別を要した myeloid sarcoma の一例
第 99 回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

12. 菅野宏美、西原広史、谷野美智枝、木村太一、田中伸哉
Glioma に特徴的な血管構造の臨床病理学的解析
第 99 回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

13. 佐藤真実、谷野美智枝、木村太一、西原広史、伊東民雄、佐和広基、金子貞男、村田純一、加藤正仁、田中伸哉

神経膠腫のパラフィン包埋切片を用いたFISH法による1番短腕の欠失の遺伝子解析と予後の検討
第99回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

14. 谷野美智枝、ロシャン・マハビール、菅野宏美、鈴木宏明、山城勝重、木村太一、西原広史、丸川活史、松野吉宏、田中伸哉
放射線治療後7年間生存し得た原発性悪性心膜中皮腫の一例
第99回日本病理学会, 2010.4.27-29, 東京

15. 久保田佳奈子、羽賀博典、菅野宏美、小林浩之、西原広史、田中伸哉、松野吉宏
中枢神経原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するMGMTを含む免疫染色の検討
第99回日本病理学会総会, 2010.4.27-29, 東京

16. 泉真祐子、長谷川祐太、高阪真路、谷野美智枝、木村太一、古山裕康、千葉進、及川光照、西原広史、田中伸哉
神経症状を初発とし診断に苦慮した血管内リンパ腫の一例
第99回日本病理学会総会, 20104.27-29, 東京

17. 高橋健太、西原広史、加藤正仁、菅野宏美、吉永智彰、谷野美智枝、田中伸哉
成人女性に発生し、長期生存の得られたatypical teratoid/rhabdoid tumorの一例
第28回日本脳腫瘍病理学会, 2010.5.21-22, 大阪

18. 西原広史、菅野宏美、成田拓人、寺坂俊介、谷野美智枝、長嶋和郎、田中伸哉
Anaplastic oligoastrocytoma-pilomyxoid variant (AOA-PmX) の臨床病理学的検討
第28回日本脳腫瘍病理学会, 2010.5.21-22, 大阪

19. 菅野宏美、西原広史、谷野美智枝、木村太一、高橋健太、山口秀、成田拓人、小林浩之、寺坂俊介、田中伸哉
新WHO分類に基づくmalignant glioma 65症例のreview：組織像と全生存率の関連について
第28回日本脳腫瘍病理学会, 2010.5.21-22, 大阪

20. 佐藤憲市、伊東民雄、尾崎義丸、及川光照、中村博彦、田中伸哉、中里洋一
再発時に神経外胚葉性性格が顕在化した左頭頂葉肉腫様腫瘍の一例
第28回日本脳腫瘍病理学会　2010.5.21-22, 大阪

21. 山口秀、寺坂俊介、小林浩之、平田健司、志賀哲、田中伸哉、村田純一
Oligodendrocytic tumorにおけるFD,Methionine集積乖離例の組織学的検討
第28回日本脳腫瘍病理学会　2010.5.21-5.22　大阪（大阪市中央公会堂）

22. 成田拓人、谷野美智枝、西原広史、寺坂俊介、長嶋和郎、田中伸哉
高度な膠様変性を伴った髄膜腫の2例
第28回日本脳腫瘍病理学会,2010.5.21-22,大阪

23. 伊東民雄、尾崎義丸、佐藤憲市、及川光照、中村博彦、田中伸哉、谷野美智枝
Secondary gliosarcomaの臨床病理学的検討
第28回日本脳腫瘍病理学会　2010.5.21-22,大阪

24. 及川光照、佐藤憲市、伊東民雄、尾崎義丸、安斉公雄、福井崇人、田中伸哉、中里洋一、中村博彦
中間型松果体実質腫瘍の 2 症例
第 28 回日本脳腫瘍病理学会,2010.5.21-22,大阪

25. 青柳瑛子、王磊、笹井研、谷野美智枝、木村太一、西原広史、藤本真、石井伸明、伊東民雄、田中伸哉
捺印標本を用いたグリオーマの MGMT 免疫染色の検討
第 51 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）, 2010.5.29-31, 横浜

26. 西原広史、菅野宏美、石川麻倫、大場彩音、田中伸哉
Immunoprofiling of signaling molecule for gastric cancer;Pathological basis for Taylor made medicine
第 69 回日本癌学会学術総会, 2010.9.22-24, 大阪

27. 菅野宏美
新 WHO 分類に基づく malignant glioma 133 症例の review : 組織像と全生存率の関連について
第 43 回北海道病理談話会, 2010.10.30,札幌

28. 高阪真路、笹井研、高橋健太、赤城剛、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉
腫瘍形成における oncogene-induced senescence 回避の解析
第 69 回日本癌学会学術総会, 2010.9.22-24, 大阪

29. 青柳瑛子
Glioblastoma におけるリン酸化-STAT3 の免疫細胞化学による検討
第 31 回日本臨床細胞学会北海道支部総会及び学術集会, 2010.11.7 札幌

【シンポジウム・特別講義・講演など】

1. 西原広史
病理から見た脳腫瘍の多様性と生物学的特性：脳腫瘍治療法開発への分子病理的アプローチ
協和発酵キリン株式会社, 2010.5.25, 静岡

2. 田中伸哉
急激な経過で死亡した新型インフルエンザ肺炎の病理学的検討
第 9 回肺サーファクタント分子病態研究会, 2010.7.3, 札幌

3. 田中伸哉
癌化を制御するアダプター分子 CRK の研究の歴史と現状：創薬の標的の可能性について
塩野義製薬株式会社, 2010.8.27, 札幌

4. 田中伸哉
新型インフルエンザ感染症の病理学的検討：急激な経過で死亡した一例
第 13 回北海道ウイルス感染症セミナーの会, 2010.9.11, 札幌

5. 田中伸哉

病理学よもやま話：たかが剖検・されど剖検
第 82 回根室市外三群医師会学術講演会, 2010.11.8, 町立中標津病院講堂, 中標津

6. 田中伸哉
臨床病理学への招待：歴史から剖検症例まで
第 32 回北海道労災保険指定病院協会滝川支部医療講演会, 2010.11.8, 滝川

7. 田中伸哉
ヒトの脳腫瘍グリオーマの病理学的診断研究の展開
平成 22 年度生理学研究所研究会「神経病の比較的病理学」シンポジウム, 2010.12.2-3, 岡崎

8. 田中伸哉
平成 22 年度地域医療を支える人づくりプロジェクト事業高校生メディカル講座, 2010.12.4, 札幌

●2011年

【一般演題】

1. Nishihara Hiroshi
A novel therapeutic strategy for glioma based on clinicopathological analysis
Experimental Biology 2011.4.9-13, Washington D.C., USA.

2. M. Tanino, L. Wang, T. Kimura, H. Nishihara, M. Tsuda, Y. Matsuno, K. Okamoto, S. Yano, S. Tanaka
Involvement Of Adaptor Protein Crk In Malignant Features Of Human Mesothelioma
ATS (American Thoracic Society) 2011 2011.5.13-18, Denver, Colorado, USA.

3. S Tanaka, S Kohsaka, L Wang, H Kanno, K Takahashi, T Kimura, M Tanino, H Nishihara, K Nagashima
Analysis of expression mechanism of MGMT in glioblastoma
The 7th Asia Pacific Congress (APIAP 2011) 2011.5.20-24, Taipei, Taiwan.

4. Hirata Kenji, Hattori Naoya, Shiga Tohru, Usui Reiko, Yamaguchi Shigeru, Terasaka Shunsuke, Narita Takuhito, Tanaka Shinya, Kuge Yuji, Tamaki Nagara
18F-FMISO accumulates un glioblastoma multiforme but not in grade Ⅲor less malignant gliomas.
Society of Nuclear Medicine, 58th Anuual Meeting, 2011.6.4-8, SanAntonio, Texas, USA.

5. S Tanaka, SKohsaka, L Wang, H Kanno, K Takahashi, T Kimura, M Tanino, H Nishihara and K Nagashima
Analysis of regulatory mechanism of MGMT expression in glioblastoma
The 2nd Congress of Asian Society of Neuropathology 2011.11.4-6, Beijin, China.

6. Hiroshi Nishihara, Lei Wang, Mitsufumi Nishio, Tomoyuki Endo, Masato Obara, Katsuya Fujimoto and Shinya Tanaka
Molecular and pathological analysis of DOCK family proteins in hematopoietic malignancy

53rd ASH Annual Meeting and Exposition 2011.12.10-13, San Diego, USA

7. 西原広史、菅野宏美、石川麻倫、湯澤彩夏、大場彩音、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
癌テーラーメード治療のための統合的個別化病理診断の基盤作
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

8. 菅野宏美、谷野美智枝、柳田絵美衣、伊藤智雄、渡邉健太郎、尾崎義丸、伊東民雄、木村太一、西原広史、田中伸哉
IgG4-related sclerosing pachymeningitis の一例
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

9. 高阪真路、王磊、谷地一博、成田拓人、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
Glioma における MGMT 発現調節による抗癌剤耐性解除の可能性の検討
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

10. 谷野美智枝、中村紘子、木村太一、大塚紀幸、深澤雄一郎、西川祐司、池田健、西原広史、田中伸哉
肺静脈閉塞症における増殖因子の関与
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

11. 中島典子、佐藤由子、片野晴隆、長谷川秀樹、熊坂利夫、羽田悟、田中伸哉、笠井孝彦、鄭子文、飯塚利彦、仲里厳、樋野陽子、濵松晶彦、堀尚、田中智之、長谷川章雄、尾矢剛志、佐多徹太郎
2009H1N1 パンデミックインフルエンザウィルス感染症 20 剖検例の臨床病理学的解析
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

12. 長井梓、高瀬香奈、菅野宏美、木村太一、竹内朗子、安倍剛典、尾崎義丸、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
急速な経過で死に至った neuromyelitis optica の一例
第 100 回日本病理学会, 2011.4.28-30, 横浜

13. 菅野宏美、高橋健太、西正吾、元持雅男、田中伸哉、長嶋和郎
奇怪な巨細胞が多数見られた rhabdoid meningioma と考えられた一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

14. 高橋健太、菅野宏美、村田純一、木村太一、谷野美智枝、西原広史、長嶋和郎、田中伸哉
高齢男性に発生した small cell glioblastoma の一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

15. 西原広史、佐和弘基、田中伸哉
中枢神経発症 Lymphomatoid granulomastosis (CNS-LYG) の臨床と病理
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

16. 湯澤明夏、西原広史、菅野宏美、成田拓人、小林浩之、寺坂俊介、田中伸哉
悪性髄膜腫におけるシグナル伝達分子の発現プロファイルの検討
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

17. 及川光照、西原広史、尾崎義丸、伊藤民雄、佐藤憲市、杉尾啓徳、田中伸哉、中村博彦

中枢神経系 Lymphomatoid granulomatosis を背景に発症した脳原発 Diffuse large B-cell lymphoma の一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

18. 成田拓人、菅野宏美、湯澤明夏、寺坂俊介、小林浩之、村田純一、山口秀、西原広史、宝金清博、田中伸哉
High grade meningioma の治療成績と Mib-1 index の関係の検討
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21 東京

19. 茂木洋晃、寺坂俊介、小林浩之、鴨嶋雄大、山口秀、遠藤将吾、宝金清博、高阪真路、田中伸哉、村田純一
画像と病理所見から多中心性神経膠腫と診断した一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

20. 菅野宏美、高橋健太、西正吾、元持雅男、田中伸哉、長嶋和郎
奇怪な巨細胞が多数見られた rhabdoid meningioma と考えられた一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

21. 佐藤憲市、伊藤民雄、尾崎義丸、及川光照、村橋威夫、杉尾啓徳、中村博彦、田中伸哉、中里洋一
成人大脳半球に発生した Polocytic astrocytoma の一例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

22. 杉尾啓徳、伊藤民雄、尾崎義丸、佐藤憲市、及川光照、渡邉健太郎、中村博彦、菅野宏美、田中伸哉
IgG4 関連肥厚性硬膜炎に合併した漏斗下垂体炎の 1 例
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

23. 菅野宏美、谷野美智枝、木村太一、西原広史、竹内朗子、阿部剛典、尾崎義丸、田中伸哉
急激な経過で死に至った neuromyelitis optica の一剖検例
第 52 回日本神経病理学会, 2011.6.2-4, 京都

24. 高橋健太、王磊、高阪真路、木村太一、白井紗矢、工藤伸一、奴久妻聡一、谷野美智枝、西原広史、澤洋文、長嶋和郎、田中伸哉
JC ウイルスとメチル化遺伝子結合蛋白 MeCP2 との相関に関する検討
第 52 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2011.6.2-4, 京都

25. 西原広史、菅野宏美、湯澤彩夏、田中伸哉
分子標的治療適応拡大のための個別化病理診断の確立
第 15 回日本がん分子標的治療学会学術集会, 2011.6.22-24, 東京

26. 高阪真路、王磊、谷地一博、成田拓人、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
グリオーマにおける MGMT 発現調節による抗癌剤耐性解除の可能性の検討
第 15 回日本がん分子標的治療学会学術集会, 2011.6.22-24, 東京

27. 田中伸哉、王磊、津田真寿美、ロシャン・マハビール、アイマン・ジダン、柳紘子、牧野吉倫、谷野美智枝、木村太一、西原広史

癌化に関与するシグナル伝達アダプター分子 Crk の解析
第 70 回日本癌学会, 2011.10.3-5, 名古屋

【シンポジウム・特別講義・講演など】

1. 田中伸哉
グリオーマの病理学研究の展開：組織診断からプロファイリングへ
第 14 回ジョイントカンファレンス脳腫瘍, 2011.2.26, 東京

2. 田中伸哉
悪性脳腫瘍の病理
研修医のための脳腫瘍セミナー, 2011.4.2, 札幌

3. 田中伸哉
臨床病理検討会 2　指定討論者
第 29 回日本脳腫瘍病理学会, 2011.5.20-21, 東京

4. 西原広史
「脳腫瘍の臨床病理学的解析と、新規治療戦略の提起」
第 27 回日本 DDS 学会, 2011.6.9-10, 東京

5. 田中伸哉
医療基盤としての新しい病理診断技術のあり方の提案
第 3 回次世代医療システム産業化フォーラム 2011, 2011.8.26, 大阪

6. 田中伸哉
胃癌における HER2 発現の評価について
首都医科大学講演会, 2011.11.4, 北京, 中国

7. 丸川活司、谷野美智枝、宮越理絵、山谷幸恵、森谷純、畑中豊、久保田佳奈子、三橋智子、田中伸哉、松野吉宏
胸膜中皮腫診断における遺伝子異常検索～胸水セルブロックを用いた microRNA 解析～
第 32 回日本臨床細胞学会北海道支部総会並びに学術集会, 2011.11.13, 札幌

8. 田中伸哉
トランスレーショナル・パソロジー：基礎医学と臨床医学の架け橋
第 42 回北大医学部泌尿器科研究発表会, 2011.12.10, 札幌

9. 田中伸哉
臨床病理学よもやま話：たかが病理・されど病理
釧路労災病院講演会, 2011.12.13, 釧路

10. 田中伸哉
目指せ医学部：医学部学生生活から医師へ
高校生メディカル講座, 2011.12.17, 札幌

●2012年

【一般演題】

1. Kenji Hirata, Naoya Hattori, Wataru Takeuchi, Hiromi Kanno, Osamu Manabe, Tohru Shiga, Shunsuke Terasaka, Hiroyuki Kobayashi, Yuji Kuge and Nagara Tamaki.
   Risk of FDG as a marker of intratumoral hypoxia of glioblastoma mutiforme - Comparison with FMISO using semiconductor PET system.
   Society of Nuclear Medicine 2012 Annual Meeting 2012.6.9-13, Miami Beach, Florida ,USA.

2. Hiroshi Nishihara, Hiroko Yanagi, Yusuke Fukushima, Teruki Yanagi, Lei Wang, Taichi Kimura, Mishie Tanino, Masumi Tsuda and Shinya Tanaka.
   The distinct role of CRKI, CRKII and CRKL in tumorigenesis of human head and neck squamous cell carcinoma.
   Mechanisms & Models of Cancer Meeting 2012.8.1-4　San Diego, USA.

3. Shinji Kohsaka, Lei Wang, Kazuhiro Yachi, Roshan Mahabir, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka
   STAT3 inhibition overcomes temozolomide resistance in glioblastoma by downregulation of MGMT expression.
   Cold Spring Harbor Laboratory Meeting; Mechanisms and Models of Cancer 2012.8.14-18, Cold Spring Harbor, USA.

4. Taichi Kimura, Lei Wang, Mishie Tanino, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka
   Identification and analysis of synovial sarcoma initiating cells.
   Cold Spring Harbor Laboratory Meeting; Mechanisms and Models of Cancer 2012.8.14-18, Cold Spring Harbor, USA.

5. Hiromi Kanno, Hiroshi Nishihara, and Shinya Tanaka
   Clinicopathological analysis of 133 Japanese malignant gliomas.
   17th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-oncology 2012, 11.15-18, Washington DC, USA.

6. Hiroshi Nishihara, Teruki Yanagi and Shinya Tanaka
   Clinicopathological analysis for angiocentric, angiodestructive lymphoproliferative disorder of central nervous system.
   17th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-oncology 2012.11.15-18, Washington DC, USA.

7. 高橋健太
   メチル化遺伝子結合蛋白ＭｅＣＰ２のＪＣウィルス関連蛋白による転写制御の解析
   H23 年度プリオン病及び遅発性ウィルス感染症の調査研究班会議合同研究報告会 2012.1.16-17, 東京

8. 谷野美智枝
   労作時呼吸困難

第 40 回呼吸器病理研究会 2012.1.21, 神奈川

9. 宮 愛香、土岐康通、川内宏仁、久保光司、菅野宏美、田中伸哉
多臓器に転移を認めた原発不明癌の 1 例
第 262 回日本内科学会北海道地方会 2012.2.18, 札幌

10. 平田健司、服部直也、志賀哲、孫田恵一、真鍋治、寺坂俊介、田中伸哉、久下裕司、玉木長良
FMISO PET を用いた神経膠芽腫と Grade III 以下の神経膠腫の鑑別診断
第 71 回日本医学放射線学会総会 2012.4.12-15, 横浜

11. 鈴木なつめ、ヘールナンデス真子、木村太一、谷野美智枝、西原広史、筒井博之、田中伸哉
子宮体癌化学治療法御に心不全を呈し薬剤性心筋障害を疑われた 1 剖検症例
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

12. 佐藤行真、石田雄介、市原浩司、松川雅則、田中伸哉腎細胞癌に対するネクサバール投与と放射線照射との相乗作用により消化管穿孔が誘発された一剖検例
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

13. 加藤容崇、西原広史、金藤公人、木村太一、谷野美智枝、佐和弘基、兼田一、長嶋和郎、田中伸哉
Flail arm syndrome の一剖検例
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

14. 菅野宏美、西原広史、王 磊、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
髄膜腫における CD163 の発現と機能解析
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

15. 王磊、湯澤明夏、菅野宏美、加藤容崇、西原広史、田中伸哉
膵癌における DOCK180 の発現と機能解析
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

16. 石田雄介、前田豪樹、岩田祐司、木村仁、星川剛、田中伸哉
MUM1 (IRF4) 陽性 NK/T 細胞リンパ腫の一剖検例
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

17. 高橋健太、松川敏大、後藤秀樹、遠藤知之、橋野聡、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
臍帯血移植後にサイトメガロウイルス脳室脳炎を発症した菌状息肉症の一剖検例
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

18. 西原広史、湯澤明夏、菅野宏美、小林浩之、寺坂俊介、田中伸哉
悪性髄膜腫の分子発現プロファイルに基づく予後解析
第 101 回日本病理学会総会、2012.4.26-28, 東京

19. 高橋健太, 西原広史, 山口秀, 寺坂俊介, 久保田佳奈子, 木村太一, 谷野美智枝, 長嶋和郎, 田中伸哉
初発時より 11 年の経過で放射線照射後に悪性転化をきたした頭蓋咽頭腫の 1 例
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

20. Tamio Ito, Shinya Tanaka, Yoshimaru Ozaki, Kenichi Sato, Mishie Tanino, Hirohiko Nakamura
右前頭葉に発生したのう胞性腫瘍
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

21. 伊東民雄、佐藤憲市、及川光照、中村博彦、寺坂俊介、宝金清博、田中伸哉、菅野宏美、久保田佳奈子、村田純一
中間型松果体実質腫瘍の臨床病理学的検討
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

22. 菅野宏美、西原広史、及川光照、尾崎義丸、谷野美智枝、木村太一、長嶋和郎、伊藤民雄、田中伸哉
Pineal parenchymal tumor 12 例における免疫組織学的検討
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

23. 進藤孝一郎、伊藤民雄、杉尾啓徳、尾崎義丸、佐藤憲市、及川光照、中村博彦、中里洋一、田中伸哉
成人側頭葉に発生した Pilomyxoid astrogytoma の一例
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

24. 三井宣幸、安栄良悟、和田始、佐藤正夫、折本亮介、平戸純子、西原広史、三代川斎之、及川賢輔、鎌田恭介
診断に難渋した、ＩＮＩ１染色陽性を示した Atypical teratoid / rhabdoid tumors の一例
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

25. 及川光照、伊藤民雄、菅野宏美、丸尾義丸、佐藤憲市、杉尾啓徳、田中伸哉、廣瀬隆則、中里洋一、中村博彦
腫瘍内出血にて発症した多形黄色細胞腫の一例
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

26. 西原広史、湯澤明夏、菅野宏美、田中伸哉
転移性脳腫瘍の MGMT 及び分子マーカー発現プロファイリング
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

27. 佐藤憲市、伊藤民雄、尾崎義丸、及川光照、杉尾啓徳、中村博彦、田中伸哉
Lipomatous 髄膜腫の一例
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

28. 高阪真路、高橋健太、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
グリオブラストーマ細胞を用いたＭＧＭＴ陽性率の違いによるＴＭＺの効果の検討
第 30 回日本脳腫瘍病理学会, 2012.5.24-26, 名古屋

29. 西原広史、湯澤明夏、菅野宏美、田中伸哉
転移性脳腫瘍の分子マーカー発現プロファイリング
第 28 回　日本分子標的治療学会, 2012.6.27-28, 小倉

30. 高橋健太, 木村太一, 王磊, 高阪真路, 工藤伸一, 奴久妻聡一, 谷野美智枝, 西原広史, 澤洋文,

長嶋和郎, 田中伸哉
メチル化遺伝子結合蛋白 MeCP2 の JC ウイルス関連蛋白による転写制御の解析
第 53 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2012.6.28-30, 新潟

31. 西原広史、長嶋和郎、田中伸哉
中枢神経発症の低悪性度血管中心性 T 細胞リンパ腫の分子病理学的解析
第 53 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2012.6.28-30, 新潟

32. 青柳瑛子、福田有志、木村未歩、渡邉達也、藤岡学、網塚久人、田中伸哉、長嶋和郎
EUS-FNA で診断した多発肝転移を伴う膵腺扁平上皮癌の 1 例
第 53 回日本臨床細胞学会総会（春季大会)、2012.6.1-3, 千葉

33. 西原広史
病理学における橋渡し研究；創傷治癒の臨床病理学的解析
NanoBio 第 5 回若手ネットワーキングシンポジウム、2012.6.8-6.9, 神戸

34. 白井慎一、上床尚、廣谷真、佐久嶋研、加納崇裕、鴨嶋雄大、矢部一郎、田中伸哉、佐々木秀直
中枢神経に限局したアレルギー性肉芽腫性血管炎の 1 例
第 91 回日本神経学会北海道地方会. 2012.9.15, 札幌

35. Roshan Mahabir, Mishie Tanino, Aiman Elmansuri, Lei Wang, Taichi Kimura, Masumi Tsuda, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka
Irradiation Induced Glial-Mesenchaymal Transition in Malignant Glioma.
第 71 回日本癌学会学術総会　2012.9.19-21, 札幌

36. Elmansli Aiman, Mishie Tanino, Roshan Mahabir, Lei Wang, Taichi Kimura, Masumi Tsuda, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka
Involvement of Crk Ⅰ and Crk Ⅱ in epithelial - Mesenchymal Transition (EMT) and its Role in Lung Metastasis
第 71 回日本癌学会学術総会　2012.9.19-21, 札幌

37. Hiroshi Nishihara, Sayaka Yuzawa, Mitsunobu Kano, Shinya Tanaka
Prognostic PDGFR-beta expression in tumor stroma of pancreatic adenocarcinoma.
第 71 回日本癌学会学術総会　2012.9.19-21, 札幌

38. 木村太一、王磊、平賀博明、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉
CD133 は AKT 経路を介して滑膜肉腫の造腫瘍能を負に制御する
第 92 回北海道医学大会腫瘍系分科会（第 106 回北海道癌談話会例会）2012.10.6, 札幌

39. 石川麻倫、湯澤明夏、西原広史、菅野宏美、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
分子発現プロファイリングに基づく胃癌の臨床病理学的解析
第 92 回北海道医学大会腫瘍系分科会（第 106 回北海道癌談話会例会）2012.10.6, 札幌

40. 三田村卓、渡利英道、王磊、菅野宏美、中谷真紀子、木村太一、谷野美智枝、西原広史、櫻木範明、田中伸哉
micro-RNA-31 は子宮体癌において oncogene として機能する

第 92 回北海道医学大会腫瘍系分科会（第 106 回北海道癌談話会例会）2012.10.6, 札幌

41. 菅野宏美、西原広史、及川光照、尾崎義丸、谷野美智枝、木村太一、長嶋和郎、伊東民雄、田中伸哉
Pineal parenchymal tumor の臨床病理学的検討
第 45 回北海道病理談話会 2012.10.13, 札幌

42. 湯澤明夏、西原広史、王磊、菅野宏美、小林浩之、寺坂俊介、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉
悪性髄膜腫におけるシグナル伝達分子の発現と予後との相関
第 45 回北海道病理談話会 2012.10.13, 札幌

【シンポジウム・特別講義・講演など】

1. 田中伸哉
トランスレーショナル・パソロジー：癌の基礎研究から創薬を目指して
北大皮膚科講演会, 2012.1.18,札幌

2. Shinya Tanaka, Shinji Kohsaka, Kouich Tabu, Lei Wang, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Mishie Tanino, Hiroshi Nishihara, Hiromichi Kimura
Molecular and pathological analysis of malignant glioma: from tissues to therapeutic reagents
第 71 回日本癌学会学術総会, 2012.9.19-21, 札幌

3. 田中伸哉
悪性グリオーマのトランスレーショナルパソロジーー病理診断から治療を目指してー
第 41 回静岡県神経病理懇談会, 2012.9.29, 静岡

●2013年

【一般演題】

1. 小笹真理子、佐賀啓良、宮下憲暢、長佐古友和、三和公明、斉藤誠、森岡正信、谷野美智枝：
右側結腸に限局した一過性虚血性腸炎と思われる 1 例
日本消化器内視鏡学会第 106 回北海道支部例会 2013.3.2　札幌

2. 津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
膠芽腫におけるチロシンキナーゼ阻害薬耐性メカニズムの解析
第 31 回日本脳腫瘍病理学会　2013.5.24-25　東京

3. 谷野美智枝、明坂詩織、石田雄介、木村太一、西原広史、田中伸哉：
術中迅速脳腫瘍診断における電解非接触撹拌技術を搭載した迅速免疫染色装置使用の有用性
第 31 回日本脳腫瘍病理学会　2013.5.24-25　東京

4. 西原広史、加藤容崇、小林浩之、加藤正仁、伊東民雄、寺坂俊介、田中伸哉：
髄膜種における COX-2 発現の臨床病理学的解析.
第 31 回日本脳腫瘍病理学会　2013.5.24-25 東京

5. 菅野宏美、西原広史、小林浩之、寺坂俊介、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉：
中枢神経原発悪性リンパ種における治療標的分子の探索.
第 31 回日本脳腫瘍病理学会　2013.5.24-25 東京

6. 白井慎一、矢口裕章、上床尚、佐久嶋研、廣谷真、加納崇裕、矢部一郎、田中伸哉、佐々木秀直：
中枢神経原発血管炎 5 例の臨床像の検討
第 54 回日本神経学会学術大会、2013.5.29-6.1　東京

7. 河口紗慧、高阪真路、王磊、福島祐介、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
脳萎縮を伴った筋萎縮性側索硬化症の一剖検例
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

8. 西原広史、川俣太、永生高広、加藤容崇、樋野興夫、武冨紹信、田中伸哉：
消化器癌における ERC/mesothelin 発現の分子病理学的解析
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

9. 谷地一博、高阪真路、三浪友輔、王磊、木村太一、谷野美智枝、西原広史、津田真寿美、田中伸哉：
miR-23a による神経膠芽腫の浸潤能亢進とその機能解析
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

10. 宮崎将也、王磊、長谷川秀樹、津田真寿美、西原広史、田中伸哉：
ヒト細胞内蛋白質 NS1BP の機能解析
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

11. 谷野美智枝、明坂詩織、石田雄介、木村太一、西原広史、田中伸哉：
術中迅速脳腫瘍診断における電解非接触撹拌技術を搭載した迅速免疫染色装置使用の有用性
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

12. 菅野 宏美、西原 広史、王磊、木村　太一、津田　真寿美、谷野 美智枝、田中 伸哉：
髄膜腫における CD163 発現の分子病理学的解析
第 102 回日本病理学会総会 2013.6.6-8 札幌

13. 王磊、津田真寿美、菅野宏美、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
新規シグナル特異的阻害剤スクリーニングシステムを用いた膠芽腫治療薬の探索
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

14. 津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
膠芽腫における分子標的治療薬耐性メカニズムの解明
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

15. 加藤容崇、西原広史、川俣太、武冨紹信、田中伸哉：
大腸癌 91 例の癌間質における COX-2 発現の臨床病理学的解析.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

16. 石田雄介、谷野美智枝、加藤容崇、高橋健太、中伸伸哉：
肺気腫合併肺線維症二例における血管病変の解析.

第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

17. Aiman Elmansuri, Mishie Tanino, Roshan Mahabir, Lei Wang, Masumi Tsuda, Taichi , Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka. :
CrkI and CrkII Promote Epithelial ‐ Mesenchymal Transition in A549 Lung Cancer Cell Line.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

18. 西原広史、樋野興夫、藤堂省、田中伸哉：
ERC/Mesothelin is one of principle biomarkers for digestive cancer to predict patients' prognosis （ERC/Mesothelin は消化器癌における重要な予後予測因子である）
第 17 回日本がん分子標的治療学会学術集会 2013.6.12-14　京都

19. 松本隆児、津田真寿美、王磊、木村太一、谷野美智枝、西原広史、篠原信雄、野々村克也、田中伸哉：
新規膀胱癌転移関連分子の同定を目的としたヒト膀胱癌同所性移植多臓器転移モデルの確立.
第 10 回日本病理学会カンファレンス 2013 六甲山 2013.8.2-3 神戸

20. 加藤容崇、西原広史、川俣太、本間重紀、高橋典彦、毛利普美、武冨紹信、田中伸哉：
大腸癌間質における COX-2 発現の分子病理学的解析.
第 108 回北海道癌談話会　2013.9.21 札幌

21. 王磊、津田真寿美、菅野宏美、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
新規シグナル特異的阻害剤スクリーニングシステムを用いた膠芽腫治療薬の探索.
第 108 回北海道癌談話会　2013.9.21 札幌

22. 西原広史、川俣太、永生高広、津田真寿美、王磊、樋野興夫、武冨紹信、田中伸哉：
Molecular and clinicopathological analysis for ERC/Mesothelin in digestive cancers（消化器癌における ERC/Mesothelin の分子病理学的検討）
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5　横浜

23. 津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
膠芽腫における主要チロシンキナーゼ EGFR、c-Met、PDGFR に対する分子標的治療薬耐性メカニズムの解明
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5　横浜

24. 三浪友輔、津田真寿美、岩崎倫政、田中伸哉：
miR-17 は p21 を標的としヒト滑膜肉腫の細胞増殖能や腫瘍形成能を亢進させる
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5　横浜

25. 木村太一, 王磊, 谷野美智枝, 西原広史, 田中伸哉：
滑膜肉腫幹細胞の同定と解析
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5　横浜

26. 稲村直哉, 木村太一, 王磊, 津田真寿美, 谷野美智枝, 西原広史, 福田諭, 田中伸哉：
頭頸部扁平上皮癌における Notch1 の役割
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5　横浜

27. Roshan Mahabir, Mishie Tanino, Aiman Elmansuri, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Lei Wang, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:
Irradiation induces stem cell enrichment mediated by Snail in malignant glioma.
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5 横浜

28. Aiman Elmansuri, Mishie Tanino, Roshan Mahabir, Lei Wang, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:
CrkI and CrkII promote lung cancer metastasis via epithelial-mesenchymal transition (EMT) in A549 adenocarcinoma cells.
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5 横浜

29. 谷野美智枝、高阪真路、谷地一博、丸川活司、津田真寿美、木村太一、西原広史、田中伸哉：
Let 7a regulates IL-6 expression in malignant mesothelioma（Let7a は悪性中皮腫において IL-6 の発現を制御する）.
第 72 回日本癌学会学術総会　2013.10.3-5 横浜

30. 津田真寿美、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
BRAF 遺伝子変異によるグリオーマの新規診断技術の検討
第 46 回北海道病理談話会　2013.10.12　札幌

31. Masumi Tsuda,Lei wang,Mishie Tanino, Taichi Kimura,Hiroshi Nishihara,Shinya Tanaka.
Mechanisms of drug resistance to molecular target therapeutics against tyrosine kinases as EGFR,c-Met,andPDGFR in GBM.
AACR-NCI-EORTC International Conference, Molecular Targets and Cancer Therapeutics. 2013.10.19-23, Boston,USA.

32. Roshan Mahabir, Mishie Tanino, Aiman Elmansuri, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Lei Wang, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka：
The mesenchymal phenotype in recurrent glioblastoma is due to irradiation induced Snail expression and resultant EMT.
AACR-NCI-EORTC International Conference, Molecular Targets and Cancer Thrapeutics. 2013.10.19-23, Boston, USA.

33. Aiman Elmansuri, Mishie Tanino, Roshan Mahabir, Lei Wang, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:
CrkI and CrkII adaptor proteins promotes invasiveness and metastasis via epithelial-mesenchymal transition (EMT) in A549 lung adenocarcinoma cells.
AACR-NCI-EORTC International Conference, Molecular Targets and Cancer Thrapeutics. 2013.10.19-23, Boston, USA.

34. Mishie A. Tanino, Shinji Kohsaka, Kazuhiro Yachi, Masumi Tsuda, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:
Let 7a regulates IL-6 expression in malignant mesothelioma.
AACR-NCI-EORTC International Conference, Molecular Targets and Cancer Thrapeutics. 2013.10.19-23, Boston, USA.

35. 杉野弘和、西原広史：
流体デバイス研究から臨床展開を目指して
NanoBio　第 6 回若手ネットワーキング　2013.6.14　富山

36. Hiroshi Nishihara, Hiromi Kanno, Yasutaka Kato, Shinya Tanaka.
The clinicopathological evaluation of CD163 and COX-2 in meningioma; immunohistochemical analysis of 76 cases of low- and high-grade meningioma.
SNO 18th Annual Scientific Meeting 2013. 11.21 － 24, San Francisco, USA

37. Masaya Miyazaki, Hiroshi Nishihara, Taichi Kimura, Mishie Tanino, Shinya Tanaka:
The clinicopathological evaluation of O6-mehylguanine-DNA methyltransferase in glioblastoma multiformes.
SNO 18th Annual Scientific Meeting 2013.11.21 -24 San Francisco, USA

【シンポジウムなど】

1. 田中伸哉：
治療抵抗性を解除せよ：グリオーマをモデルとして.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

【市民公開講座】

1. 田中伸哉：
脳の中を見て自分を知ろう.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

【ワークショップ】

1. Mahabir Roshan、谷野美智枝、Elimansuri Aiman、津田真寿美、王磊、木村太一、西原広史、田中伸哉：
Snail promotes glial-mesenchymal transition (GMT) after irradiation in malignant glioma.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

2. 田中伸哉、谷野美智枝、津田真寿美、石田雄介、木村太一、西原広史、長嶋和郎：
BRAF 異常とグリオーマ.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

3. 田中伸哉、木村太一、津田真寿美、王磊、仙葉慎吾、谷野美智枝、平賀博明、大場雄介、西原広史：
軟部肉腫におけるシグナル伝達系の異常と治療への応用：滑膜肉腫をモデルにして.
第 102 回日本病理学会総会　2013.6.6-8 札幌

●2014年

【一般演題】

1. 三田村卓、渡利英道、王磊、菅野宏美、北川真紀子、Mohamed K Hassan、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉、櫻木範明：
miR-31 は子宮体癌において癌遺伝子として機能する。
第 13 回日本婦人科がん分子標的研究会 平成 26 年 3 月 14 日～15 日皆生グランドホテル天水（米子市）

2. Yusuke Minami, Masumi Tsuda, Shinji Kohsaka, Akio MInami, Shinya Tanaka, Norimasa Iwasaki.
MicroRNA miR-17 promotes tumor growth of synovial sarcoma by inhibiting p21WAF1/CIP1.
Orthopaedic Research Society 2014 Annual Meeting, March 15, 2014, New Orleans, USA

3. 杉野弘和、宮崎将也、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
膠芽腫 63 例におけるシグナル伝達関連分子の臨床病理学的解析
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

4. 湯澤明夏、山田洋介、菅野宏美、藤田裕美、高桑恵美、畑中佳奈子、三橋智子、松野吉宏：
Cardiac involvement による症状を契機に発見された悪性リンパ腫 5 例の病理学的検討
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

5. 大塚拓也、谷野美智枝、王磊、進藤正信、西原広史、田中伸哉：
特発性門脈圧亢進症に門脈肺高血圧症を合併した剖検症例
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

6. 吉野光一郎、高畠明日香、加藤容崇、西原広史、木村太一、谷野美智枝、大西幸代、中里哲也、野中道夫、千葉進、長嶋和郎、田中伸哉：
パーキンソニズム優位型多系統萎縮症の一剖検例
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

7. 西原広史、赤羽俊章、毛利普美、田中伸哉：
次世代シークエンサーを用いた統合的個別化病理診断の基盤作成
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

8. 谷野美智枝、Roshan Mahabir、 Aiman Elimansuri、 王磊、木村太一、西原広史、伊東民雄、白土博樹、津田真寿美、田中伸哉：
悪性神経膠腫放射線照射後の Snail による Glial-mesenchymal transition (GMT)の関与
第 32 回日本脳腫瘍病理学会 2014 年 5 月 23～24 日あわぎんホール（徳島市）

9. 津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
EGFR、c-Met、PDGFR 阻害薬耐性膠芽腫細胞株における多能性獲得と IGFBP2 の機能解析
第 32 回日本脳腫瘍病理学会 2014 年 5 月 23～24 日あわぎんホール（徳島市）

10. 畑中佳奈子、畑中豊、藤井恭子、小林浩之、菅野宏美、西原広史、田中伸哉、三橋智子、松野吉宏：

中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫におけるDNAメチレーションの意義に関する検討
第32回日本脳腫瘍病理学会　2014年5月23～24日あわぎんホール（徳島市）

11. 西原広史、宮崎将也、木村太一、谷野美智枝、津田真寿美、田中伸哉：
免疫染色を用いたヒートマップ解析による膠芽腫の分子発現プロファイリング
第32回日本脳腫瘍病理学会　2014年5月23～24日あわぎんホール（徳島市）

12. 伊東民雄、佐藤憲市、及川光照、尾崎義丸、中村博彦、津田真寿美、田中伸哉、杉尾啓徳、浅野目卓、長嶋和郎：
Pilomyxoid-spectrum astrocytoma２例の臨床病理学的検討-BRAF 遺伝子異常の検討も加えて-
第32回日本脳腫瘍病理学会　2014年5月23～24日あわぎんホール（徳島市）

13. 佐藤憲市、伊東民雄、尾崎義丸、及川光照、杉尾啓徳、浅野目卓、中村博彦、田中伸哉：
左前頭部に発生したmixed meningiomaの一例
第32回日本脳腫瘍病理学会　2014年5月23～24日あわぎんホール（徳島市）

14. 岡本沙織、小森隆司、新田雅之、丸山隆志、村垣善浩、津田真寿美、田中伸哉、岡田芳和：
診断と治療に苦慮し、急速な進行をたどったepithelioid gliosarcomaの症例
第55回日本神経病理学会総会　2014年6月5～7日学術総合センター（東京都）

15. 木村正志、菅野宏美、他田真理、阿部剛典、今野卓哉、池内健、高橋均、田中伸哉、柿田明美：
HDL類縁の神経軸索ジストロフィーを示す遺伝性白質変性症の１剖検例
第55回日本神経病理学会総会　2014年6月5～7日学術総合センター（東京都）

16. 白井慎一、加藤容崇、西原広史、木村太一、谷野美智恵、宮崎将也、中野史人、矢部一郎、田中伸哉、佐々木秀直：
病初期から MIBG 心筋シンチグラフィで集積低下を認め、進行性核上性麻痺と類似した経過を辿った皮質基底核変性症の１剖検例
第55回日本神経病理学会総会 2014年6月5～7日 学術総合センター（東京都）

17. 赤羽俊章、坂東伸幸、大貫なつみ、山口朋美、田中伸哉：甲状腺穿刺吸引液状処理検体を使用したCD26/DPP4 mRNA発現量の検討
第55回日本臨床細胞学会総会春期大会　2014年6月6～7日パシフィコ横浜（横浜市）

18. 森大輔、妹尾誠、佐藤司、西谷幹雄、谷野美智枝：
骨のerosionを伴った腰椎facet cystの１例
第29回日本脊髄外科学会 2014年6月12日ステーションコンファレンス東京（東京都）

19. Ari Hashimoto, Shigeru Hashimoto, Tsukasa Oikawa, Chitose Oneyama, Yasuhito Onodera, Hirokazu Sugino, Ayumu Yoshikawa, Jin-Min Nam, Rumiko Kinoshita, Mishie Tanino, Haruka Handa, Masanao Yoshino, Yutaro Otsuka, Hiroki Sato, Hiroki Shirato, Yoichi Ito, Shinya Tanaka, Mitsunori Fukuda, Masato Okada, Hisataka Sabe：
A Molecular link between p53 alterations and GEP100-Arf6-AMAP1 pathway as a mesenchymal invasion machinery to be activated by external ligands （変異p53によるリ

ガンド反応性・間葉型浸潤分子装置の創出機序）
第 66 回日本細胞生物学会　2014 年 6 月 11 日～13 日東大寺総合文化センター（奈良市）

20. 三田村卓、渡利英道、王磊、菅野宏美、北川真紀子、Mohamed K Hassan、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉、櫻木範明：
microRNA31 は子宮体癌において癌遺伝子として機能する
第 79 回インターフェロン・サイトカイン学会　2014 年 6 月 19-20 日北大医学部フラテ（札幌市）

21. 木村太一、王磊、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
滑膜肉腫肝細胞の同定と解析
第 79 回インターフェロン・サイトカイン学会　2014 年 6 月 19-20 日　北大医学部フラテ（札幌市）

22. 大竹淳矢、金海俊、谷野美智枝、岸川拓斗、寺田聖、角田健太郎、増子和尚、喜多俊行、岩淵禎弘、田中伸哉、小林博也、北村秀光：
神経ペプチドシグナルはヒト樹状細胞の NK1R および NK2R を介して Type-1 免疫を活性化する
第 79 回インターフェロン・サイトカイン学会　2014 年 6 月 19-20 日　北大医学部フラテ（札幌市）

23. 谷野美智枝、竹浪智子、木村太一、石田雄介、西原広史、田中伸哉：
使用経験２電界撹拌迅速免疫染色機を使用した脳腫瘍術中迅速免疫染色の有用性
第 90 回　日本病理組織技術学会　2014 年 8 月 3 日（日）東京慈恵医科大学（東京都）

24. 古川潤一、津田真寿美、岡田和恵、木村太一、朴錦花、田中伸哉、篠原康郎：
グリオーマモデル細胞を用いる不死化・癌化に伴う糖鎖発現変動の解析
第 33 回日本糖質学会年会　2014 年 8 月 10-12 日　名古屋大学豊田講堂（名古屋市）

25. Masumi Tsuda, Lei Wang, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka：
EMT-stemnesss transition and functional properties of IGFBP2 in acquired drug resistance to TKIs targeting EGFR, c-Met, and PDGFR in glioblastoma.
Cold Spring Harbor Laboratory Meeting, Mechanisms and Model of Cancer, Aug12-16, 2014, New York, USA.

26. Aiman Elmansuri, Mishie Tanino, Roshan Mahabir, Lei Wang, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Yasuhiro Hida, Hirotoshi Akita, Masumi Tsuda, Shinya Tanaka：
Crk adaptor protein induces EMT and metastasis via novel Rac1/Snail and RhoA/Slug signaling along with TGF-β1 positive feedback loop in lung cancer cell A549.
Cold Spring Harbor Laboratory Meeting, Mechanisms and Model of Cancer, Aug12-16, 2014, New York, USA.

27. 王磊、高坂真路、日野原邦彦、漆戸万沙那、谷内一博、津田真寿美、谷野美智枝、木村太一、西原広史、後藤典子、田中伸哉：
Epiregulin は ERK/MAPK pathway を介して膠芽腫の腫瘍形成性を促進する

第 110 回北海道癌談話会例会　2014.9.13　札幌医科大学（札幌市）

28. 湯澤明夏、西原広史、王磊、菅野宏美、小林浩之、寺坂俊介、田中伸哉：
悪性髄膜腫におけるシグナル伝達分子発現の病理学的検討
第 110 回北海道癌談話会例会　2014.9.13　札幌医科大学（札幌市）

29. 後藤順一、三野和宏、土橋誠一郎、服部優宏、飯田潤一、堀江卓、小野寺一彦、古井秀典、玉置透、久木田和丘、目黒順一、米川元樹、川村明夫、田中伸哉：
生体腎移植後に発生した肝細胞癌と膵体部癌の一切除例
第 101 回北海道外科学会　2014 年 9 月 6 日　かでる 2.7（札幌市）

30. Hiroshi Nishihara, Toshiaki Akahane, Hiromi Mouri, Shinya Tanaka, Hajime Kamada：
Clinical sequencing for 41 FFPE specimen of breast cancer using Illumina Miseq
第 73 回日本癌学会学術総会 2014 年 9 月 25 日～27 日パシフィコ横浜（横浜市）

31. Masumi Tsuda, Lei Wang, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka：
Role of IGFBP2 in acquired drug resistance to TKIs targeting EGFR, c-Met, and PDGFR in glioblastoma
第 73 回日本癌学会学術総会 2014 年 9 月 25 日～27 日パシフィコ横浜（横浜市）

32. Shinya Tanaka, Masumi Tsuda, Lei Wang, Michie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara: Resistance to tyrosine kinase inhibitors:
Transition from mesenchymal to stemness-like features in glioblastoma.
第 73 回日本癌学会学術総会　2014 年 9 月 25 日～27 日　パシフィコ横浜（横浜市）

33. Yusuke Minami, Masumi Tsuda, Shinji Kohsaka, Shinya Tanaka, Norimasa Iwasaki:
MicroRNA miR-326 promotes tumor growth of human synovial sarcoma.
第 73 回日本癌学会学術総会　2014 年 9 月 25 日～27 日　パシフィコ横浜（横浜市）

34. 三浪友輔、津田真寿美、高阪真路、田中伸哉、岩崎倫政：
ヒト滑膜肉腫における miR-326 の機能解析
第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会　2014 年 10 月 9- 10 日　城山観光ホテル(鹿児島市)

35. 合田智宏、木下一郎、大泉聡史、原田敏之、西原広史、畑中豊、田中伸哉、松野吉宏、天野虎次、佐藤典宏、磯部宏、西村正治、秋田弘俊：
非小細胞肺癌における HER2 及び関連分子異常の観察研究（HOT1303-A）と HER2 陽性非小細胞肺癌に対するトラスツズマブの第 II 相試験（HOT1303-B）の進行状況報告
第 40 回日本肺癌学会北海道支部会 2014 年 10 月 11 日北大医学部（札幌市）

36. 石川麻倫、毛利普美、西原広史、田中伸哉：
分子プロファイリングによる若年発症胃癌の臨床病理学的検討、
第 47 回北海道病理談話会、平成 26 年 10 月 11 日、旭川グランドホテル（旭川市）

37. 加藤容崇、西原広史、川俣太、本間重紀、高橋典彦、武冨紹信、田中伸哉：
大腸癌における COX-2 発現の分子病理学的解析、
第 47 回北海道病理談話会、平成 26 年 10 月 11 日、旭川グランドホテル（旭川市）

38. Heike Keilhack, Satoshi Kawano, Sarah K. Knutson, Natalie M. Warholic, Jamie Kubica, Galina Kuznetsov, Shanqin Xu, Yonghong Xiao, Roy M. Pollock, Jesse S. Smith, Kevin K. Kuntz, Yukinori Minoshima, Masumi Tsuda, Shinya Tanaka, Robert A. Copeland：
Preclinical evaluation of EZH2 inhibitors in models of human synovial sarcoma.
Connective Tissue Oncology Society, 2014 Annual Meeting, Oct 15-18, 2014, InterContinental Berlin Hotel, Berlin, Germany

39. 森谷純、谷野美智枝、遠藤明子、竹浪智子、漆戸万紗那、瀧山章弘、木村太一、西原広史、田中伸哉：
電界撹拌迅速免疫染色機を使用した脳腫瘍術中迅速免疫染色の有用性
第 53 回　日本臨床細胞学会秋期大会 2014 年 11 月 8 日-9 日　下関市民会館（下関市）

40. 松本隆児、津田真寿美、篠原信雄、安部崇重、田中伸哉、野々村克也：
High Aldo-Keto Reductase 1C1 Expression in Metastatic Bladder Cancer Cells Associated with Invasive Potential and Drug Resistance.
第 66 回西日本泌尿器科学会 2014.11.6-8（倉敷市）

41. 湯澤明夏、西原広史、菅野宏美、王磊、小林浩之、寺坂俊介、田中伸哉：
再発髄膜腫における分子発現プロファイルの検討
第 60 回日本病理学会秋期特別総会、平成 26 年 11 月 20～21 日、国立劇場おきなわ（浦添市）

42. 石川麻倫、毛利普美、西原広史、田中伸哉：
若年発症胃癌における分子プロファイリングによる臨床病理学的検討、
第 60 回日本病理学会秋期特別総会、平成 26 年 11 月 20～21 日、国立劇場おきなわ（浦添市）

43. 赤羽俊章、坂東伸幸、後藤孝、大貫なつみ、山口朋美、澤田貴宏、福島佑介、佐和弘基、西原広史：
甲状腺乳頭癌の次世代シークエンサー（NGS）による解析、
第 60 回日本病理学会秋期特別総会、平成 26 年 11 月 20～21 日、国立劇場おきなわ（浦添市）

44. 山口朋美、川見弘之、中島恵、赤羽俊章、大貫なつみ、難波清、佐和弘基、西原広史：
乳腺に発生した Lymphoepithelioma-like carcinoma (LELC) の 1 例
第 60 回日本病理学会秋期特別総会、平成 26 年 11 月 20～21 日、国立劇場おきなわ（浦添市）

45. 漆戸万紗那、谷野美智枝、森谷純、木村太一、西原広史、丸川活司、松野吉宏、田中伸哉：
胸水細胞診にて肺腺癌および甲状腺乳頭癌の未分化転化が鑑別に挙がった 1 剖検症例
第 35 回北海道臨床細胞学会学術集会　2014 年 11 月 30 日　札幌医科大学（札幌市）

46. Hiroshi Nishihara, Masaya Miyazaki, Hiroyuki Kobayashi, Shunsuke Terasaka, Shinya Tanaka：
Immunohistochemical molecular expression profiling for glioblastoma
The 19th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology　Nov 13-16, 2014, Loews Hotel South Beach (Miami, USA)

47. Shun Kaneumi, Junya Ohtake, Mishie Tanino, Takuto Kishikawa, Satoshi Terada, Kentaro Sumida, Kazutaka Masuko, Toshiyuki Kita, Sadahiro Iwabuchi, Shinya Tanaka, Hiroya Kobayashi, Hidemitsu Kitamura：

Activation of antigen-specific T cells by neuropeptide signaling through neurokinin-2 receptor on human dendritic cells
第 43 回 日本免疫学会学術集会 2014 年 12 月 10-12 日 国立京都国際会館（京都市）

48. Akihiro Takiyama：An image analyzing method for fracture surface by homology
2014 the 4th International Conference on Mechatronics and Applied Mechanics Dec.17-18, 2014 (Shenzhen, China)

【シンポジウム、講演など】

1. 田中伸哉
臨床病理学への招待：歴史・研究・医療–がんと脳を中心として–
北海道医療センター講演会　2014 年 3 月 26 日北海道医療センター（札幌市）

2. 田中伸哉
オープンフォーラム：リサーチマインドをもった若手病理研究医の育成
第 103 回 日本病理学会 総会 2014 年 4 月 24 日～26 日 広島国際会議場（広島市）

3. 田中伸哉
教育セミナー：浸潤性星細胞系腫瘍の病理
第 32 回日本脳腫瘍病理学会　2014 年 5 月 23～24 日　あわぎんホール（徳島市）

4. 田中伸哉
シンポジウム：悪性グリオーマの病理診断：1p/19q co-deleted oligodendroglioma の病理診断
第 32 回日本脳腫瘍病理学会　2014 年 5 月 23～24 日　あわぎんホール（徳島市）

5. 田中伸哉
特別講演：「医の知をもって命を守る：がんを知りがんを制する」
第 53 回北大医学部医学展　2014. 6. 8 北大医学部フラテホール（札幌市）

6. 三浪友輔、津田真寿美、高阪真路、田中伸哉、岩崎倫政：ヒト滑膜肉腫における miR-326 の機能解析
第 47 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会　2014 年 7 月 17-18 日　大阪国際会議場（大阪市）

7. Shinya Tanaka
Pathology supports translational cancer research. がん研究入門コース
第 73 回日本癌学会学術総会　2014 年 9 月 25 日～27 日　パシフィコ横浜（横浜市）

8. 谷野美智枝
特別講演：肺癌における上皮間葉移行（EMT）を介した腫瘍 - 腫瘍間質の相互作用の解析
第 47 回北海道病理談話会　平成 26 年 10 月 11 日旭川グランドホテル（旭川市）

9. 西原広史
特別講演：「腫瘍間質の病理：転移性脳腫瘍の血管構築と治療戦略」
腫瘍内科セミナー　2014 年 10 月 4 日金沢大学がん進展制御研究所（金沢市）

10. 田中伸哉

特別講演：基礎から学ぼう「がんの教室」
がん診療連携拠点病院市民公開講座　2014 根 11 月 29 日市立札幌病院（札幌市）

11. 田中伸哉
ランチョンセミナー：脳腫瘍の免疫染色と新しい迅速免疫染色 R-IHC.
第 3 回いむーのセミナー　2014.5.10-11（神戸市）

12. 田中伸哉
悪性脳腫瘍の病理
第 7 回研修医のための脳腫瘍病理セミナー 2014.6.29（札幌市）

13. Shinya Tanaka
Lunch on Seminar, joint with JSBTP: Analysis of BRAF gene abnormalities and its application to pathological diagnosis of pilocytic astrocytoma and pleomorphic xanthoastrocytoma.
11th Meeting of Asian Society for Neuro-Oncology. 2014.9.11-14. Istanbul, Turkey.

14. Shinya Tanaka
Symposium, Immunohistocyemistry. A newly developed rapid immunohistochemical method: R-IHC.
The International Meeting of IAP 2014. 2014.10.5-10, Bangkok, Thailand.

●2015年

【一般演題】

1. 湯澤明夏、西原広史、岡田佳奈子、津田真寿美、田中伸哉：
27 歳で発症し、11 年の経過観察後に摘出された頚髄腫瘍の 1 例
第 114 回東京脳腫瘍研究会　2015.1.17　東京医科大学（東京都）

2. Ryuji Matsumoto, Masumi Tsuda, Nobuo Shinohara, Takashige Abe, Shinya Tanaka, Katsuya Nonomura：
High aldo-keto reductase 1C1 expression in metastatic bladder cancer cells associated with invasive potential and drug resistance.
30th Anniversary EAU Congress, March 20-24, 2015, Madrid, Spain

3. Ryuji Matsumoto, Masumi Tsuda, Nobuo Shinohara, Takashige Abe, Shinya Tanaka, Katsuya Nonomura.：
Signaling adaptor protein CRK promotes epithelial-mesenchymal transition and metastasis of bladder cancer cells via HGF-Met signaling.
30th Anniversary EAU Congress, March20-24, 2015, Madrid, Spain

4. Yusuke Minami, Masumi Tsuda, Shinji Kohsaka, Akio Minami, Shinya Tanaka, Norimasa Iwasaki：
Mir-326 promotes tumor growth of human synovial sarcoma.
2015 Annual Meeting, Orthopaedic Research Society, March 28-31, Las Vegas, USA

5. 湯澤 明夏、西原 広史、加藤 容崇、王 磊、木村 太一、津田 真寿美、谷野 美智枝、田中 伸哉：
血管周皮腫・孤在性線維性腫瘍の FFPE 検体を用いた NAB2-STAT6 融合遺伝子の検出
第 104 回日本病理学会総会　2015.4.30-5.2　名古屋国際会議場（名古屋市）

6. 杢里香、志藤茜、湯澤明夏、石川麻倫、石田雄介、加藤容崇、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
Gastritis cystica profunda を背景にした重複胃癌の免疫組織学的検討（Immunohistohcmical analysis of double gastic cancers acconpanied with gastritis cystica profunda）
第 104 回日本病理学会総会　2015.4.30-5.2 名古屋国際会議場（名古屋市）

7. 西原広史、毛利普美、木下一郎、秋田弘俊、田中伸哉：
非小細胞肺癌（NSCLC）の経気管支的肺生検（TBLB）
組織を用いた HER2 遺伝子のクリニカルシークエンス（Clinical sequencing for HER2 gene with TBLB specimens of non-small cell lung cancer）
第 104 回日本病理学会総会　2015.4.30-5.2　名古屋国際会議場（名古屋市）

8. 谷野美智枝、辻野一三、石田雄介、加藤容崇、王磊、木村太一、西原広史、田中伸哉：
肺高血圧症における血管病変の形態学的・免疫組織学的変化
第 104 回日本病理学会総会　2015.4.30-5.2　名古屋国際会議場（名古屋市）

9. 石川 麻倫、西原 広史、毛利 普美、加藤 容崇、王 磊、木村 太一、津田 真寿美、谷野 美智枝、田中 伸哉：
胃低分化腺癌及び印環細胞癌における actionable mutation の網羅的検討 第 104 回 日本病理学会総会　2015.4.30-5.2　名古屋国際会議場（名古屋市）

10. 中島 穣太郎、宮崎 将也、加藤 容崇、王 磊、木村 太一、津田 真寿美、谷野 美智枝、西原 広史、田中 伸哉：
非小細胞肺癌(NSCLC)における HER2 遺伝子変異の機能解析
第 104 回日本病理学会総会　2015.4.30-5.2　名古屋国際会議場（名古屋市）

11. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Left ventricular blow-out type rupture during the PCI after inferio-posterior acute myocardial infarction in a patient with severe aortic valve stenosis
Euro PCR 2015, May 17-20, Palais des Congres (Paris)

12. 津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
膠芽腫における分子標的阻害薬耐性獲得責任分子としての IGFBP2 の同定
第 33 回日本脳腫瘍病理学会　2015.5.29-30 JR ホテルクレメント高松（高松市）

13. 谷野美智枝、森谷純、竹浪智子、瀧山晃弘、木村太一、西原広史、田中伸哉：
電界撹拌迅速免疫染色機を使用した脳腫瘍術中迅速細胞免疫染色の有用性
第 33 回日本脳腫瘍病理学会　2015.5.29-30 JR ホテルクレメント高松（高松市）

14. 竹浪智子、谷野美智枝、森谷純、鈴鹿淳、木村太一、西原広史、田中伸哉：
脳腫瘍術中迅速圧挫検体を用いた電界撹拌迅速免疫染色装置の有用性

第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）2015.6.12-6.14　くにびきメッセ（松江市）

15. 漆戸万紗那、谷野美智枝、森谷純、鈴鹿淳、木村太一、西原広史、丸川活司、松野吉宏、田中伸哉：
甲状腺乳頭癌の肺転移巣における胸水・心嚢液で未分化転化を観察し得た 1 剖検症例
第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）　2015.6.12-6.14　くにびきメッセ（松江市）

16. 森大輔、妹尾誠、佐藤司、西谷幹雄、白鳥聡一、石田雄介、田中伸哉　：
急性骨髄性白血病の発症に先行した腰椎硬膜外骨髄肉腫の 1 例
第 30 回日本脊髄外科学会　2015.6.25-26　かでる 2.7（札幌市）

17. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎、藤井明、坂田純一、塚本勝、大堀克己：
大動脈弁狭窄症を合併した巨大左房粘液腫に対して外科的治療が奏効した超高齢者の一例
第 113 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 6 月 27 日 北海道大学学術交流会館（札幌市）

18. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
右室梗塞と心室中隔穿孔を合併し治療に難渋した急性下後壁心筋梗塞の一例
第 113 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 6 月 27 日 北海道大学学術交流会館（札幌市）

19. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
アレルギーの関与が強く示唆された高 IgE 血症を伴う好酸球性心筋炎の一例
第 113 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 6 月 27 日 北海道大学学術交流会館（札幌市）

20. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
3D 経食道心臓超音波検査を用いて左房内隔壁を詳細に観察しえた高齢者三心房心の一例
第 113 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 6 月 27 日 北海道大学学術交流会館（札幌市）

21. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎、藤井明、坂田純一、塚本勝、大堀克己：
孤発性の粘液腫様変性が原因と考えられた後尖僧帽弁瘤による僧帽弁逸脱症候群の一例
第 113 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 6 月 27 日 北海道大学学術交流会館（札幌市）

22. 瀧山晃弘：
病理形態学における位相幾何学的方法
第 12 回日本病理学会カンファレンス　2015.7.24-25 六甲山ホテル（神戸市）

23. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Intra-procedural cardiac rupture after inferio-posterior myocardial infarction in a patient with aortic valve stenosis

第 24 回日本心血管インターベンション治療学会 平成 27 年 7 月 30 日～8 月 1 日 福岡ヤフオク！ドーム（福岡市）

24. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Bifurcation angle between left main trunk and left anterior descending artery is independently related to restenosis after stent implantation for proximal left anterior descending artery disease
ESC (European Society of Cardiology) Congress 2015, August 29-September 2, ExCel London (London)

25. 鈴鹿 淳、津田 真寿美、王 磊、谷野 美智枝、木村 太一、西原 広史、田中伸哉：
悪性脳腫瘍におけるチロシンキナーゼ阻害剤への耐性獲得に関与する MSX1 の解析
平成 27 年度　新学術領域研究「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」がん若手研究者ワークショップ 2015.9.2-5 蓼科グランドホテル滝の湯（茅野市）

26. 中根和昭, 瀧山晃弘：
階層ホモロジーによる大腸癌分化度分類法について
第 14 回日本デジタルパソロジー研究会総会 2015.9.10-12 川崎医科大学（岡山県倉敷市）

27. 鈴鹿 淳、津田 真寿美、王 磊、谷野 美智枝、木村 太一、西原 広史、田中伸哉：
膠芽腫においてチロシンキナーゼ阻害剤への耐性獲得における MSX1 の役割
第 95 回北海道医学大会腫瘍系分科会・第 112 回北海道癌談話会例会　2015.9.12 北海道大学医学部学友会館「フラテ」（札幌市）

28. 堀尾瑠奈, 津田真寿美, 王磊, 竹浪智子,谷野美智枝, 木村太一, 西原広史, 田中伸哉：
ヒト大腸癌 FFPE 検体における迅速免疫染色装置 (R-IHC) を用いた活性化型 Rac1 検出技術の開発
第 95 回北海道医学大会腫瘍系分科会・第 112 回北海道癌談話会例会　2015.9.12　北大医学部学友会館「フラテ」（札幌市）

29. 合田智宏、木下一郎、大泉聡史、原田敏之、西原広史、畑中豊、松野吉宏、天野虎次、佐藤典宏、磯部宏、田中伸哉、西村正治、秋田弘俊：
非小細胞肺癌における HER2 及び関連分子異常の観察研究（HOT1303-A）と HER2 陽性非小細胞肺癌に対するトラスツズマブの第 II 相試験（HOT1303-B）の進行状況報告
第 95 回北海道医学大会腫瘍系分科会・第 112 回北海道癌談話会例会　2015.9.12　北大医学部学友会館「フラテ」（札幌市）

30. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
oozing type の左室後壁破裂後に保存的加療で経過観察し得たプロテイン C 欠乏症を合併した急性心筋梗塞の一例
第 63 回日本心臓病学会学術集会 平成 27 年 9 月 18 日～20 日 パシフィコ横浜（横浜市）

31. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保

基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
たこつぼ型心筋症の合併が強く示唆された急性前壁心筋梗塞の一例第 63 回日本心臓病学会学術集会
平成 27 年 9 月 18 日～20 日 パシフィコ横浜（横浜市）

32. Yasuro Shinohara, Jun-ichi Furukawa, Masumi Tsuda, Kazue Okada, Taichi Kimura, Jinhua Piao, Shinya Tanaka.
A comprehensive glycomic approach to overview the causal relationships between various phases of multistep tumorigenesis and glycosylation status by using a human brain tumor/glioma progression model.
23rd International Symposium on Glycoconjugates, September 15-20, 2015, Split, Croatia

33. 吉田一彦、谷野美智枝、堀井理絵、木村太一、津田真寿美、西原広史、近藤恒徳、田邉一成、秋山太、畠山鎮次、田中伸哉
前立腺癌診断における TRIM29 染色の有用性の検討
第 7 回　迅速免疫染色研究会　2015 年 10 月 3 日 三重大学（津市）

34. 村杉梨乃、高橋学、昆泰浩、木村太一、大森優子、田中伸哉、梶井直文：
細胞転写法を用いた免疫細胞化学染色の有用性　～Down 症における原発不明癌の一剖検例～
第 54 回全国自治体病院学会　2015 年 10 月 8～9 日　函館市民会館・函館アリーナ・花びしホテル（函館市）

35. 津田真寿美、高阪真路、王磊、木村太一、谷野美智枝、西原広史、Marc Ladanyi、田中伸哉：
NGS-based MSK-IMPACT analysis reveals specific genetic alterations in recurrent glioblastoma.
第 74 回日本癌学会総会、2015.10.8-10 名古屋国際会議場（名古屋市）

36. Yasuro Shinohara, Jun-ichi Furukawa, Masumi Tsuda, Kazue Okada, Taichi Kimura, Jinhua Piao, Shinya Tanaka：
Comprehensive glycomics of multistep human brain model reveals specific glycosylation patterns related to malignancy.
第 74 回日本癌学会総会、2015.10.8-10 名古屋国際会議場（名古屋市）

37. 堀尾瑠奈、津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：
ヒト大腸癌 FFPE 組織における、迅速免疫染色装置（R-IHC)を用いた活性化 Rac1 の新しい診断技術
第 74 回日本癌学会学術総会　2015.10.8～10.10　名古屋国際会議場（名古屋市）

38. 鈴鹿 淳、津田 真寿美、王 磊、谷野 美智枝、木村 太一、西原 広史、田中 伸哉：
膠芽腫におけるチロシンキナーゼ阻害薬に対する耐性獲得への MSX1 の役割
第 74 回日本癌学会学術総会　2015.10.8-10.10　名古屋国際会議場（名古屋市）

39. 王磊、松本隆児、津田真寿美、間石奈湖、安部崇重、木村太一、谷野美智枝、西原広史、樋田京子、大場雄介、篠原信雄、田中伸哉：
CRK アダプター蛋白質は HGF/c-Met フィードバックループを介して膀胱癌の EMT と転移を誘導する

第 74 回日本癌学会学術総会　2015.10.8-10.10　名古屋国際会議場（名古屋市）

40. 谷野美智枝、森谷純、竹浪智子、漆戸万紗那、鈴鹿淳、木村太一、津田真寿美、西原広史、田中伸哉：
脳腫瘍迅速診断におけるラピートを用いた迅速免疫化学染色の有用性
第 48 回北海道病理談話会　2015.10.17　札幌医科大学（札幌市）

41. 吉田一彦、谷野美智枝、堀井理絵、木村太一、津田真寿美、西原広史、近藤恒徳、田邉一成、秋山太、畠山鎮次、田中伸哉
前立腺癌診断における Tripartite motif-containing protein 29（TRIM29）染色の有用性の検討
第 48 回北海道病理談話会　2015.10.17　札幌医科大学（札幌市）

42. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Successful and safe retrieval of intra-catheter thrombus in a patient with acute inferior myocardial infarction
第 41 回日本心血管インターベンション治療学会北海道地方会 平成 27 年 10 月 24 日 ロイトン札幌（札幌市）

43. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
A case of stent thrombosis caused by metal allergy complicated by protein S deficiency and heparin-induced thrombocytopenia
CCT（Complex Cardiovascular Therapeutics）2015, October 29-31, Kobe International Exhibition Hall (Kobe)

44. 鈴鹿 淳、森谷 純、竹浪 智子、漆戸 万紗那、木村 太一、西原 広史、谷野 美智枝、田中 伸哉：
SFT /HPC の術中迅速免疫細胞化学染色（R-ICC）を用いた STAT6 の有用性についての検討
第 36 回北海道臨床細胞学会学術集会 2015.11.1　旭川市大雪クリスタルホール（旭川市）

45. 漆戸 万紗那、森谷 純、竹浪 智子、鈴鹿 淳、木村 太一、西原 広史、谷野 美智枝、田中 伸哉：
術中迅速圧挫細胞診による血管評価に基づいた神経膠腫の悪性度の検討
第 36 回北海道臨床細胞学会学術集会 2015.11.1　旭川市大雪クリスタルホール（旭川市）

46. Hidemitsu Kitamura, Junya Ohtake, Shun Kaneumi, Mishie Tanino, Takuto Kishikawa, Satoshi Terada,Kentaro Sumida1, Kazutaka Masuko, Toshiyuki Kita, Sadahiro Iwabuchi, Shinya Tanaka, Hiroya Kobayashi：
Neuropeptide signalings enhance cytokine production by antigen-specific T cells through activation of human dendritic cells

第 44 回 日本免疫学会学術集会　2015.11.18-20 札幌コンベンション・センター（札幌市）

47. Masumi Tsuda, Shinji Kohsaka, Lei Wang, Taichi Kimura, Mishie Tanino, Hiroshi Nishihara, Marc Ladanyi, Shinya Tanaka:
NGS-based MSK-IMPACT analysis reveals specific genetic alterations in recurrent glioblastoma.
20th Annual Society for Neuro-Oncology Annual Scientific Meeting, November 19-22, 2015, Marriott Rivercenter, San Antonio, Texas, USA

48. Shinya Tanaka, Masumi Tsuda, Lei Wang, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara：
Molecular machinery for aquisition of TKI resistance in glioblastoma by IGFBP2 through profile transition from GMT to stemness feature.
20th Annual Society for Neuro-Oncology Annual Scientific Meeting, November 19-22, 2015, Marriott Rivercenter, San Antonio, Texas, USA

49. Sayaka Yuzawa, Hiroshi Nishihara, Lei Wang, Taichi Kimura, Masumi Tsuda,Mishie Tanino, Shigeru Yamaguchi, Hiroyuki Kobayashi, Shunsuke Terasaka,Shinya Tanaka:
Analysis of NAB2-STAT6 gene fusion in 17 cases ofmeningeal solitary fibrous tumor/hemangioepricytoma.
20th Annual Societyfor Neuro-Oncology Annual Scientific Meeting, November 19-22, 2015,Marriott Rivercenter, San Antonio, Texas, USA

50. Sayaka Yuzawa, Hiroshi Nishihara, Hiromi Mouri, Lei Wang, Taichi Kimura,Masumi Tsuda, Mishie Tanino, Shigeru Yamaguchi, Hiroyuki Kobayashi,Shunsuke Terasaka, Norihiro Sato, Shinya Tanaka:
Genotyping ofmeningioma by targeted amplicon sequencing using MiSeq.
20th AnnualSociety for Neuro-Oncology Annual Scientific Meeting, November 19-22,2015, Marriott Rivercenter, San Antonio, Texas, USA

51. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、山崎香子、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、儀間充、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
脳塞栓症によりたこつぼ心筋症を発症したと考えられる左房粘液腫の一例
第 114 回日本循環器学会北海道地方会 平成 27 年 11 月 28 日（札幌市）

52. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Koko Yamazaki, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Mitsuru Gima, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Stent thrombosis caused by metal allergy complicated by protein S deficiency and heparin-induced thrombocytopenia
BIT's 7th Annual International Congress of Cardiology 2015, December 4-6, Four points by Sheraton Shanghai Daning (Shanghai)

53. 谷野美智枝、石田雄介、山下健一郎、嶋村剛、朝比奈肇、岡本賢三、田中伸哉：
B 型肝硬変・肝細胞癌に対して生体肝移植後 10 年に胸膜中皮腫を発症した症例

第 22 回　石綿・中皮腫研究会　平成 27 年 10 月 31 日　ソリッドスクエア・ホール（川崎市）

54. 谷野美智枝、進藤孝一郎、木村太一、津田真寿美、西原広史、長嶋和郎、田中伸哉：
右後頭部傍矢状洞髄膜腫を疑われた 29 歳女性
第 117 回東京脳腫瘍研究会　平成 27 年 11 月 14 日　東京医科大学（東京都）

【シンポジウム、講演など】

1. 田中伸哉
札幌市内科医会研修会「癌の臨床病理学：先端研究から医療へ」
2015.3.20　札幌市医師会館（札幌市）

2. 田中伸哉
第 2 回日本獣医病理学専門家協会（JCVP）学術集会スライドセミナー「脳腫瘍の治療を目指した基礎研究」
2015.3.28 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス（堺市）

3. 田中伸哉
メットライフ生命北海道ブロック大会特別講演「ガンの基礎医学から臨床、そして保険とのかかわり」
2015.5.28　旭川グランドホテル（旭川市）

4. 木村太一
田辺三菱製薬講演会「高品質の生体試料がもたらす臨床研究の新展開」
2015.5.29　札幌グランドホテル（札幌市）

5. 田中伸哉
教育講演「脳腫瘍の分子診断と治療を目指した基礎研究」
第 26 回日本臨床口腔病理学会　2015.7.30　北大学術交流会館（札幌市）

6. 西原広史
シンポジウム講演「クリニカルシークエンスを実現する診療施設併設型バイオバンクの構築」
第 26 回日本臨床口腔病理学会　2015.7.30　北大学術交流会館（札幌市）

7. 西原広史
第 3 回ラボプロダクツオンラインセミナー「２次元コード付きチューブによる生体資料の匿名化・高精度管理」

8. 西原広史
北海道大学・九州大学合同セミナー　橋渡し研究・臨床研究推進への新たな取り組み「オンデマンド型バイオバンクによる新たな臨床研究支援の取り組み」
2015.9.2　北海道大学医学部学友会館フラテホール（札幌市）

9. 西原広史
第 30 回未来創薬・医療イノベーションセミナー「クリニカルシークエンスを実現するオンデマンド型バイオバンク」
2015.9.8　北海道大学大学院医学研究科フラテ 1 階大研修室（札幌市）

10. 西原広史
第 11 回エルム臨床病理検討会「がん個別化治療を推進する病理・遺伝子診断の現状と課題」
2015.9.2　北海道大学医学部学友会館フラテホール（札幌市）

11. 田中伸哉
Neuro-Oncology Challenges in a Diverse Asia「Pathological Features of Tumors of the Pineal Region」
2015.9.17 St.Luke's Medical Center（Manila, Philippines）

12. 田中伸哉
「函館病診連携の会」講演
2015.9.25 ラビスタ函館ベイ（函館市）

13. 田中伸哉
第 74 回日本癌学会学術総会「Molecular machinery for agaisition of TKI resistance in glioblastoma」
2015.10.8 名古屋国際会議場（名古屋市）

14. 西原広史
「がん個別化治療を推進するクリニカルシークエンス」
2015.10.10 名古屋国際会議場（名古屋市）

15. 田中伸哉
第 8 回香川県脳腫瘍学術研究会「悪性グリオーマの分子病理学的研究：治療耐性メカニズムに挑む」
2015.10.30 高松国際ホテル（高松市）

●2016 年

【一般演題】

1. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、大堀克彦、山本匡、桜井聖一郎、西原広史、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、田中秀一、堀田大介、菊池健次郎：
Multimodality assessment of spontaneous haemostasis of left ventricular free wall rupture after myocardial infarction.
第 33 回北海道心臓核医学研究会 2016.2.2 ニューオータニイン札幌（札幌市）

2. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi：
Multimodality assessment of spontaneous haemostasis of left ventricular free wall rupture after myocardial infarction.
第 42 回日本心血管インターベンション治療学会北海道地方会 2016.3.26 ロイトン札幌（札幌市）

3. Takao Konishi, Tadashi Yamamoto, Naohiro Funayama, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta,

Kenjiro Kikuchi：
Relationship between bifurcation angle and coronary artery calcium score of left anterior descending artery in chronic kidney desease patients: 3-dimensional coronary computed tomography analysis.
24th Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS 2016), 2016.4.4-6 Taipei international Convention Center（Taipei, Taiwan）

4. 上遠野なほ、津田真寿美、木村太一、谷野美智枝、西原広史、田中伸哉：
大腸癌の異所性骨形成における BMP/Smad シグナルの作用と EMT との関連性（Effect of BMP/Smad signaling on heterotopic ossification and association with EMT in colon carcinoma）
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

5. 秋山采慧、大森優子、森谷純、畑中佳奈子、高阪真路、木村太一、津田真寿美、西原広史、谷野美智枝、田中伸哉：
血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫の剖検症例 5 例の浸潤性に関する病理組織学的検討（Pathohistological analysis of invasion of intravascular large B-cell lymphoma in five autopsy cases）
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

6. 西原広史、木村太一、王磊、田中伸哉：
臨床研究およびクリニカルシークエンスの推進を目指したオンデマンド型バイオバンクの確立（On Demand-type Biobank, a Novel System of Biospecimen Repository to Support Clinical Sequencing）
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

7. 湯澤明夏、西原広史、山口秀、毛利普美、王磊、木村太一、津田真寿美、谷野美智枝、佐藤典宏、田中伸哉：
髄膜腫および髄膜発生孤立性線維性腫瘍/血管周皮腫の遺伝子解析
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

8. 石川麻倫、宮崎将也、小西崇夫、中川麗、谷野美智枝、西原広史、藤岡保範、長嶋和郎、田中伸哉：
大動脈穿破により突然死をきたした 3 剖検例
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

9. 木村太一、王磊、津田真寿美、木西原広史、田中伸哉：
滑膜肉腫幹細胞の制御・維持機構の解明
第 105 回日本病理学会総会 2016.5.12-14 仙台国際センター（仙台市）

10. 湯澤明夏、西原広史、王磊、津田真寿美、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉：
髄膜発生 SFT/HPC の NAB2-STAT6 融合遺伝子型に基づく臨床病理学的検討
第 34 回日本脳腫瘍病理学会 2016.5.27-28 東京コンファレンスセンター有明（東京都）

11. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Hiroshi Nishihara, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa,

Shuzaburo Fukuyama, Hideichi Tanaka, Daisuke Hotta, Kenjiro Kikuchi:
Multimodality assessment of spontaneous haemostasis of left ventricular free wall rupture after myocardial infarction.
BIT's 8th Annual International Congress of Cardiology 2016.5.28-30 Hesperia Tower Convention Center (Barcelona, Spain)

12. 原将希, 谷川聖, 加藤容崇, 黒田敏, 新保和賀 , 矢部一郎, 佐々木秀直, 長嶋和郎, 田中伸哉：
非典型的症状を呈したアルツハイマー病の一剖検例
第 57 回日本神経病理学会 2016.6.1-3 ホテルニューキャスル（弘前市）

13. 谷川聖、加藤容崇、谷野美智枝、黒河泰夫、寺坂俊介、木村太一、西原広史、新井 隆、長嶋和郎、田中伸哉：
全脳照射後、放射線障害が長期にわたり進行し 45 年の経過で剖検となった症例
第 57 回日本神経病理学会 2016.6.1-3 ホテルニューキャスル（弘前市）

14. Jun Suzuka, Masumi Tsuda, Lei Wang, Shingo Semba, Sachiyo Aburatani, Takayuki Kurokawa, Yoshihiro Ohmiya, Kazunori Yasuda, Jian Ping Gong, and Shinya Tanaka：
Development of novel induction method for tumor stem cells using polymer gel.
The First International Symposium on Advanced Soft Matter: Celebrating the Kick-off of Global Station for Soft Matter, GI-CoRE 2016.6.13-15 北海道大学（札幌市）

15. Satoshi Tanikawa, Shingo Semba, Masumi Tsuda, Lei Wang, Takayuki Kurokawa, Takayuki Nonoyama, Jian Ping Gong, and Shinya Tanaka：
Development of novel substrate gel for neural stem cell culture.
The First International Symposium on Advanced Soft Matter: Celebrating the Kick-off of Global Station for Soft Matter, GI-CoRE 2016.6.13-15 北海道大学（札幌市）

16. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、大堀克彦、山本匡、桜井聖一郎、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、村上弘則、堀田大介、西原広史、田中伸哉：
左総腸骨静脈圧迫症候群から下肢深部静脈血栓症を来し肺動脈血栓塞栓症と脳梗塞を合併した一例
第 115 回日本循環器学会北海道地方会 2016.6.25 北海道大学学術交流会館（札幌市）

17. Hiroshi Nishihara, Sayaka Yuzawa, Shigeru Yamaguchi, Hiromi Mohri, Lei Wang, Taichi Kimura, Masumi Tsuda, Mishie Tanino, Hiroyuki Kobayashi, Shunsuke Terasaka, Kiyohiro Houkin, Shinya Tanaka：
Clinical impact of targeted amplicon sequence for meningioma as a practical clinical sequence system.
Society for Neuro-Oncology Conference on Menigioma 2016.6.17-18 the Yorkville InterContinental Hotel in Toronto（Ontario, Canada）

18. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta：
Recurrent acute stent thrombosis caused by metal allergy in a case of inferior acute myocardial infarction.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7. 7-9 東京国際フォーラム（東京都）

19. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Relationship between bifurcation angle and calcium score of left anterior descending artery in chronic kidney disease.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7. 7-9 東京国際フォーラム（東京都）

20. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Successful and safe retrieval of a thrombus from a guiding catheter during percutaneous coronary intervention.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

21. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Venous thromboembolism caused by popliteal vein entrapment syndrome in a young man.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

22. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Relationship between LAD bifurcation angle and restenosis after stenting of proximal left anterior descending artery.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

23. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Stent thrombosis caused by metal allergy complicated by protein S deficiency and heparin-induced thrombocytopenia.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

24. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Acute inferior myocardial infarction complicated with right ventricular infarction and ventricular septal perforation.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

25. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
A case of right coronary artery fistula to left ventricle complicated with large coronary artery aneurysm.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

26. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta :
Very late stent thrombosis caused by stent fracture after implantation of first-generation drug eluting stent.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

27. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta：
Thrombus protrusion to left main trunk by non-slip element balloon during PCI for left anterior descending artery.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

28. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta：
Association of eosinophil ratio with creatinine kinase-MB elevation after percutaneous coronary intervention for ST-elevation myocardial infarction.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

29. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Tadashi Yamamoto, Hiroshi Nishihara, Daisuke Hotta：
Pathologically confirmed spontaneous hemostasis of left ventricular free wall rupture after acute infero-posterior myocardial infarction complicated by protein C deficiency.
第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 2016.7.7-9 東京国際フォーラム（東京都）

30. Takao Konishi, Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburou Fukuyama, Hironori Murakami, Daisuke Hotta, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka：
The Prognostic value of eosinophil to leukocyte ratio in patients presenting with ST-elevation myocardial infarction undergoing primary percutaneous coronary intervention.
AHA BCVS (Basic Cardiovascular Sciences) 2016 Scientific Sessions 2016.7.18-21 Hyatt Regency Phoenix, （Arizona, USA）

31. 湯澤明夏、西原広史、王磊、津田真寿美、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉：
髄膜発生 SFT/HPC の NAB2-STAT6 融合遺伝子型に基づく臨床病理学的検討
第 13 回日本病理学会カンファランス 2016.7.29-30 六甲山ホテル（神戸市）

32. 谷川聖、仙葉愼吾、津田真寿美、王磊、黒川孝幸、野々山孝幸、龔剣萍、田中伸哉：
高分子ゲルが神経幹細胞へ与える影響
第 13 回日本病理学会カンファランス 2016.7.29-30 六甲山ホテル（神戸市）

33. 中智昭、谷野美智枝、田中伸哉：
喘息-COPD オーバーラップ症候群と考えられた 51 歳男性剖検症例
第 49 回呼吸器病理研究会 2016.8.20 関西医科大学附属病院（枚方市）

34. 吉田一彦、津田真寿美、松本隆児、木村太一、谷野美智枝、西原広史、近藤恒徳、田邉一成、田中伸哉：
膀胱癌の浸潤・転移におけるシグナル伝達アダプター分子 CRK を介した細胞外エクソソームの機能解析
第 96 回北海道医学大会（腫瘍系）分科会・第 114 回北海道癌談話会 2016.9.3 札幌医大記念ホール（札幌）

35. 遠藤大介、木村太一、渡利英道、櫻木範明、田中伸哉：
卵巣癌に対する EZH2 阻害剤と Paclitaxel の併用効果に関する検討
第 96 回北海道医学大会（腫瘍系）分科会・第 114 回北海道癌談話会 2016.9.3 札幌医大記念ホール（札幌市）

36. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、大堀克彦、山本匡、桜井聖一郎、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、森田亨、村上弘則、堀田大介、西原広史、田中伸哉：
Relationship between left coronary artery bifurcation angle and restenosis after stenting of the proximal left anterior descending artery－再狭窄の新たな危険因子－
第 2 回心血管研究フォーラム 平成 28 年 9 月 9 日 （札幌市）

37. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、大堀克彦、山本匡、桜井聖一郎、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、森田亨、村上弘則、堀田大介、西原広史、田中伸哉：
孤発性の粘液腫様変性が原因と考えられた後尖僧帽弁瘤による僧帽弁逸脱症候群の一例
第 64 回日本心臓病学会学術集会 平成 28 年 9 月 23-25 日 東京国際フォーラム（東京）

38. Hiroshi Nishihara：
Clinical Biobank, a Novel System to Support Cancer Clinical Sequencing in Japan.
Europe Biobank Week 2016.9.13-16 MESSE WIEN（Vienna, Austria）

39. 鈴鹿 淳、津田 真寿美、王 磊、谷野 美智枝、木村 太一、西原 広史、田中 伸哉：
チロシンキナーゼ阻害剤耐性膠芽腫細胞における腫瘍幹細胞性獲得と SFRP1 の関連性
第 75 回日本癌学会学術総会 2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

40. Masumi Tsuda, Ryuji Matsumoto, Kazuhiko Yoshida, Mishie Tanino, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Takashige Abe, Nobuo Shinohara, Katsuya Nonomura, Shinya Tanaka：
AKR1C1 mediates bladder cancer metastasis and drug resistance.
第 75 回日本癌学会学術総会 2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

41. Mishie A. Tanino, Aiman Z. Elmansuri, Roshan Mahabir, Lei Wang, Taichi Kimura, Hiroshi Nishihara, Ichiro Kinoshita, Hirotoshi Dosaka-Akita, Masumi Tsuda, and Shinya Tanaka
Novel signaling collaboration between TGF-b and adaptor protein Crk facilitates EMT in human lung cancer
第 75 回日本癌学会学術総会 2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

42. 上遠野なほ、津田真寿美、木村太一、谷野美智枝、大畑多嘉宣、長渕英介、西原広史、田中伸哉：
大腸癌の異所性骨形成における BMP/Smad、EMT および Wnt/beta-catenin シグナルの作用と浸潤能との関連性
第 49 回北海道病理談話会 2016.10.15 北大医学部学友会館フラテ（札幌市）

43. 秋山采慧、津田真寿美、森谷純、大森優子、畑中佳奈子、高阪真路、木村太一、西原広史、谷野美智枝、田中伸哉：
血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫の剖検症例 3 例の血管外浸潤性と Rac 活性に関する病理組

織学的検討
第 49 回北海道病理談話会 2016.10.15 北大医学部学友会館フラテ（札幌市）

44. 森谷　純、谷野美智枝、竹浪智子、漆戸万紗那、鈴鹿　淳、石田雄介、王磊、木村太一、津田真寿美、西原広史、田中伸哉：
脳腫瘍術中迅速病理診断における迅速免疫染色装置（ラピート）の有用性の検討
第８回迅速免疫染色研究会 2016.10.15 仙台厚生病院（仙台市）

45. 村杉梨乃、高橋学、小舘英明、西信也、岡元一平、谷野美智枝：
子宮体部細胞診で推定しえた小細胞癌の１例
第 55 回全国自治体病院学会 2016.10.20-21 富山県民会館・富山第一ホテル（富山市）

46. Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Tohru Morita, Hironori Murakami, Daisuke Hotta, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:
Acute inferior myocardial infarction complicated with right ventricular infarction and ventricular septal perforation
CCT (Complex Cardiovascular Therapeutics) 2016, October 20-22, Kobe International Exhibition Hall (Kobe)

47. 佐藤憲市、渕崎智紀、石田裕樹、伊藤民雄、尾崎義丸、中村博彦、谷野美智枝、田中伸哉：
多発脳病変を呈した８０歳男性
第 49 回日本神経病理学会北海道地方会 2016.10.29 北海道大学医学部（札幌市）

48. 谷川聖、佐藤憲市、西村洋昭、佐々木秀直、長嶋 和郎、田中伸哉：
Tumefactive multiple sclerosis と診断した老年男性の脳手術検体
第 49 回日本神経病理学会北海道地方会 2016.10.29 北海道大学医学部（札幌市）

49. 森谷純、谷野美智枝：
脳腫瘍迅速病理診断における迅速免疫染色装置（ラピート）の有用性の検討
第 62 回　日本病理学会秋季特別総会 2016.11.10-11 金沢市文化ホール（金沢市）

50. 谷野美智枝、津田真寿美、石田雄介、木村太一、西原広史、田中伸哉：
多形黄色星細胞腫における BRAF 遺伝子変異（BRAFV600E）とリン酸化 ERK 及び p16 の発現の検討
第 62 回　日本病理学会秋季特別総会 2016.11.10-11 金沢市文化ホール（金沢市）

51. 小西崇夫、舟山直宏、山口紅、大堀克彦、山本匡、桜井聖一郎、柏木雄介、佐々保基、福山周三郎、森田亨、村上弘則、堀田大介、西原広史、田中伸哉：
急性ステント血栓症を繰り返した金属アレルギーの一例
第 116 回日本循環器学会北海道地方会 平成 28 年 11 月 26 日 北海道大学（札幌市）

52. 鍋島龍一、津田真寿美、鈴鹿淳、王磊、木村太一、谷野美智枝、田中伸哉：
チロシンキナーゼ阻害剤耐性ヒト膠芽腫細胞における ABC transporter の同定
第 39 回日本分子生物学会年会 2016.11.30-12.2 パシフィコ横浜（横浜市）

53. 鈴鹿淳、津田真寿美、王磊、谷野美智枝、木村太一、西原広史、田中伸哉：

チロシンキナーゼ阻害剤耐性膠芽腫細胞における幹細胞性獲得と SFRP1 の機能解析
第 39 回日本分子生物学会年会 2016.11.30-12.2 パシフィコ横浜（横浜市）

54. 岡森優唯、谷野美智枝、津田真寿美、鈴鹿淳、王磊、森谷純、木村太一、石田雄介、西原広史、田中伸哉：
子宮頸癌細胞への放射線照射後の悪性転化における YAP1 の役割の解析
第 39 回日本分子生物学会年会 2016.11.30-12.2 パシフィコ横浜（横浜市）

55. Naohiro Funayama, Beni Yamaguchi, Katsuhiko Ohori, Tadashi Yamamoto, Seiichiro Sakurai, Yusuke Kashiwagi, Yasuki Sasa, Shuzaburo Fukuyama, Tohru Morita, Hironori Murakami, Daisuke Hotta, Hiroshi Nishihara, Shinya Tanaka:Stent thrombosis caused by metal allergy complicated by protein S deficiency and heparin-induced thrombocytopenia BIT's 8th Annual International Congress of Cardiology China-2016, December 2-4, 2016 (Xi'an, China)

【シンポジウム、特別講演など】

1. 西原広史：神戸大学医学部附属病院臨床研究推進セミナー「オンデマンド型バイオバンクの高品質生体試料を用いた臨床研究支援の取り組み 」
2016.1.6 神戸大学医学部附属病院（神戸市）

2. 田中伸哉：第１８回中央メディカルフォーラム講演会「癌と肉腫の臨床病理学：先端研究から医療へ」
2016.3.11 函館中央病院（函館市）

3. 田中伸哉：札幌北ロータリークラブ卓話「病理医フラジャイル：先制医療でがんを撃つ」
2016.5.16 札幌センチュリーホテル（札幌市）

4. 田中伸哉：日本脳腫瘍病理学会「グリオーマの発生および悪性転化・再発に伴う遺伝子変異の変遷―NGS-based MSK-IMPACT 解析より」
2016.5.27 東京コンファレンスセンター・有明（東京都）

5. 田中伸哉：第 34 回日本脳腫瘍病理学会ランチョンセミナー「脳腫瘍の術中迅速免疫染色（R-IHC）」
2016.5.27-28 東京コンファレンスセンター有明（東京都）

6. 西原広史：第 34 回日本脳腫瘍病理学会シンポジウム「脳腫瘍クリニカルシーケンスの臨床実装にむけて」
2016.5.27-28 東京コンファレンスセンター有明（東京都）

7. 田中伸哉：京都府立大学医学部病理学講義「がんゲノム病理学の展開：基礎研究から診断・治療へ」
2016.6.9 京都府立大学医学部（京都市）

8. Shinya Tanaka : The First International Symposium on Advanced Soft Matter: Celebrating the Kick-off of Global Station for Soft Matter, GI-CoRE,
Application of soft matter to cancer research: Identification of cancer stem cells by DN gel

2016.6.13 北海道大学（札幌市）

9. 西原広史：塩野義製薬 医薬研究本部セミナー「クリニカルバイオバンクを利用した臨床研究支援の取り組み」
2016.8.5 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター（豊中市）

10. 田中伸哉：北海道医師会講演会「病理と医療について」
2016.8.30 札幌日航ホテル（札幌市）

11. 西原広史：フコク生命「がんの遺伝子診断と個別化治療」
2016.8.31 北海道自治労会館（札幌市）

12. 田中伸哉： 第 65 回病理診断学講座セミナーSeminer in Diagnostic Pathology「ゲノム病理学の展開：研究から診断・治療へ」
2016.9.23 岩手医大セミナー（盛岡市）

13. 田中伸哉：第 65 回病理診断学講座 Seminar in Diagnostic Pathology「ゲノム病理学の展開：研究から診断・治療へ」
2016.9.23 岩手医科大学（盛岡市）

14. 西原広史：北大・旭川医大:がんゲノム医療コラボレーションセミナー「北海道大学病院　がん遺伝子検査システムのご紹介」
2016.9.26 旭川医科大学病院（旭川市）

15. 西原広史、木下一郎、畑中豊、田中伸哉、秋田弘俊：第 75 回日本癌学会学術総会シンポジウム「クリニカルシーケンスの臨床実装による肺癌に対する治療標的分子・個別化医療の探索」
2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

16. 西原広史：第 75 回日本癌学会学術総会ランチョンセミナー「クリニカルバイオバンクを基盤とする網羅的がん遺伝子検査の優位性」
2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

17. 田中伸哉、津田真寿美、高阪真路、金子貞夫、マーク　ラダーニ：第 75 回日本癌学会学術総会シンポジウム「MSK-IMPACT を用いた再発グリオブラストーマの体細胞変異解析」
2016.10.6-8 パシフィコ横浜（横浜市）

18. 西原広史：アストラゼネカ株式会社 Scientific Exchange Meeting「北海道大学病院における網羅的がん遺伝子への取り組み」
2016.10.14 ロイトン札幌（札幌市）

19. 西原広史：第２回静和会医療セミナー「網羅的がん遺伝子治療に基づくがんの個別化治療」
2016.11.1 ホテルヤマチ（札幌市）

20. 田中伸哉：第 12 回道南レジデントセミナー「癌の臨床病理学最前線：研究から医療へ」
2016.11.5 函館中央病院（函館市）

21. 田中伸哉:第１回ライブパソロジー研究会「がん化のシグナル研究 Cancer signal transduction」
2016.11.12 京都大学医学部（京都市）

北海道大学大学院医学研究科
探索病理学講座　業績集

発行日：2017 年 3 月 31 日
発行者：田中伸哉、西原広史
編　集：松田愛子

札幌市北区北 15 条西 7 丁目
腫瘍病理学分野内
Tel 011-706-7806
Fax 011-706-5902
http://patho2.med.hokudai.ac.jp/